

令和 4 年 度

事業報告

法人本部
特別養護老人ホーム 好日苑
好日苑デイサービスセンター
好日苑ヘルパーステーション
好日苑ケアプランセンター
大田区地域包括支援センター上池台
大田区地域包括支援センター嶺 町
シニアステーション東嶺町
大田区地域包括支援センター六 郷
大田区地域包括支援センター西六郷
大田区地域包括支援センター馬込
シニアステーション馬込
大田区地域包括支援センター南馬込
シニアステーション南馬込



目 次

法人本部	2
事務部門	13
特養部門（特別養護老人ホーム 好日苑）	16
在宅部門	
Ⅰ．好日苑デイサービスセンター	70
Ⅱ．好日苑ヘルパーステーション	83
Ⅲ．好日苑ケアプランセンター	87
包括部門	
地域包括支援センター	93
大田区地域包括支援センター上池台	
大田区地域包括支援センター嶺町	
大田区地域包括支援センター六郷	
大田区地域包括支援センター西六郷	
大田区地域包括支援センター馬込	
大田区地域包括支援センター南馬込	
シニアステーション	
シニアステーション東嶺町	
シニアステーション馬込	
シニアステーション南馬込	

法人本部

令和4年度も前年度に続き新型コロナウイルス感染症の対策を更に強化する年となり、毎週1回職員へのPCR検査を延べ52回7,295人へ実施し、かつ定期的な抗原検査も実施しましたが、7月のオミクロン株の流行時に初めて集団感染があり、その後年末年始及び年度末にかけても集団感染がありました。しかしながら東京都の新型コロナ対策専用相談窓口・即応支援チームから2回の訪問指導を受ける事で、感染症対策の見直し及び強化につなげる事が出来ました。

施設整備では館内外全ての照明器具をLEDへ更新し、センサー付き介護用ベッドを含む95台の新規入れ替え、また全自動体位交換が可能なエアマット20台を新規導入し、より利用者様に合った快適な環境づくりを実現しました。

法人経営では、経営の柱となる第6次中期経営計画に基づき、響会創立25周年企画の準備を開始、また5ヵ年大規模修繕計画も策定しました。

今後も第6次中期経営計画に基づき健全経営を目指すと共に、引き続き新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、Afterコロナを念頭に、コロナ禍に於いても平時と変わらず、安心してサービスをご利用頂けるように努めて参ります。

I 経 営

1. 令和4年度 経営目標・実績

「予算書基準」

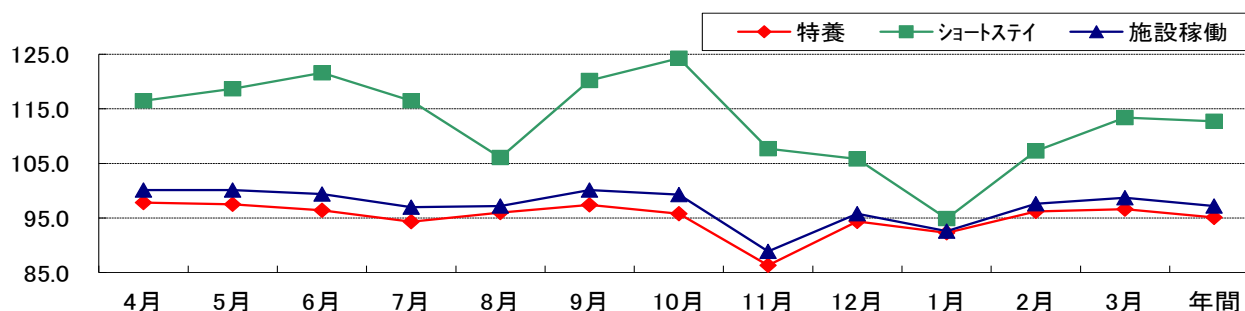
	目標(補正後)	実績	差額	達成率
収 入	1,382,578,000	1,388,971,220	6,393,220	100.5%
支 出	1,382,578,000	1,371,985,661	-10,592,339	99.2%
収支差額	0	16,985,559	16,985,559	
収 支 率	0.0%	1.2%	1.2%	

(1) 特別養護老人ホーム好日苑

稼動目標	97.5%	実績	97.2%
------	-------	----	-------

(%)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
97.8	97.5	96.4	94.3	96.0	97.4	95.8	86.3	94.4	92.3	96.2	96.6	95.1
116.5	118.7	121.6	116.5	106.1	120.2	124.3	107.7	105.8	94.9	107.3	113.4	112.7
100.1	100.1	99.4	97.0	97.2	100.1	99.3	88.9	95.8	92.6	97.6	98.7	97.2

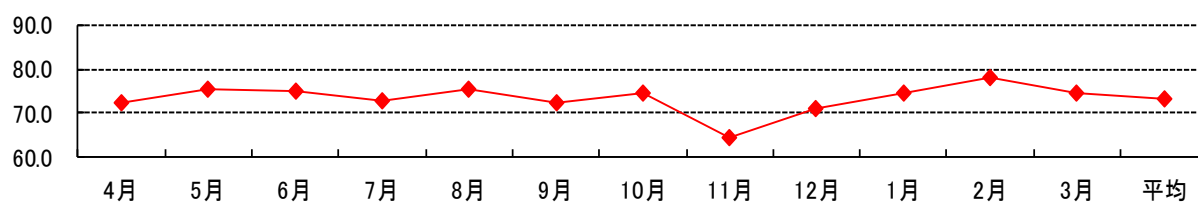


(2) 好日苑デイサービスセンター

稼働目標	90.0%	実績	73.4%
------	-------	----	-------

(%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
デイサービス	72.5	75.2	74.8	72.9	75.6	72.2	74.3	64.5	70.9	74.5	78.2	74.7	73.4

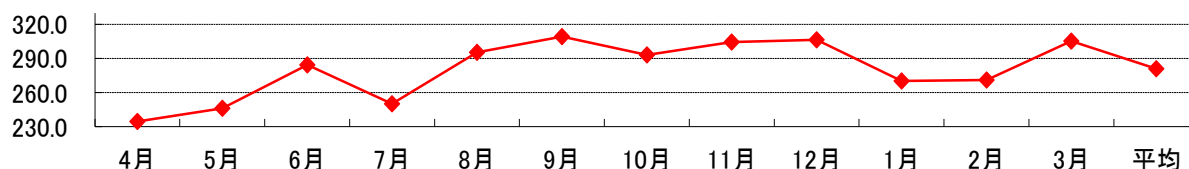


(3) 好日苑ヘルパーステーション

稼働目標	240 時間/月	実績	280.9 時間/月
------	----------	----	------------

(時間)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
ヘルパー	234.5	246.2	284.3	250.2	295.3	309.4	293.2	304.5	306.4	270.1	271.1	305.4	280.9

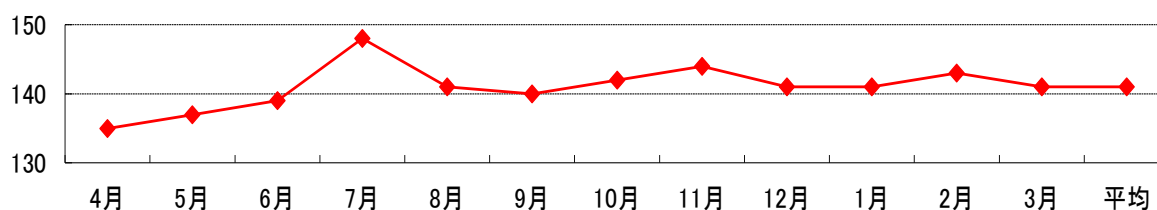


(4) 好日苑ケアプランセンター

稼働目標	140 件/月 (CM 4 人)	実績	141 件/月 (CM 4 人)
------	------------------	----	------------------

予防プランは1件換算 (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
ケアプラン	135	137	139	148	141	140	142	144	141	141	143	141	141.0



2. 安定した適正経営

(1) 新規加算取得等

令和4年8月1日～ 好日苑デイサービスセンター個別機能訓練加算Ⅰ(ロ)開始

令和4年10月1日～ 好日苑(特養)安全対策体制加算開始

令和5年1月1日～ 好日苑(特養)個別機能訓練加算Ⅰ・Ⅱ開始

(2) 人財確保・体制強化

人財確保・サービス向上のために下記取組を行いました。

① TOKYO かいごチャレンジインターンシップの受入(2名)

② 福祉職場における助成金付インターンシップ事業の受入(0名)

③ 介護職員就業促進事業の活用(採用1名)

④ 現任介護職員資格取得支援事業(介護福祉士受験4名申請)

- ⑤ 求人媒体の整理（多様な求人方法の活用）
 ⑥ 資格取得支援の強化（介護福祉士実務者研修の好日苑分校 0 名卒業）
 ⑦ 5/1～管理監督者（副主任・主任・係長）の役割を強化するための役職等級の格上げ

等級	役職等級の欄					等級	役職等級の欄					職位等級
1						1						
2	リーダー					2	副主任					
3		副主任				3		主任				
4						4						主事
5			主任			5			係長			主査
6				係長		6						
7					課長 事務長 施設長	7			課長 事務長 施設長			主幹
8						8						

(3) 新型コロナウイルス感染症対策

- ① 各種補助金活用
- ・令和 4 年度感染症流行下における介護施設等のサービス提供体制確保事業
 - ・令和 4 年度高齢者施設における新型コロナウイルス感染症対策強化事業
 - ・大田区新型コロナウイルス感染症に係る高齢者施設等 P C R 検査経費補助事業
 - ・東京都社会福祉協議会災害等見舞金制度申請
- ② 設備整備（消毒液付非接触体温計更新、サーキュレーター増設）
- ③ 面会調整（状況により原則面会中止、オンライン面会の導入）
- ・R4. 6. 6～R4. 7. 12 まで全館通常面会再開
 - ・R5. 2. 20～R5. 3. 12 まで本館通常面会再開
 - ・R5. 2. 20～新館通常面会再開中
 - ・R5. 4. 3～本館通常面会再開中

(4) 固定資産取得

	取得日	処分日	品目	数量	取得価額
取得	R4.4.21	—	エアコン(新館スタッフルーム)	3	1,980,000
	R4.4.28	—	ガス給湯器(厨房)	1	682,000
	R4.6.27	—	シュレッダー	1	282,700
	R4.7.7	—	電動式自転車	1	104,940
	R4.7.14	—	介護用ベッド	40	8,338,000
	R4.8.22	—	電気給湯器(新館310)	1	209,000
	R4.9.12	—	全自動洗濯機	1	118,880
	R5.1.17	—	自動火災報知器(本館)	1	1,540,000
	R5.1.24	—	ノートパソコン	1	123,860
	R5.3.9	—	電気給湯器(新館113/313)	2	368,500
	R5.3.22/23	—	エアーマット(体位交換付)	20	2,932,600
	R5.3.22/23	—	介護ベッド(センサー付)	55	16,884,340
取得計	33,564,820				

【介護ベッド（センサー付）】



【エアーマット（体位交換付）】



Ⅱ 人材の育成と確保

【職員募集媒体】

法人活動	公的機関	民間企業
・ホームページ ・職員紹介制度 ・就職支援支度金制度 ・資格取得支援制度 ・介護職員奨学金返済手当制度 ・介護職員就業促進事業 ・T O K Y O 働きやすい福祉の職場宣言事業所登録 ・インターン事業 ・介護の仕事定例就職面接会 ・おおた福祉フェス求人ブース ・ふくしのしごと市	・ハローワーク ・東京都福祉人材センター（福祉のお仕事） ・看護協会（e ナースセンター） ・各種学校求人 ・T O K Y O かいごチャレンジインターンシップ ・福祉職場における助成金付インターンシップ事業	・インターネット媒体（新卒） ・インターネット媒体（中途） ・人材紹介（介護・看護） ・人材派遣（介護・看護）

【入職・退職】

令和4年4月1日～令和5年3月31日

	採用（人）	退職（人）	退職率	在籍者平均
正規職員（常 勤）	29	23	16.4%	8年4ヵ月
契約職員（非常勤）	15	15	30.6%	6年5ヵ月

	R4 年間常勤換算数（人）			R3 年間常勤換算数（人）		
	特 養	デ イ	合 計	特 養	デ イ	合 計
派遣職員（介 護）	0.2	0	0.2	0.8	0	0.8
派遣職員（看 護）	3.7	0	3.7	2.3	0	2.3
合 計	3.9	0	3.9	3.1	0	3.1

Ⅲ 情報の活用と連携強化

1. 介護サービス情報の公表（訪問調査なし）

対 象 事 業：特別養護老人ホーム 好日苑 (特養・ショートステイ)
 好日苑デイサービスセンター (デイサービス)
 好日苑ヘルパーステーション (訪問介護)
 好日苑ケアプランセンター (居宅介護支援)

公 開：介護サービス情報公表システム

2. 第三者評価

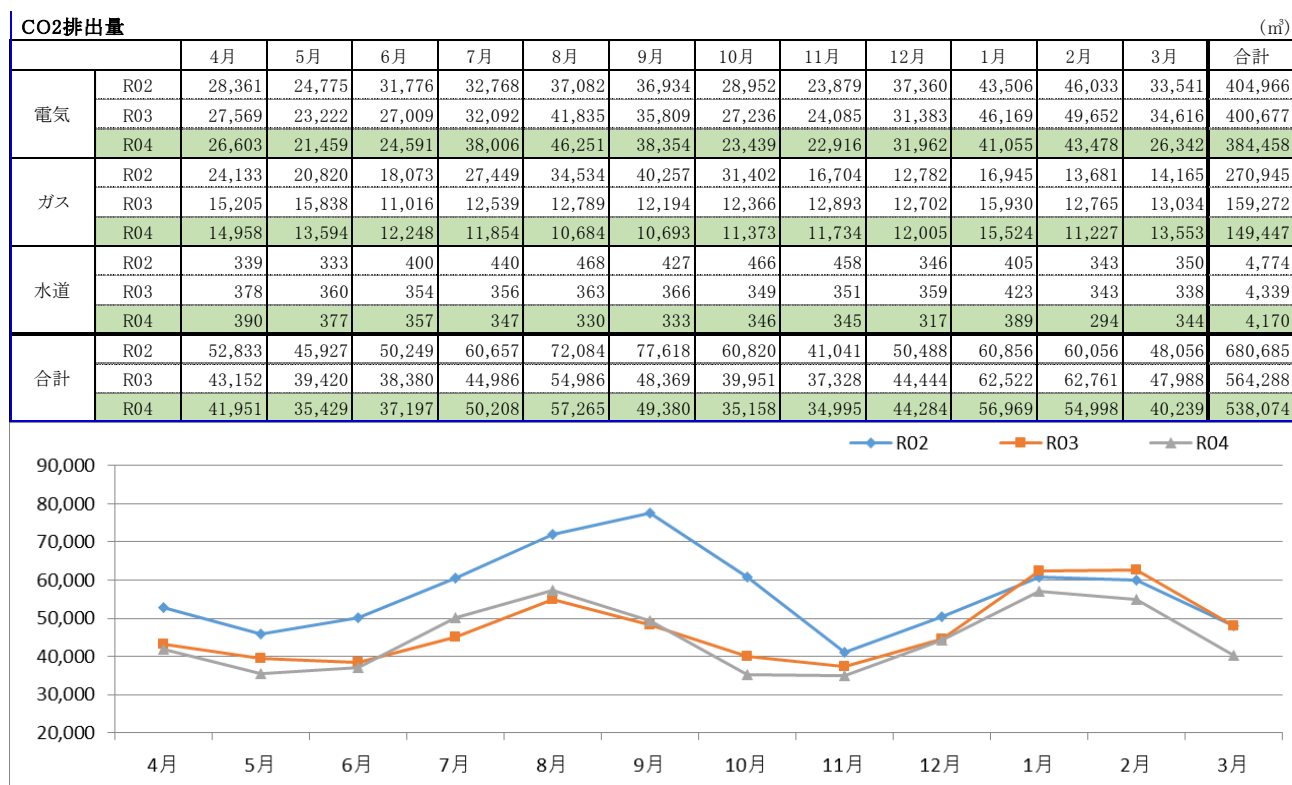
実 施 事 業：特別養護老人ホーム 好日苑 (介護老人福祉施設)

公 開：とうきょう福祉ナビゲーション

3. 広報委員会 (PR)

- (1) 広報委員会設置要綱の一部改定提案
- (2) 職員親睦会中止に伴う QUO カードの職員配布
- (3) 響会創立 25 周年記念ノベルティ立案・製作
- (4) 広報誌「ひびき」の発行
 - ・ 年 4 回発行 (4 月「73 号」 7 月「74 号」 10 月「75 号」 1 月「76 号」)
- (5) ホームページ
 - ・ ホームページの更新
(職員紹介・数字で知る響会・働く環境を知る・研修制度・動画で見る響会)
 - ・ 月次更新 (職員採用・月間予定表・献立等・シニアステーションニュース)
 - ・ ブログ更新 (日々是好日・特養の窓・デイサービスの窓・包括の窓)

(6) Fun to Share



(7) 地域活動

下記活動は、新型コロナウイルス感染予防のため中止

- ・ ひびきほっとサロン
- ・ 施設開放 (フローア貸出)
- ・ ボランティア懇親会

IV 安全対策

1. 自然災害時における「事業継続計画（BCP）」作成
「災害対策推進チーム」により、R5 年度版 事業継続計画（BCP）を検討・作成
2. 好日苑備蓄整備
3. 自衛消防訓練審査会（開催中止）
4. 衛生管理委員会の開催（全 12 回）
安全確認（労働環境・衛生）・職員健康診断・腰痛予防・ストレスチェック・感染症対策

V 苦情処理

【法人受付】

日付	種別	内容	改善対策
5/26	その他	特養入居者物品破損	謝罪及び費用弁償
7/30	ケア内容	特養入居者体調管理	謝罪し説明
2/20	その他	新館居室給湯器不具合と職員の休憩場所について	説明し給湯器更新
合 計			3

VI 地域交流及び公益的取組

1. 地域講座「ひびきほっとサロン」
新型コロナウイルス感染症対の影響により開催中止
2. 令和 4 年度 おおた福祉ネット調布地区連絡会（7 月・2 月）開催
8 月 1 日「大田区重層的支援体制整備事業について」
2 月 15 日「東邦大学いえラボについて」「いえラボ見学」
3. 好日苑まつり
 - (1) 実行委員会 全 1 回（6 月）
 - (2) 実施内容
日 時 : 令和 4 年 9 月 18 日（日）10:30～13:30
参加者 : 特養入所者
内 容 : 新型コロナウイルス感染症の影響により、地域・家族参加はできませんでしたが、特養入居者を対象にまつりを演出して、コロナ禍での非日常を楽しんでいただくために、屋台やゲームコーナー等を設け楽しんでいただきました。

Ⅶ 理事会・評議員会

1. 理事会及び評議員会 等

(1) 理事会議案

開催日		議題		報告事項
第1回	R4. 5. 27	第1号議案	育児休業等に関する規則及び介護休業等に関する規則の改(案)	① 寄附金の取扱い報告 ② 六郷地区地域包括支援センター中間評価結果 ③ 好日苑ケアプランセンター実地指導報告 ④ 新型コロナウイルス感染症対応状況
		第2号議案	令和3年度 事業報告(案)	
		第3号議案	令和3年度 決算報告(案)	
		第4号議案	監事監査報告 社会福祉充実計画	
		第5号議案	定期巡回池上長寿園と契約(一部委託)	
		第6号議案	役員等賠償責任保険契約	
		第7号議案	令和4年度定時評議員会開催	
第2回	R4. 10. 28	第1号議案	「育児介護休業法改正」の対応	① 理事長の業務執行報告 ② 「好日苑ヘルパーステーション」令和4年度 指定居宅サービス事業者等の運営状況等確認検査(書面検査)の実施について(東京都) ③ 介護職員等ベースアップ等支援加算について ④ 全館 LED 照明更新工事完了報告 ⑤ 新型コロナウイルス感染症対応状況
		第2号議案	「個人情報保護規定」改正(案)	
		第3号議案	大田区法人指導監査実施報告・改善(案)	
第3回	R5. 1. 27	第1号議案	正職員永年勤続表彰規程(案)	① 大田区地域包括支援センター及びシニアステーション業務委託事業者評価委員会にかかる評価結果(六郷地区)報告 ② 令和4年度指定居宅サービス事業者等の運営状況等確認検査結果 ③ 高齢者施設等の感染症対策設備整備推進事業補助金「多床室の個室化に要する改修費支援事業」の辞退 ④ 創立25周年企画 5ヶ年修繕計画 ⑤ 新型コロナウイルス感染症対応状況
		第2号議案	光熱費及び物価高騰における生活支援のための特別手当支給(案)	
		第3号議案	次世代介護機器導入促進支援事業補助金決定	
		第4号議案	換気設備更新工事	
第4回	R5. 3. 24	第1号議案	令和4年度 第1回 補正予算(案)	① 理事長の職務執行状況報告 ② 令和4年度特養第三者評価結果報告 ③ 地域福祉コーディネート事業(社協配置)委託について ④ 新型コロナウイルス感染症対応状況
		第2号議案	令和5年度 事業計画(案)	
		第3号議案	令和5年度 当初予算(案)	
		第4号議案	年額1,000万円を超える業務委託契約	

(2) 評議員会議案

開催日		議題	報告事項
第1回 (定時)	R4. 6. 17	第1号議案 令和3年度 事業報告 (案)	① 寄附金の取扱い報告
		第2号議案 令和3年度 決算報告 (案) 監事監査報告	② 六郷地区地域包括支援センター中間 評価結果
		第3号議案 社会福祉充実計画	③ 好日苑ケアプランセンター実地指導 報告
		第4号議案 役員等賠償責任保険契約	④ 新型コロナウイルス感染症対応状況

(3) 役員及び評議員 (令和4年3月31日現在)

役職名	氏名	備考
理事	小林 信正	理事長
理事	栃原 憲彦	施設長
理事	戸金 隆三	
理事	海老澤 信吉	
理事	門倉 友子	
理事	常安 雅彦	
監事	谷塚 秀男	
監事	吉田 由美子	
任期 R3. 6. 18～R5-定時評議員会まで		

役職名	氏名	備考
評議員	杉山 鈴子	
評議員	鈴木 壽子	
評議員	星野 勝世	
評議員	森井 郁夫	
評議員	海老澤 幸子	
評議員	玉井 直仁	
評議員	中野 眞木夫	
評議員	大字 久美子	
任期 R3. 6. 18～R7-定時評議員会まで		

2. 本部会議 等
(1) 幹部会

上半期開催	主な内容	下半期開催	主な内容
4月6日	部門報告・新型コロナ・処遇改善計画等	10月6日	部門報告・新型コロナ・今後の事業展開
4月14日	部門報告・新型コロナ・事業報告書	10月13日	部門報告・新型コロナ・指導監査結果
4月21日	部門報告・新型コロナ・安心メール訓練	10月20日	部門報告・新型コロナ・ストレスチェック結果
4月28日	部門報告・新型コロナ・福祉避難所受入	10月27日	部門報告・新型コロナ・感染症指導者
5月6日	部門報告・新型コロナ・決算報告	11月4日	部門報告・新型コロナ・多床室の個室化
5月12日	部門報告・新型コロナ・特定技能受入	11月10日	部門報告・新型コロナ・25周年ハルティ
5月19日	部門報告・新型コロナ・法人ロゴガイドライン	11月17日	部門報告・新型コロナ・即応支援報告
5月26日	部門報告・新型コロナ・面会緩和	11月24日	部門報告・新型コロナ・省エネ補助金
6月2日	部門報告・新型コロナ・保険更新	12月1日	部門報告・新型コロナ・社内通達
6月9日	部門報告・新型コロナ・特定技能1号	12月8日	部門報告・新型コロナ・換気設備更新
6月16日	部門報告・新型コロナ・安心メール権限	12月15日	部門報告・新型コロナ・R4決算予測
6月23日	部門報告・新型コロナ・広報委員会要綱	12月22日	部門報告・新型コロナ・R5目標値
6月30日	部門報告・新型コロナ・MM2022	12月29日	部門報告・新型コロナ・物価高騰支援
7月6日	部門報告・新型コロナ・SNS規定・誓約書	1月5日	部門報告・新型コロナ・理事会議案
7月14日	部門報告・新型コロナ・処遇改善実績	1月12日	部門報告・新型コロナ・5ヵ年修繕計画
7月21日	部門報告・新型コロナ・育児・介護休業	1月19日	部門報告・新型コロナ・ボラ表彰基準
7月21日	部門報告・新型コロナ・処遇改善状況	1月26日	部門報告・新型コロナ・R5事業計画
7月28日	部門報告・新型コロナ・ベースアップ加算	2月2日	部門報告・新型コロナ・R4補正予算
8月4日	部門報告・新型コロナ・福祉避難所要望	2月9日	部門報告・新型コロナ・ほっとサン指針
8月10日	部門報告・新型コロナ・燃料費財政支援	2月16日	部門報告・新型コロナ・調布地区法人協
8月18日	部門報告・新型コロナ・大田区法人監査	2月22日	部門報告・新型コロナ・R5 OP委員会
8月25日	部門報告・新型コロナ・個人情報保護	3月2日	部門報告・新型コロナ・災害時ショートステイ
9月1日	部門報告・新型コロナ・LED更新工事	3月9日	部門報告・新型コロナ・就職支援支度金
9月8日	部門報告・新型コロナ・デイ機能訓練	3月16日	部門報告・新型コロナ・統一エフォーム選定
9月15日	部門報告・新型コロナ・永年勤続規程	3月23日	部門報告・新型コロナ・ボラ感謝状贈呈
9月22日	部門報告・新型コロナ・大田区法人監査	3月30日	部門報告・新型コロナ・役職者会報告
9月29日	部門報告・新型コロナ・25周年記念企画	全53回開催	

(2) 経営会議

開催日	経営会議議題
4月7日	前月の実績報告（部門報告含む） 令和4年5月人事 令和3年度 第5回 理事会決議報告 令和3年度事業報告書締め切り 介護職員処遇改善計画書・介護職員等特定処遇改善計画書について 2022年以降の道路交通法施行規則改正 令和3年度大田区地域包括支援センター中間評価（六郷地区） 心の小箱（苦情・意見等）について 講評：「施設長」「理事長」

開催日	経営会議議題
5月11日	前月の実績報告（部門報告含む） 令和4年度 第1回 理事会開催 防災訓練【職員安否確認報告】事前通知 「令和4年度前期」特養申込2次評価 心の小箱（苦情・意見等）について 講評：「施設長」「理事長」
6月7日	前月の実績報告（部門報告含む） 令和4年度7月人事 理事会決議報告及び評議員会等予定 令和4年度夏期賞与等支給 粗大ごみ回収及び書類廃棄について 特養面会の再開≫ステージⅠ.5とする 響会ロゴガイドラインについて 令和4年5月 防災訓練【職員安否確認報告】結果報告 心の小箱（苦情・意見等）について 講評：「施設長」「理事長」
7月7日	前月の実績報告（部門報告含む） 評議員会決議報告 第25回好日苑まつりについて 響会「ソーシャルメディア利用管理規定」、「ソーシャルメディア利用に関する誓約書」 心の小箱（苦情・意見等）について 講評：「施設長」「理事長」
8月5日	前月の実績報告（部門報告含む） 令和4年度 介護職員処遇改善実績報告書・介護職員等特定処遇改善実績報告書 令和4年度 介護職員等ベースアップ等支援加算処遇改善計画書 令和4年度合同慰霊祭開催 第25回好日苑まつりについて（資料配布） 防災訓練（自然災害BCP）実施について ひびき新型コロナ対応ステージ2020（Vol.5）段階Ⅱとする 心の小箱（苦情・意見等）について 講評：「施設長」「理事長」
9月7日	前月の実績報告（部門報告含む） 介護職員処遇改善支援補助金【9月処遇改善手当】の増額について 防災訓練（自然災害BCP）実施について 第25回好日苑まつりについて 「育児介護休業法改正」の対応について ストレスチェック実施（10月実施） 好日苑 LED 照明更新工事について 法人指導監査について 心の小箱（苦情・意見等）について 講評：「施設長」「理事長」
10月7日	前月の実績報告（部門報告含む） 令和4年11月人事 令和4年度第2回理事会開催案内 好日苑まつり実施報告 ストレスチェック実施（10月実施） 防災訓練（自然災害BCP）実施について 法人指導監査結果報告 職員親睦会から職員懇親会中止に伴う対応について 大田区内特養職員交流研修事業について 心の小箱（苦情・意見等）について 講評：「施設長」「理事長」

11 月 8 日	前月の実績報告（部門報告含む） 令和 4 年度第 2 回理事会決議報告 ストレスチェック実施（10 月実施）結果 防災訓練（自然災害 BCP）実施報告 特養優先入所申込状況 令和 4 年度虐待の芽チェックシートアンケート結果 令和 4 年度冬期賞与支給 介護職員等特定処遇改善一時金支給について 心の小箱（苦情・意見等）について 講評：「施設長」「理事長」
12 月 7 日	前月の実績報告（部門報告含む） 六郷地区地域包括支援センター評価結果 特養新型コロナクラスターに関する東京都即応支援チーム派遣指導結果 粗大ごみの廃棄について 心の小箱（苦情・意見等）について 【社内通達】 1. 業務時の適正な靴の着用について 2. 燃料費高騰に伴う省エネ対策に関連した経費削減について 講評：「施設長」「理事長」
1 月 11 日	前月の実績報告（部門報告含む） 令和 4 年度第 4 回理事会開催案内 第 6 次中期経営計画基本目標及び令和 5 年度事業計画書作成依頼 東京都特別養護老人ホーム経営支援補助金内示 高齢者施設等の感染症対策設備整備推進事業補助金（多床室の個室化辞退） 次世代介護機器導入促進支援事業補助金決定 心の小箱（苦情・意見等）について 講評：「施設長」「理事長」
2 月 7 日	前月の実績報告（部門報告含む） 特別手当支給について 【光熱費及び物価高騰における生活支援のための特別手当支給】 令和 4 年度第 3 回理事会決議報告 令和 4 年度 3 月人事 正職員永年勤続表彰規程について 響会創立 25 周年企画 燃料費・物価高騰等に対する支援金について 心の小箱（苦情・意見等）について 講評：「施設長」「理事長」
3 月 7 日	前月の実績報告（部門報告含む） 令和 4 年度第 4 回理事会開催案内 令和 4 年度 4 月人事 自転車乗車時のヘルメット着用について 介護職員等ベースアップ等支援加算 【3 月処遇改善手当】の増額について 心の小箱（苦情・意見等）について 【3 月社内通達】 1. 新型コロナウイルス感染症対策に関連した令和 5 年 3 月 13 日以降のマスクの着用について 1. 職員は、屋内業務中はマスク着用とする。 2. 職員は、通勤時等で混雑した電車やバスを利用する際にはマスク着用とする。 3. 面会者も、マスク着用とする。 2. 12 月社内通達の再周知 1. 業務時の適正な靴の着用について 2. 燃料費高騰に伴う省エネ対策に関連した経費削減について 講評：「施設長」「理事長」

事務部門

事務部門は、直接処遇となる介護現場及び経営に関するサポートを迅速かつ正確に行い、最新の情報を継続して維持・保管ができるように努め、老朽化した建物・設備整備・修繕を行い、法人事務分野を含め、適切な事務処理を行いました。大田区による社会福祉士法人指導監査において、文書による指導事項がなかったことは、日頃からの積み重ねの成果と言えます。

業務整理、課題抽出では、適正な人員配置及びIT化による効率化の検討、令和5年度には更なる効率化と迅速かつ正確な事務処理を行えるように、システム導入と人員体制整備を行います。

1. 主な規程改正

	規 程	備 考
1	就業規則	育児・介護休業法改正の適用
2	契約職員就業規則	〃
3	育児・介護休業等に関する規則	〃
4	個人情報保護規定	個人情報保護法改正の適用
5	永年勤続表彰規程	R5.4.1 適用（新規）

2. 職員数

令和5年3月31日現在

法人合計			正 規			非正規		
計	女性	男性	計	女性	男性	計	女性	男性
213	147	66	151	100	51	62	47	15

3. 育児休業取得者数／出産者数

法人合計			女性			男性		
取得者	対象者	取得率	取得者	対象者	取得率	取得者	対象者	取得率
9	11	81.8%	8	8	100%	1	3	33.3%

4. 役員及び管理的地位にある者に占める女性の割合

令和5年3月31日現在

役員	管理監督職（係長以上）
25.0%	55.0%

5. 年次有給休暇消化率

法人全体
69.2%

※ 年度内消化日数 ÷ 4/1現在の有給日数

6. 業務整理と適正人員体制

多岐に渡る事務処理の中でも、経理・労務に関する手続きの増大、煩雑化しており、担当に業務が集中する現状があり、令和5年から経理・労務担当を2人体制とする。

【事務基本体制】

(人数)

	令和4年度	令和5年度
本部事務	1	1
経理・労務	1	2
設備管理	1	1
広報・実習	1	1
非常勤事務員	1	1
合 計	5	6

7. IT化によるシステム導入

(1) 課題

- ① 経理・労務が担当者1名のため、緊急時には担当業務内容が分からず業務が停止する恐れがある。
- ② システム化・一元化されていないため、重複作業が多い、我流になりやすい。
- ③ 業務ソフトインストールPCのみで作業が可能（PC故障＝業務停止）

(2) システム構築

- ① 一元化・クラウド化することで円滑・効率的に業務を行い、事務処理の軽減化。
- ② データベースの共有化することで、情報活用を円滑にする。

【構築案】

	現状	新規
財務会計	PCA 社会福祉法人会計	PCA 社会福祉法人会計クラウド
給与会計	弥生給与	PCA 給与クラウド
人事労務管理	Excel・紙面管理	PCA 人事管理クラウド
固定資産管理	PCA 固定資産	PCA 固定資産クラウド
勤務システム	ADBANCE 勤怠	ADBANCE 勤怠

※ 株式会社古田土経営の協力で、システム構築を検討中

8. 建物・設備整備（老朽化対応）

【主な修繕等】

	名称	金額	施工完了日
1	新館スタッフルームエアコン更新	1,980,000	4/21
2	厨房給湯器更新	682,000	4/28
3	シュレッダー	282,700	6/27
4	電動自転車	104,940	7/7
5	介護用ベッド 40 台	7,580,000	7/14
6	電気温水器(新館 310 室)	209,000	8/22
7	全自動洗濯機(新館 1 階)	118,880	9/12
8	本館地下機械室ダンパー交換	165,000	9/27
9	厨房床洗浄	156,200	10/4
10	LED 照明	30,800,000	10/31
11	新館機械浴電動弁故障	190,080	1/10
12	本館自動火災報知器	1,540,000	1/17
13	厨房喚起フード清掃	320,650	1/17
14	ノート PC(ケアプラン)	123,860	1/24
15	電気温水器(新館 313/113 室)	368,500	3/9
16	新館 1 階防排煙窓ハンドル修理	165,000	3/22
17	介護用センサーベッド 50 台(体交マット 20 含む)	19,816,940	3/23
合 計		64,603,750	

9. 実習受入

学校等	実習区分	実習先	人数
鶴見大学短期大学部	介護福祉士	特養・デイ	1
城南職業能力開発センター	介護実務者実習	特養	3
東京都社会福祉協議会 (日本体育大学・立正大学・文化学園大学)	教員免許法の特例による 介護等体験実習	特養・デイ	16
昭和大学歯学部	歯科実習	特養	18
東京工科大学	看護実習	各包括	48
東邦大学看護学部	公衆衛生実習	各包括	12
東京都福祉保健財団	介護支援専門員実務研修	ケアプラン	1
大田区社会福祉協議会	夏体験ボランティア	デイ	2
駒沢大学	社会福祉士 補習	デイ	1
大田桜台高校	体験学習	特養	17
貝塚中学校	職場体験学習	デイ	4
雪谷中学校	職場体験学習	デイ	1

特養部門（特別養護老人ホーム 好日苑）

令和4年度は、7月以降5回に渡り新型コロナウイルス感染症の集団感染が発症致しました。協力医療機関及び保健所との連携により入院加療等を迅速に行う事が出来、全ての集団感染が概ね1ヶ月で収束をする事が出来ました。しかしながら新型コロナウイルスの影響による稼働の低下が響き、年間目標である97.5%を達成する事は叶わず、感染症に振り回される1年となりました。そのような状況下ではありましたが、次世代介護機器導入促進支援事業を活用し、見守りセンサー付ベッド55台及び自動体位変換機能付きエアマットレス（利楽Flow）20台を導入しご入居者様が安心して快適に過ごす事が出来るよう設備投資を行い、次世代介護を行う上での基盤固めを行うことが出来ました。また専門職種である機能訓練指導員の採用も行い、個別機能訓練加算の算定を開始致しました。理学療法士による個別の機能訓練にて、拘縮の軽減及び車椅子のシーティングの見直しを行い、離床時の安楽な姿勢保持が出来ました。

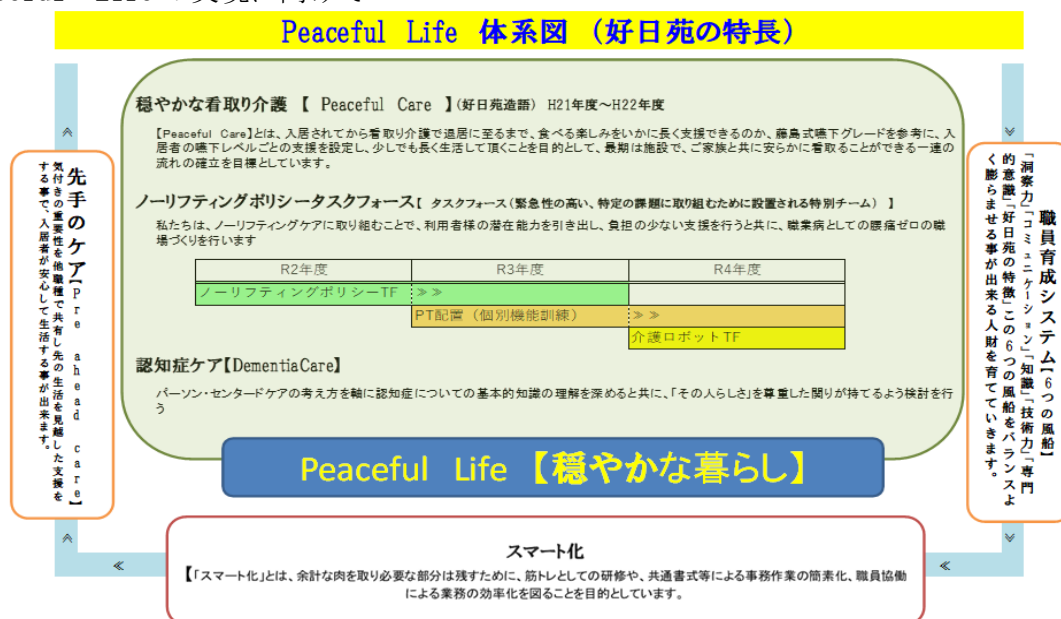
職員の資格取得に関しては、ユニットケアリーダー研修等が新型コロナウイルスの影響でオンライン研修に変更、実地研修は延期となっていました。令和4年度後半より実地研修も再開。研修を無事に受講し終了証を受領する事が出来、各フロアにユニットリーダー研修受講者を配置する事が出来ました。令和5年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症の蔓延予防に努めると共に、次世代介護の実践によるご入居者様のQOL向上、及び職員の資格取得支援に力を注いでいく予定です。

【重点目標】の評価

(9)好日苑(特養・ショート) 第6次中期経営計画を踏まえた令和4年度事業計画の重点施策	
利用者	① Peaceful Care(看取り介護)の実現 ② 機能訓練指導員の雇用と個別機能訓練加算及びADL等維持加算取得整理 ③ ノーリフティングケアの標準化
職員	① 職員育成システム構築 ② 先手のケアの「可視化」と「浸透」 ③ スマート化(業務マニュアルの公式選定と更新) ④ 介護ロボットのプラットフォームの構築
経営	① 入院日数 1,200 日/年 施設稼働 97.5% (特養 96%、SS108%)

I 本館・新館 目標 「Peaceful Lifeの実現」

～Peaceful Lifeの実現に向けて～



「職員育成システム」

【6つの風船】

「洞察力」「コミュニケーション」「知識」「技術力」「専門的意識」「好日苑の特長」この6つの風船をバランスよく膨らませる事が出来る人財を育てていきます。

令和4年度は、昨年度に整理した「職員育成システム」の本格的運用を開始し、PDCAサイクルに沿って適切な実施と評価を行い無資格・未経験の新入職員育成を行う事が。来年度は高卒の無資格・未経験者の入職も決まっておりますので、社会人としてのマナー等も含めて好日苑の求める人財となるよう育成システムの適切な運用に努めて参ります。

「スマート化」

【スマート化】

好日苑でいう「スマート化」とは、余計な肉を取り必要な部分は残すために、筋トレとしての研修や、共通書式等による事務作業の簡素化、職員協働による業務の効率化を図ることを目的としています。

令和4年度は介護・看護共に業務のスマート化として、専門職の役割を整理し、よりスムーズな連携が図れるよう整えました。来年度も更なる業務のスマート化を図り、効率よく且つ丁寧な介護が行えるよう努めて参ります。

「先手のケア」

【Pre ahead care】

気付きの重要性を他職種で共有し先の生活を見越した支援（先手のケア）をする事で、入居者の安心した暮らしを支援していくと共に、介護サービスの質の向上を図る観点から、介護サービスの質の評価と科学的介護の取組を推進していきます。

令和4年度は、入居者の安心した暮らしの提供を目的に、提携病院の嘱託医の先生方のご協力の下、看護・介護・相談・栄養・理学療法士・ご家族様と密に連携を図る事で、入居者の意向に沿った形で、早めの対応を心掛け、入院に至る重篤な症状を未然に防ぐ取り組みを実践して参りましたが、新型コロナウイルス感染症の集団感染の影響により、年間1,200日の入院日数を1,504日と304日オーバーしてしまいました。新型コロナウイルス感染症による入院日数を除くと945日と昨年度の1088日を下回る結果となります。

「ノーリフティングポリシータスクフォース（NPTF）」

【タスクフォース（緊急性の高い、特定の課題に取り組むために設置される特別チーム）】
私たちは、ノーリフティングケアに取り組むことで、利用者様の潜在能力を引き出し、負担の少ない支援を行うと共に、職業病としての腰痛ゼロの職場づくりを行います。

令和4年度は、「ノーリフティングポリシータスクフォース」の最終年度でした。

参加メンバーはフロアの若手メンバーが参加し、日々のケアの中で「ノーリフティングケア」のスタンダード化に向けて取り組み、日常ケアの中で当たり前のようにスライディング・シートやボードを活用する事が出来るようになりました。また年度後半より理学療法士もメンバーに加わり、個別機能訓練を開始すると共に、入居者様の有する能力を活用した適切な介護及び腰痛予防の視点を取り入れた介護方法の見直しを行うと共に、上手く次世代介護機器の移乗介護ロボット「Hug」の活用も行う事ができました。

来年度は「次世代介護の実践チーム」として新たに導入したセンサー付ベッドやエアマットの活用及び評価を行い、次世代介護の先駆的な存在となれるような委員会として努めていきます。

「認知症ケア」

【Dementia Care】

パーソン・センタードケアの考え方を軸に認知症についての基本的知識の理解を深めると共に、「その人らしさ」を尊重した関りが持てるよう検討を行います。

『 認知症ケア委員会 』

委員会名	検討報告
認知症ケア委員会	認知症の知識向上の為、「基礎知識」を始め「有する能力」をテーマにアセスメント方法や支援方法を学ぶ。また多職種を含めたチームで認知症ケアが行えるよう「センター方式」を使用しフローで実践する。講師は東京都認知症実践者研修、リーダー研修受講者を中心に行い、学んできたことを広め教える側、学ぶ側のスキル向上を目指す。

令和4年度は、東京都認知症介護実践者研修及びリーダー研修受講を終了した職員が講師となつて、中堅職員を中心に2か月に1回の勉強会を開催しました。認知症ケアの基本である「有する能力に沿って」認知症の方の立場になって考える事や、チームケアについて学び職員個々の能力向上に繋がりました。

【 係長会議(3C) 】

① 利用者：入院日数削減への提案・取組

1,200日/年の目標に対して、「先手のケア」の取り組みで早期発見・早期対応を心掛けましたが、新型コロナウイルス感染症の5回に渡る集団感染の影響により1,504日と目標を達成する事が出来ませんでした。

② 職 員：人財確保対策

令和4年度も、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響にてオンラインを活用した就職フェア等を開催しましたが、残念ながら採用に結び付ける事は出来ませんでした。しかしながらネットを介して、誰でも自由に参加出来る等、新たな可能性を感じさせる取り組みであったと考えております。

採用活動の実績としては、東京都の介護職員就業促進事業にて1名の職員採用及びホームページや職員紹介による直接応募や、紹介会社を通じての採用面接も実施し、令和4年度は17名の正規職員採用に繋げる事が出来ました。

就職フェア	
令和4年5月19日	おおた介護のお仕事定例就職面接会【対面】
令和4年10月16日	おおた福祉フェス2022【オンライン出展】
令和4年11月26日	大田区 ふくしのしごと市【対面】
令和4年2月15日	TOKYO かいごチャレンジインターンシップ【2名受入】

採用状況	正規職員		非常勤職員		派遣職員	
	入職	退職	入職	退職	入職	退職
介護職員	14	9	0.5 (1)	1.9 (4)	0.8 (1)	2 (2)
看護職員 理学療法士	3	3	1 (1)	0 (0)	6.2 (7)	5.2 (6)

* ()内は実数

③ 経 営：特養 138床 特養稼働目標 96.0%

ショートステイ 19床 ショート稼働目標 108%

施設稼働目標 97.5% 入院日数 1,200日/年

・令和4年度稼働実績

特養 95.1% ショートステイ 112.7%

施設稼働 97.2%、入院日数 1,504日/年(前年度比較+416日)

【 看護師会議 】

- ① 利用者：入院日数削減に向けての利用者健康管理・多職種連携
 - ・内服セットミスの削減に向けた取り組み
 - ・医務室内業務のスタンダード化（薬局との薬セットの連携）
 - ・感染症マニュアル適宜更新
 - ・往診と受診の考え方の見直し

【 本館会議 】

- ① 利用者：“専門性“と”想い“を汲んだケア（ご利用者様・ご家族様）
 - ・各館完結から本館全体完結へ向けて
 - ・生活支援補助員の導入

【 新館会議 】

- ① 利用者：“専門性“と”想い“を汲んだケア（当たり前前の生活）
 - ・新館全体でのカバー体制構築に向けて
 - ・「24時間の暮らしの継続」に向けて
 - ・スマート化から利用者視点への変化

Ⅱ 生活支援

1. 情報の共有化を図り、多職種協働のケアを提供します。

（1）ケアプランの質の向上について

令和4年度は退居者62名、入居者62名と入退居が過去最高に多い年となりました。昨年と比べると退去が28件増加、お看取りさせて頂いた方は42件でした。これまで同様、医療ニーズの高い重度の要介護者の受け入れによる影響もありますが、コロナ発症によるその後の体調変化が起きやすくお看取りに至るケースも多かった事が要因と思われます。その反面要介護度の低いお元気な認知症の方の入居も多く多様なニーズに合わせたマネジメントが求められました。

その中で如何に、ご入居者様のQOLを維持・向上させる事が出来るのか、サービス担当者会議を開催し、居室担当が主体となり、副主任やフロアリーダーを巻き込みながら、フロア職員に周知を図る事で、変更した支援内容が、スムーズに実際のケアに活かされるよう努めて参りました。今後も認知症の入居者に対する関わり方や、医療ニーズの高い入居者に対して、多角的なケアが求められてきますので、他職種協働し、ケアプランの質の向上及び実際のケアの質の向上に向けて、取り組んで行こうと思います。

また、今年度も新型コロナウイルス感染防止の観点から原則、面会を中止させて頂いた期間がほとんどでした。ケアプランの見直し毎に担当CMより、ご入居者様の近況を詳細に報告させて頂きましたが、「会えない寂しさ」を少しでも改善しようと、iPadを使用したオンライン面会を継続させて頂きました。ご入居者様のご負担も考慮しながら1回15分程度と時間を設定させて頂き、ZoomやFaceTimeでの実施ですが、画像を通して元気な姿が観られると好評を頂いています。来年度も引き続き工夫をしながら継続していきたいと思っています。

（2）本館業務改善と職員育成

R4年度は、今後どんな本館にしていきたいかというテーマで、改めて好日苑本館（従来型の特徴を、勉強することから始めました。好日苑本館の強みとして、利用者にとっては、コミュニティが作りやすい、多床室にて誰かがいる安心感がある。職員にとっては、チームケアがしやすい、多くの事例を経験できるなど知りました。また弱みとして、利用者にとっては、プライバシーが保ちにくい、職員にとっては、流れ作業になりやすいことを再認識できました。そして従来型ですが可能な限り個別ケアに努めていることも特徴として知ることができました。それを踏まえて改めて好日苑従来型の確立を目指しました。

従来型としては個別ケアが充実している反面、業務が多様化している部分も多く、キーワードとして「S：シンプル（より分かりやすく）U：ユニティー（統一）S：スタンダード（標準化）」を掲げ、取り組みを実施することとしました。

まず初めに、各階の物品保管場所を統一していくことで、緊急時対応のスマート化、異動職員の業務スマート化を図りました。次に職員の動き方も誰が行ってもベースの動きが変わらないよう各勤務の役割、動き方を精査して標準化を図り、併せてマニュアルの見直しを行いました。今まで職員個々で、かなり動き方に幅があり、新人職員もどのように動いていいのかわからないことがありましたが、標準化を図ることで、いつ、誰が勤務しても一定以上のサービスを提供できるよう、また新人職員も混乱しないような工夫に努めました。

また他従来型施設の手法も改めて参考にさせて頂きながら、好日苑従来型の特徴「①利用者個別の日課を尊重」「②食事、個食等個別対応」「③マンツーマン入浴」「④医療ニーズへの対応が柔軟」であることを再認識しました。その中でできるだけ好日苑のよさを残しつつもスマート化を図る目的にて、年度末にかけては、現在のマンツーマン入浴から、集団入浴への検討を開始しました。集団入浴のイメージとして「イモ洗い、流れ作業など」マイナスなイメージもありますが、今までマンツーマン入浴（個別ケア）を行ってきたからこそできる利用者意向に寄り添った集団入浴＝「安心入浴」の確立を目指すこととしました。浴室内に複数利用者職員ともいることで、利用者はコミュニティーが広がり、また新人等職員の安心に繋がることも期待しています。

次年度は、安心入浴開始に向けてスタートして、専門性を活かしたケアの充実を図っていきながら、新人中堅問わず職員が個々の特性を活かして生き生きと活躍していくことを目指すことで、利用者の生活に彩と潤いがあたえられるよう努めていきたいと考えております。

（３）新館業務改善と職員育成

令和４年度は、「好日苑ユニットケアの確立」を目標に掲げました。まずは、新館会議メンバーである、係長・主任・副主任がユニットケアをしっかりと理解する必要があるということで、ユニットリーダー研修受講者中心に、学ぶ場を設けました。ユニットリーダーが求められる役割や、利用者様の暮らしを見える化するための「24時間シート」を作成する必要性などを学び、実際に居室担当の職員と一緒に24時間シートの作成を行いました。「利用者様が大事にしたいこと」を改めて確認し、現在の暮らしが「望む暮らし」になっているのか。を考えるように意識付けをしています。

また、ユニット利用者様10名の24時間シートを一覧化することで、職員によって動き方に違いができないように視点合わせも行っております。

2. 「安心と暖かさ」を感じられる看取り介護を目指します。

嘱託医によるご家族への病状の説明を行い、苑での看取り介護についての説明と同意を経て実施いたしました。令和４年度は退居者62名（内3名は館内移動）のうち38名の方（61%）を苑にて看取ることができました。

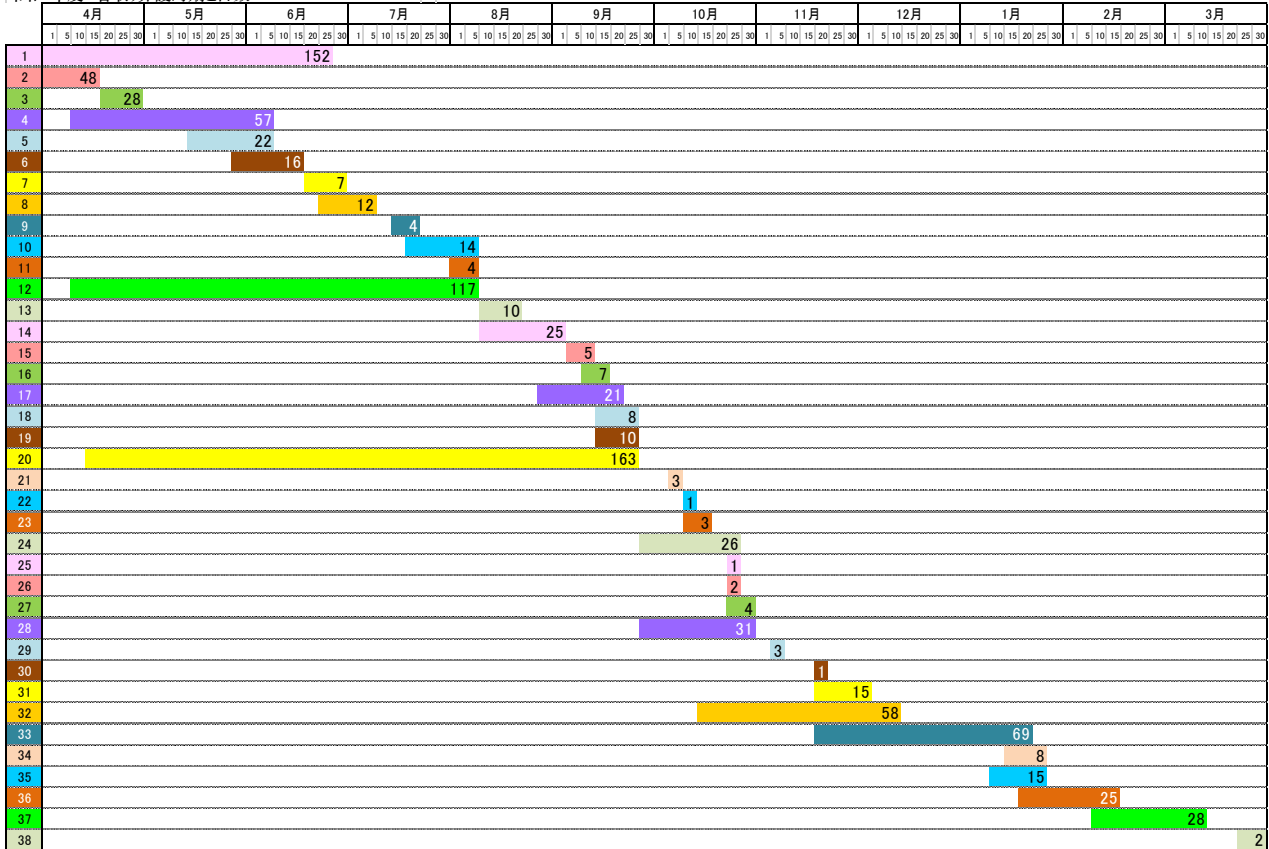
令和３年度の18件に比べ大幅に看取り介護を実施した方が増えました。好日苑での看取り介護の取り組みが定着してきた結果と考えております。

尚、令和４年度の看取り介護実施期間の合計は1,025日間で、看取り介護期間の平均は27日間でした。平成18年度から令和４年度までの17年間で、看取り介護を実施した280名の方の平均看取り介護期間は約36.3日間となっています。

出来る限り看取り介護への移行が遅くなるように、またご家族様に状態報告を適切に出来るように、嘱託医と連携して策定したPeaceful Careの体系図『図1』に基づいて、出来る限り長く経口摂取が出来る支援、看取る側、看取られる側の立場に立った支援を心がけていきたいと思っております。

【看取り介護時期と日数のグラフ】

令和4年度 看取り介護時期と日数

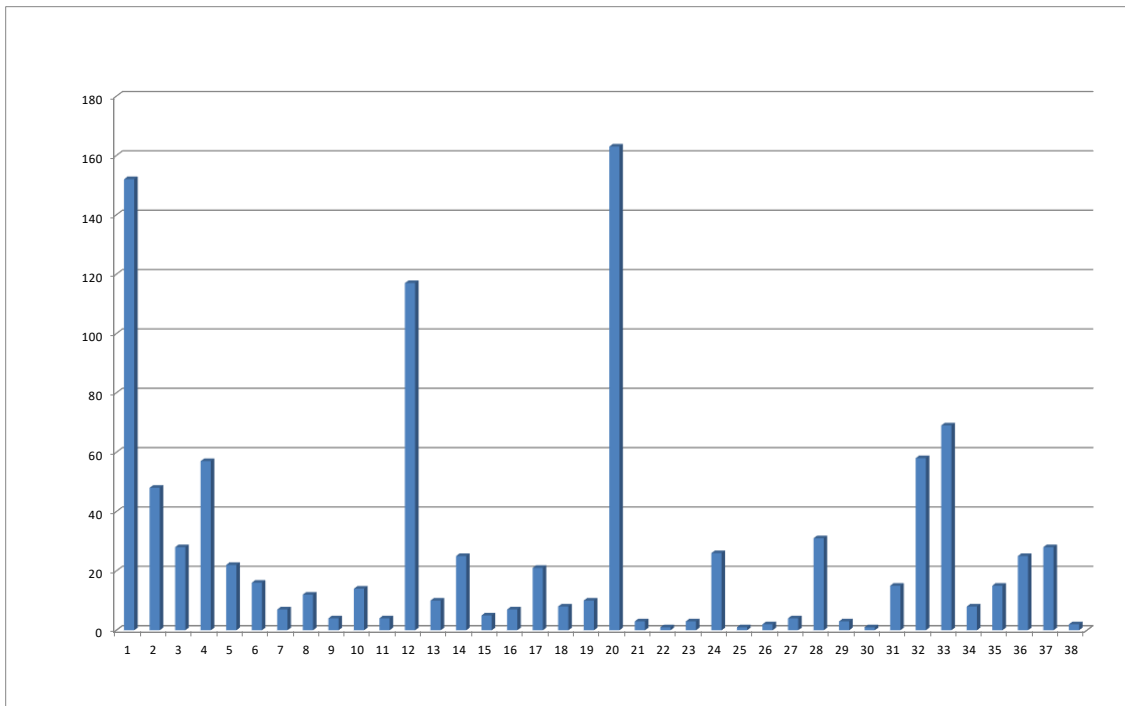


【看取り介護期間】

※ 令和4年度に看取り介護で退居された方は39名となり、平均看取り介護期間は26日間でした。

『図1』

対象者	看取り介護期間
1	152
2	48
3	28
4	57
5	22
6	16
7	7
8	12
9	4
10	14
11	4
12	117
13	10
14	25
15	5
16	7
17	21
18	8
19	10
20	163
21	3
22	1
23	3
24	26
25	1
26	2
27	4
28	31
29	3
30	1
31	15
32	58
33	69
34	8
35	15
36	25
37	28
38	2
合計日数	1,025
平均	27



好日苑 【 Peaceful Care (穏やかな看取り介護) 】の体系図 (目安)

藤島式嚥下グレード											
IV 正常		Ⅲ 軽症				Ⅱ 中等症			Ⅰ 重症		経口不可
⑩		⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	
食形態	常食	刻み食	なめらか食(ソフト)					水分トロミ又はゼリー		皮下点滴	
		やわらか食				ミキサー食					
食提供	3食経口摂取					2回食又はハーフ食		楽しみ経口摂取		経口不可	
	補助栄養								胃瘻の選択		
栄養ケアマネジメント	低リスク					中リスク			高リスク		
経口維持往診(VE)					内視鏡検査						
配置医師面談	入居時Dr面談					看取り介護Dr面談					
	状態変化(入退院等)時Dr面談					胃瘻選択面談					
	(1)看取り介護 説明 CM面談				(2)看取り介護 導入(判断) Dr面談						
	① BMI 16.0 以下				CMより看取り介護意向の確認を継続して行う			① 面談後BMI 14.5 以下			
	② 摂取カロリー700kcal以下							② 摂取カロリー500kcal 以下			
	(喫食率1/2(50%)以下)							又は喫食率1/5(20%)程度			
	※ ①と②の両方の条件を満たす方							③ 嚥下グレード⑤以下			
	※ 【看取り介護に関する事前確認書】の再提出(胃瘻・延命希望も確認)							※ 原則として①②③の全ての条件を満たし、医師が判断した方			
Peaceful Care 『時間の流れ』											

穏やかな看取り介護

(1) 顧みる看取り介護

令和4年度は、Peaceful Care の考え方を基に本館で25名の方、新館で13名の方の看取り介護を実施致しました。また、看取り介護にはならなくても、ご家族と状況の共有を行いながら、看取り介護に準じた対応を行い好日苑でお見送りさせて頂いた方も4名とご家族の意向に寄り添った対応が行えたかと思えます。42名(準看取り介護4名含む)もの方を看取らせて頂いた背景には、好日苑での看取り介護が定着している事の他に、ご入居の時点で状態の変化が観られている中で、終末期を過ごされる場所として、好日苑を選ばれる方も増えていることも要因を考えられます。

コロナ禍で日頃の面会が難しい状況ではありますが、7名の方が最期の時に立ち会うことができました。今後も、お身体の変化に合わせた支援が継続できるように努めていきたいと思えます。

職員については、新人研修や中途職員向け研修などでPeaceful Care の研修を実施しております。看取り介護が多様化している中で、その方の旅立ちにのみに焦点を当てるのではなく、ご入居時からの日々の関わりが旅立ちまで繋がっている事を理解する事で、ご本人を中心にした自然な支援が行えるように取り組んでおります。

今後もその人らしく過ごして頂けるような支援、看取る側、看取られる側の立場に立った支援を心がけるPeaceful Care の実践に取り組んでいきたいと思えます。

3. 安全なサービス提供をします。

令和4年度は事故報告書提出が295件（特養229件78%、ショートステイ66件22%）でした。令和3年度326と比較すると-97件と大幅に減少する事ができました。（①表） 要介護度の内訳では、要介護4と要介護5の方が51%を占め、要介護3を加えると85%となっており、令和3年度と同様に8割以上を占めています。（②表）

事故内容では「転倒滑落」62%、「投薬過誤」が22%で全体の84%となっており、転倒滑落の事故及び投薬過誤の事故を減らす事が課題となっております。（③表）

① <令和3年度>

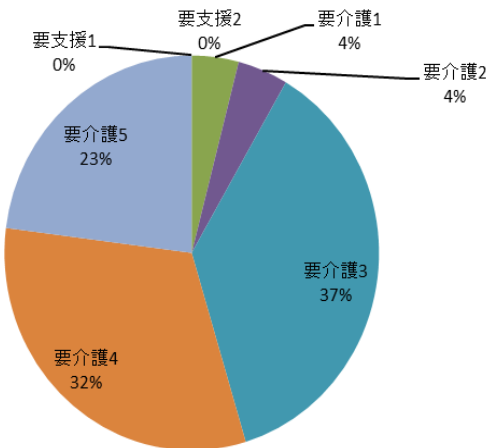
合計	特養	ショート	明け方	早朝	日中	夜間	深夜	本館	207	63%
326	264	62	30	42	133	55	66	新館	117	36%
割合	81%	19%	9%	13%	41%	17%	20%			

<令和4年度>

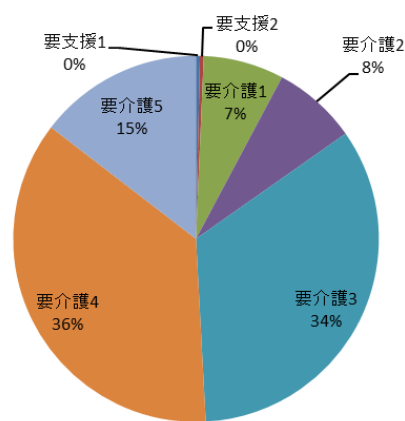
合計	特養	ショート	明け方	早朝	日中	夜間	深夜	本館	169	57%
295	229	66	18	46	123	49	59	新館	126	43%
割合	78%	22%	6%	16%	42%	17%	20%			

○ 事故報告書【要介護度別】②

<令和3年度>

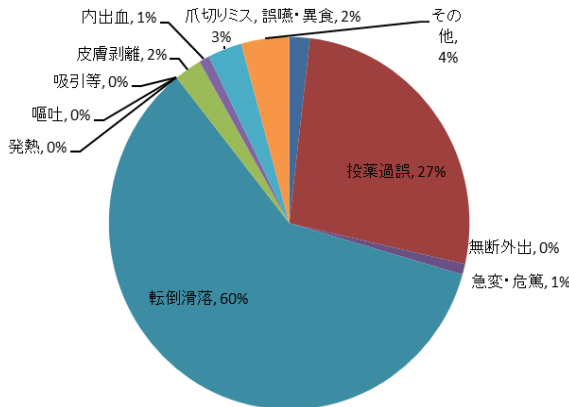


<令和4年度>



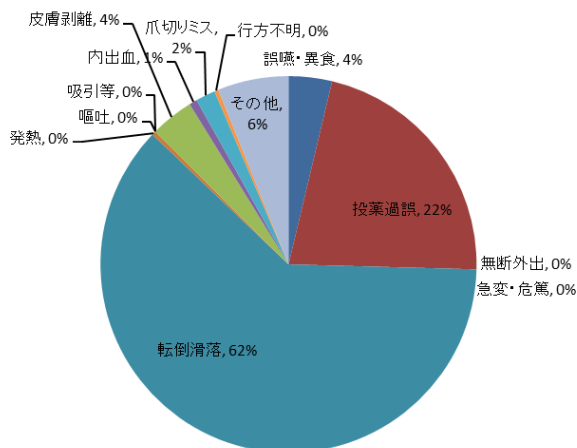
● 事故報告書【事故内容内訳】③

<令和3年度>



発生事項		
誤嚥・異食	2%	6
投薬過誤	27%	87
無断外出	0%	0
急変・危篤	1%	3
転倒滑落	60%	195
発熱	0%	0
嘔吐	0%	0
吸引等	0%	0
皮膚剥離	2%	8
内出血	1%	3
爪切りミス	3%	10
その他	4%	14
合計		326

<令和4年度>

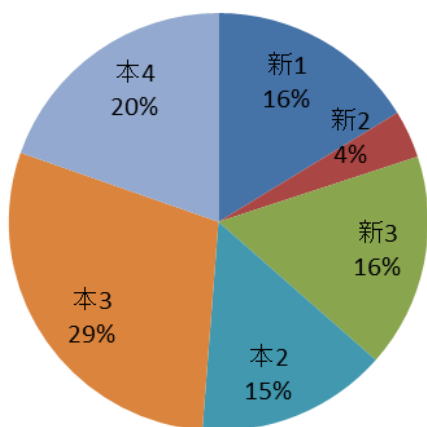


発生事項		
誤嚥・異食	4%	11
投薬過誤	22%	64
無断外出	0%	0
急変・危篤	0%	0
転倒滑落	62%	182
発熱	0%	1
嘔吐	0%	0
吸引等	0%	0
皮膚剥離	4%	11
内出血	1%	2
爪切りミス	2%	5
行方不明	0%	1
その他	6%	18
合計		295

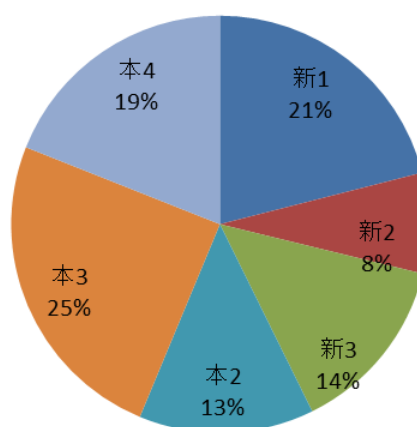
事故報告書【事故報告書のフロア別割合】

<令和3年度>

④



<令和4年度>



● 事故報告書【フロア別割合の前年度比較】 ⑤

令和2年度		令和3年度		増 減	
新1	74	新1	53	-28%	-15%
新2	24	新2	12	-50%	
新3	39	新3	54	38%	
本2	54	本2	48	-11%	6%
本3	69	本3	95	38%	
④ 本4	64	本4	64	0%	
⑤ 令和3年度転倒・滑落4件数		195		+11%	

令和3年度		令和4年度		増 減	
新1	53	新1	62	17%	6%
新2	12	新2	23	92%	
新3	54	新3	41	-24%	
本2	48	本2	40	-17%	-22%
本3	95	本3	73	-23%	
本4	64	本4	60	-6%	
令和4年度転倒・滑落件数					

本館2階	特養	16	27	118	61%
	SS	11			
本館3階	特養	52	53		
	SS	1			
本館4階	特養	38	38		
	SS	0			
新館1階	特養	6	36	77	39%
	SS	30			
新館2階	特養	4	4		
	SS	0			
新館3階	特養	37	37		
	SS	0			
合 計(転倒・滑落)			195		

本館2階	特養	12	21	94	52%
	SS	9			
本館3階	特養	37	37		
	SS	0			
本館4階	特養	36	36		
	SS	0			
新館1階	特養	13	44	88	48%
	SS	31			
新館2階	特養	13	13		
	SS	0			
新館3階	特養	27	31		
	SS	4			
合 計(転倒滑落)			182		

【転倒滑落事故について】

転倒事故報告件数は 182 件と、令和 3 年度と比較して 13 件減少しましたが、変わらず件数が多い結果となりました。（⑥表） 事故報告 295 件の中で最も多かった転倒事故（全体の 62%）の傾向をみると、昨年度と同様に、特定のご利用者様の繰り返しでの転倒事故が多く、その方々の転倒事故発生リスクをリスク管理委員会等において分析し、個別に対策を立てていますが、事故を減らすには至りませんでした。 また限られた職員の中で転倒を防ぐには、職員の気付き（配慮）が必要であると考えています。

令和 5 年度も転倒へのリスクに対し、個別ケア視点でのリスクマネジメントおよび出来る限りの余暇活動（レクリエーション等）や個別機能訓練を実施し身体を動かす機会を支援する事で、少しでも生活のリズムを整えていく事で、事故再発防止に努めていきます。

4. 生活の場としての空間を提供します。

（1）本館

令和 4 年度は、7 月に超低床ベッド 40 台、3 月に自動変換機能付き超低床ベッド 50 台の入れ替えを行い、利用者様の生活環境の向上に努めました。ご利用者様にとって、一番長く過ごすベッドを変更することで、より快適に過ごしていただくとともに、皮膚トラブルの軽減にも繋がっていくと考えています。また居室空間について改め見直し、居室清掃にも力を注ぎました。

様々なところで、老朽化が進んでおりますが、本館ならではの「古くても落ち着いて過ごしやすい」空間づくりを目指していきたいと考えております。

（2）新館

新館開設以来より使用しておりました、ベッド 60 台すべて入れ替えをすることができました。次世代介護機器である、見守りセンサー付きベッド、自動体位変換器付きマットも導入し、利用者様がより快適で、職員も安心してケアができるよう、使いこなしていきたいと思っております。

居室環境も感染予防の視点を入れ、清掃・消毒と行ってきました。ご家族も一緒にゆったりと過ごせる環境作りをこれからも行っていきます。

5. 生活に変化を創り、健康増進を図ります。

（1）本館

令和 4 年度は、「彩活動クラブ」も 2 年目となり、積極的な余暇の提供を目指しましたが、コロナ禍ということもあり、思うようにできないことが多かったですが、出来る範囲で日常生活に彩を与えられることを目的として、本館全体で協力しながら余暇活動の充実を図ってまいりました。ご利用者に季節や花の匂い、風を感じて頂き、QOL の向上、自立支援への意欲向上に繋がりました。また感染症が落ち着いた 2 月には、「冬の大運動会」と称し、玉入れや応援合戦など行い、ご利用者様も熱心に参加されました。5 年度は、「彩活動クラブ」の更なる充実をはかるとともに、クラブや行事でなくても、日常の中の「隙間時間」をみつけ、ご利用者様の生活に彩を作れるように努めていきたいと考えています。

（2）新館

「いきいきクラブ」としての活動は、コロナ禍の中、あまりできない 1 年でしたが、新館のハードである、ベランダを活用し、感染予防の中でも、外気浴やベランダでのティータイムを楽しんでいただけるようにしました。息が詰まることが多い中、外に出ることで、冬の寒さを感じ、草木が賑わい出す春を感じるなど、外の空気を吸う事の大切さを感じることができました。

令和 5 年度は、ハードを活かし、個別の楽しみ、集団の楽しみを味わっていただく、時間の演出に努めていきます。

6. 生活リハビリ（ALCT）

令和4年度は、平成26年度の重点目標であった【日常生活上の“機能訓練”】『Activity Life Care Team（アルクト）』の考え方を基本に「ノーリフティングポリシータスクフォース（NPTF）」の委員会を中心に、ボディメカニズムの理解、介護機器や次世代機器の活用など、ご本人の有する能力を活かした支援（自立支援）と介護する側、される側の双方が負担の少ない介護の実践に取り組んで参りました。

また、11月より機能訓練指導員として理学療法士の配置を行うことができました。今後は委員会メンバーと機能訓練指導員が連携を図りながら、より専門的な機能訓練の実践が行えるよう体制構築に努めて参ります。

Ⅲ 相談支援

1. 入居希望者の情報を把握し、迅速な入居手続きを行います

令和4年度は①表のとおり、退居者数は62名となり、退居率は45%で前年度の退居率26%と比較して19%退居率が上昇しました。この内3名は本館から新館へ居室移動をされた方となりますので、実際は59名の退居となります。本館では38名の方が退居され退居率43%、新館では24名の方が退居され退居率48%で、本新館共に概ね2人に1人、入居者が入れ替わったこととなります。

令和5年度は137名の在籍者でスタートとなりました。

大田区から受理した待機者リストは③表のとおり93件で、そのうち38件（41%）は入居に結びつけることは出来ませんでした。その理由は④表のとおりとなっており、殆どが家族都合で在宅介護を継続したいという理由が一番多く、次いで老健・療養型の入所継続の理由で全体の53%となっています。尚、待機中にご逝去された方が1名おりました。また施設都合での入居できなかった方も1名おりました。

<令和4年度 入退居実績> ①

《入居前・退居後と入退居者数が合わないのは館内移動(本館⇒新館3名)》																		
	本館			新館			合計			入居前					退居後			
	入居	退居	在籍	入居	退居	在籍	入居	退居	在籍	自宅	老健	病院療養	有料H 宿泊タイプ	GH 経費	病院 逝去	苑内 逝去	看取 介護	病院 療養
年度当初	—	—	87	—	—	50	—	—	137									
4月	2	2	87	0	0	50	2	2	137	1	1				1		1	
5月	3	2	88	0	0	50	3	2	138		3				1		1	
6月	2	3	87	2	3	49	4	6	136	3			1		1		5	
7月	3	3	87	2	3	48	5	6	135	2			2	1	2		3	1
8月	5	5	87	2	0	50	7	5	137	1		1	5			1	4	
9月	4	6	85	2	3	49	6	9	134	2	1	1	2				8	1
10月	7	7	85	2	4	47	9	11	132	4	4	1				ご自宅	10	
11月	2	3	84	2	1	48	4	4	132		1		1	1	1		2	
12月	4	0	88	3	2	49	7	2	137	2	2		3				2	
1月	2	5	85	2	3	48	4	8	133	2				1	1	3	3	
2月	4	1	88	5	3	50	9	4	138	4	2		2		1		1	1
3月	1	1	88	1	2	49	2	3	137	2							2	1
合計	39	38		23	24		62	62		23	14	3	16	3	8	5	42	4

令和4年度《退居から入居までの期間》②

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全館	16.0	15.3	5.8	12.0	13.9	12.2	16.1	17.8	28.1	12.5	14.7	3.5	14.0

令和4年度《特養入居不可の理由》

④

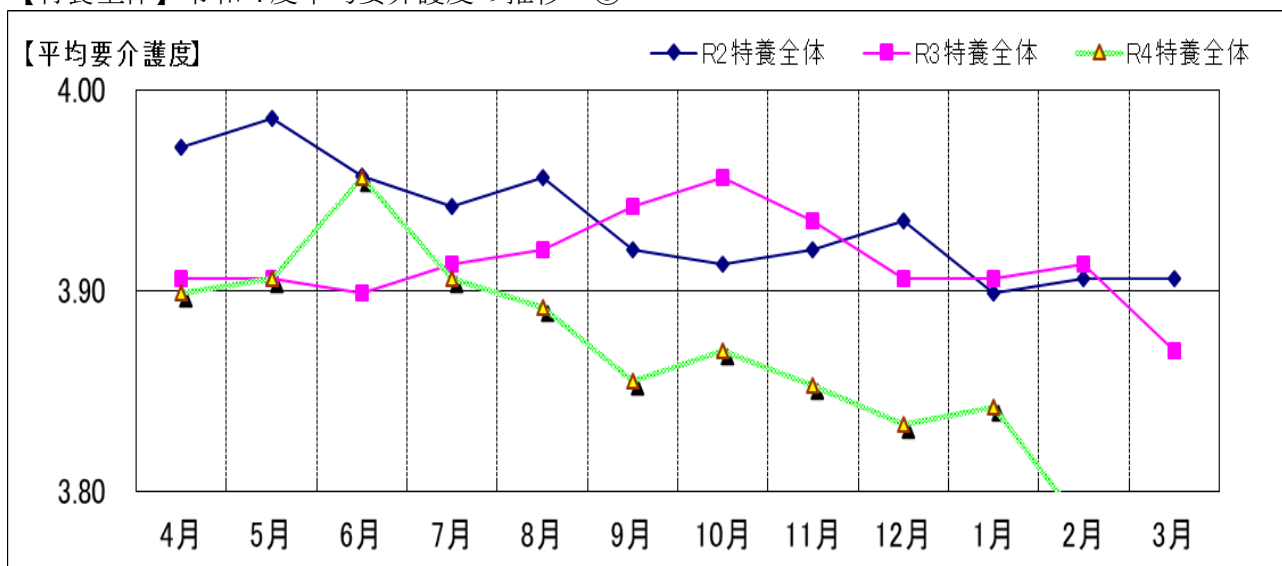
	理 由	件数
家族都合	有料ホームに入所継続	3
	個室希望	2
	老健・療養型入所継続	6
	他特養への入居	0
	在宅生活を継続	14
	経済的に困難	2
	その他	9
施設都合	経済的に困難	1
	契約者が居ない	0
	医行為対応不可(鼻腔・吸引回数・IVH)	0
	入院中	0
	家から施設まで遠い	0
待機中に逝去		1
合 計		38

令和4年度《特養入居リスト受理実績》

③

本館	受理	71
	入居可	41
	不可	30
① リスト受理から入居可までの割合		58%
② 不可になったケースの割合		42%
新館	受理	25
	入居可	17
	不可	8
① リスト受理から入居可までの割合		68%
② 不可になったケースの割合		32%
全館受理リスト数		96
全館入居受入可数		58
全館調査段階終了数		38
① 全館リスト受理から入居可までの割合		60%
② 全館不可になったケースの割合		40%

【特養全体】 令和4年度平均要介護度の推移 ⑤



⑥

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
R2特養全体	3.97	3.99	3.96	3.94	3.96	3.92	3.91	3.92	3.93	3.90	3.91	3.91	3.93
R3特養全体	3.91	3.91	3.90	3.91	3.92	3.94	3.96	3.93	3.91	3.91	3.91	3.87	3.91
R4特養全体	3.90	3.91	3.96	3.91	3.89	3.86	3.87	3.85	3.83	3.84	3.78	3.78	3.86
本館	3.99	3.99	4.05	3.95	3.97	3.91	3.90	3.92	3.89	3.92	3.84	3.85	3.93
新館	3.74	3.76	3.80	3.82	3.76	3.76	3.82	3.73	3.74	3.70	3.68	3.66	3.75

令和4年度は平均要介護度 3.90 でスタートし令和4年度末には 3.78 と、▲0.12 介護度が軽減しました。また、令和4年度の要介護度4と5の新規入居者の方の割合の平均は、本館では 74%、新館では 79%で、日常生活継続支援加算の条件を満たす事が出来ております。(⑥表)

【本館・新館】令和4度新規入居者の要介護度4.5割合

本 館	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計/月平均
要介護1～3	0	1	1	0	2	0	1	1	1	1	2	0	10
①要介護4～5	2	2	1	3	3	4	6	1	3	1	2	1	29
②新規入居者計	2	3	2	3	5	4	7	2	4	2	4	1	3
①÷②新規入居者70%	100%	67%	50%	100%	60%	100%	86%	50%	75%	50%	50%	100%	74%
6ヶ月平均70%	67%	67%	71%	69%	79%	74%	79%	79%	78%	80%	75%	74%	
1年平均70%	74%	80%	76%	73%	75%	71%	74%	75%	76%	76%	76%	74%	
新 館	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計/月平均
要介護1～3	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	3	0	5
①要介護4～5	0	0	2	2	2	2	2	0	2	1	1	1	15
②新規入居者計	0	0	2	2	2	2	2	1	3	1	4	1	2
①÷②新規入居者70%			100%	100%	100%	100%	100%	0%	67%	100%	25%	100%	79%
6ヶ月平均70%	89%	86%	83%	86%	88%	100%	100%	100%	91%	83%	82%	62%	
1年平均70%	86%	85%	92%	91%	92%	93%	94%	94%	88%	84%	84%	76%	

2. 利用者が安心して過ごせる相談援助をします。

令和4年度も、1日最低2回のラウンドを行い、入居者の声に耳を傾け、必要に応じて個別に話を聞き、入居者の悩みや相談に対する援助を行なってきました。また入居者の重度化に伴い、ご家族からの相談機会も増えてきました。お話を伺う時間を都度調整し、じっくり相談に耳を傾けることで、ご家族からの相談援助も行なえたと思います。

ケアプラン作成の際には、各専門職種によるサービス担当者会議を開催し、ケアプランの説明には入居者本人がご理解を得られる状況の場合は、積極的にご家族と同伴で説明機会を造り、入居者本人が自身の支援について納得頂ける様努めました。

3. 家族との交流を促進します。

(1) 本館

令和4年度も、新型コロナウイルスの影響にて、面会なども出来ない日々が続きました。そんな中でもオンライン面会等にて少しでも、交流を図れるよう工夫してきました。またご利用者様の写真を送付させて頂いたり、報告や相談の連絡時に今まで以上にご様子をお伝えしたりしてきました。

また、感染状況が落ち着いたタイミングで、令和5年2月より予約制での面会を開始しました。少しずつ、開かれた環境づくりを目指していきます。今後も、ご家族様とともに、利用者様の生活の向上を構築していきます。

(2) 新館

令和4年度も引き続き、新型コロナウイルスの影響により家族会の開催ができませんでした。

オンライン面会を引き続き行いながらも、苑でのご様子を写真に収め、お手紙と一緒に送付させて頂くこともありました。令和5年2月より予約制での面会が開始となると、利用者様と一緒にご家族がいらっしゃるのを、身だしなみを整え、お待ちしております。徐々に、「通い型介護」の形に戻せるように、感染予防を行い、安心してお越しいただける環境を整えていきます。

4. 地域の交流を促進します。

(1) ボランティア受け入れ

令和4年度も3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により積極的なボランティアの受け入れが出来ない一年でしたが、好日苑まつりの際に、デイサービスでの余興ボランティアによる三味線演奏、職員ご家族によるバイオリン演奏をして頂きました。次年度は、地域交流の一環としてボランティアの方の受け入れを積極的に行っていきたいと思います。

(2) 実習生受け入れ

実習施設にとっては、様々な養成施設から実習生を受け入れ指導することで、職員自らの介護技術等の再認識の機会を得られ、サービスの質の向上にも繋がるというメリットがあります。

介護福祉士の倫理綱領に後継者の育成があげられているように、実習施設として、実習生が実習から様々な事を学べる環境を整備し、指導者側の意識を高めていくことが必要となります。

R4年度は、感染症の影響で、受け入れをお断わりすることもありましたが、出来る範囲での受け入れを行いました。傾向としては、以前よりも、介護福祉士の実習が少なくなってきており、大学生の教職課程、職業訓練校からの実習が多くなってきています。

働き手が多様化している中、実習生の受入れも多様化してきており、指導する側の育成も課題となっていており、限られた時間の中で有意義な実習が行えるようにしていく工夫も必要に感じています。実習をすることで、働くことのイメージを持ち「介護に更なる興味」と「好日苑で働いてみたい」と思えるような、魅力ある介護施設を目指していきたいと考えております。

5. オンブズパーソン相談日

令和4年度は、新型コロナウイルスの影響により一度も開催する事ができませんでした。入居者様からの個別の相談については、介護職員、相談員、介護支援専門員の方で確認し、できる範囲で対応させて頂き、入居者様に安心して生活をして頂けるよう取り組みました。

令和5年度はこれまで通り開催する予定です。オンブズパーソン相談があることを、ご存じない方も多くおりますので、いつでも相談できることを周知していきたいと思っております。

また、オンブズパーソンは、法人の苦情に関する第三者委員も兼務して頂いておりますので、法人全体の投書箱（苦情や要望等の受付）である「こころの小箱」での受付内容もご報告させて頂きます。

『 令和5年度 オンブズパーソン委員会 』

日 時：令和5年4月18日

内 容：

- ① 施設長挨拶
- ② 職員紹介・委員紹介
- ③ オンブズパーソン相談報告（令和4年度は新型コロナの影響で開催なし）
- ④ 「心の小箱」へ投函された内容を第三者委員へ報告
- ⑤ 虐待防止についての取り組み説明
- ⑥ 新型コロナウイルス対応状況報告
- ⑦ 令和5年度のオンブズパーソン相談日程について

1. 入院の必要のない生活をしていただく取り組みをします。

令和4年度の入院日数は、令和3年度の入院日数1,088日に対し1,504日となり、416日増加し年間1,200日以内の入院目標を達成する事が出来ませんでした（①②表）。なお、入院された方は、令和3年度の41人に対し、令和4年度は新型コロナウイルスの集団感染による入院者増の影響もあり103人と62人増加しましたが、1人当たりの入院日数は27.2日間から14.1日間と約13.1日間減少した結果となりました。

【令和3年度入院日数】



【令和4年度入院日数】



R3	一人当たりの入院日数	27.2 日	⇒	R4	一人当たりの入院日数	14.1 日
----	------------	--------	---	----	------------	--------

	R4 入院日数	R3 入院日数	増減	%
尿路感染症	0	0	0	0%
心不全	0	0	0	0%
胃瘻造設	0	69	-69	0%
誤嚥性肺炎	102	92	10	111%
腎盂腎炎	4	39	-35	10%
低栄養	0	0	0	0%
イレウス	122	0	122	0%
新型コロナ	559	28	531	1996%
胆嚢炎	38	41	-3	93%
結石	11	0	11	0%
PEG交換	11	0	11	0%
肺炎	126	23	103	548%
気管支炎	7	0	7	0%
蜂窩織炎	0	0	0	0%
癌	0	35	-35	0%
骨折	45	209	-164	22%
急性腸炎	0	0	0	0%
脳梗塞	17	10	7	170%
TIA	2	0	2	0%
肝機能障害	0	0	0	0%
精査目的	141	57	84	247%
その他	319	485	-166	66%
合計	1,504	1,088	416	138%

『 入院疾病別日数前年度比較 』

【前年度と比較して増加した入院日数】

- ① 新型コロナ 531 増
- ② イレウス 122 日増
- ③ 肺炎 103 日増
- ④ 精査目的 84 日増
- ⑤ 誤嚥性肺炎 10 日増

【入院に至る疾病順位（前年度増減）】

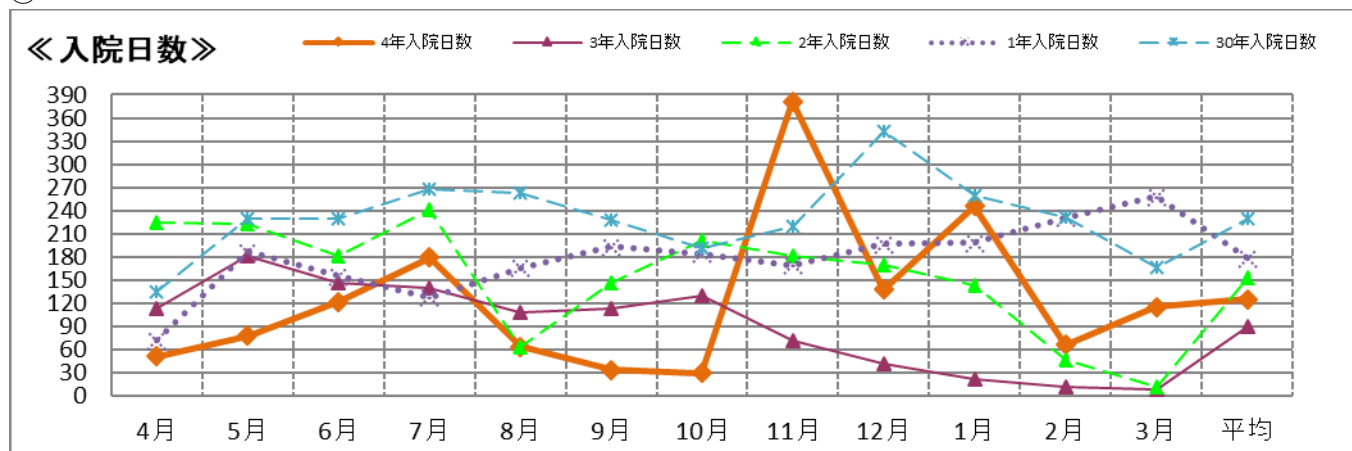
- ① 新型コロナ 559 日（+531 日）
- ② その他 319 日（-166 日）
- ③ 精査目的 141 日（+84 日）
- ④ 肺炎 126 日（+103 日）
- ⑤ イレウス 122 日（+122 日）
- ⑥ 誤嚥性肺炎 102 日（+10 日）
- ⑦ 骨折 45 日（-164 日）

令和 4 年度も嘱託医との連携の下、定期通院や臨時通院、また専門医への受診を延べ 305 回（前年度比+69 回：⑪表）重ねました。延べ入院日数は 1,504 日（前年度比 138%増）となり、月平均入院日数では、前年度の 90 日に対して 125 日（35 日増）となり、年間入院日数 1,200 日以内の目標を達成する事が出来ませんでした。（⑤表）

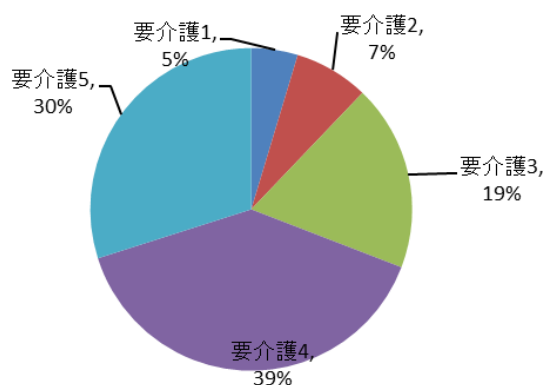
入院された入居者は、要介護 4 と要介護 5 の方が全体の 69%（④表）で、やはり要介護の重い方の入院リスクが高いと言えます。

本館での入院日数は、R3 年度 611 日が R4 年度 1,148 日で前年度と比べ 537 日間（188%）増加、新館での入院日数は、R3 年度 477 日が R4 年度 356 日で前年度と比べ▲121 日間（▲75%）減少しました（⑤⑦表）。

③



④ 要介護度別入院率

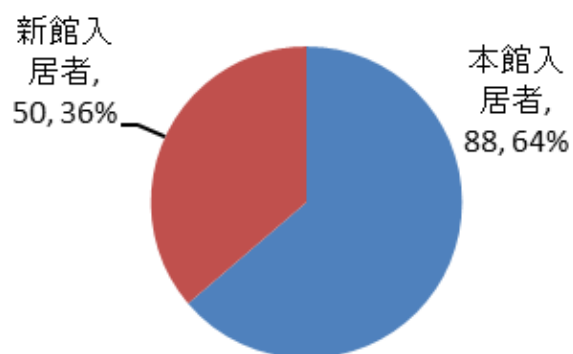


⑤ 入院者と入院日数

	本館			新館			合計		
	入院者	退院者	延日数	入院者	退院者	延日数	入院者	退院者	延日数
4月	3	3	26	1	2	25	4	5	51
5月	2	0	49	1	0	29	3	0	78
6月	4	2	107	1	2	15	5	4	122
7月	2	4	96	7	6	83	9	10	179
8月	2	2	35	1	1	29	3	3	64
9月	1	2	34	0	1	0	1	3	34
10月	3	2	30	0	0	0	3	2	30
11月	34	33	366	1	1	15	35	34	381
12月	6	2	95	5	5	43	11	7	138
1月	5	11	177	9	7	69	14	18	246
2月	4	2	20	0	2	46	4	4	66
3月	11	14	113	0	1	2	11	15	115
合計	77	77	1,148	26	28	356	103	105	1,504

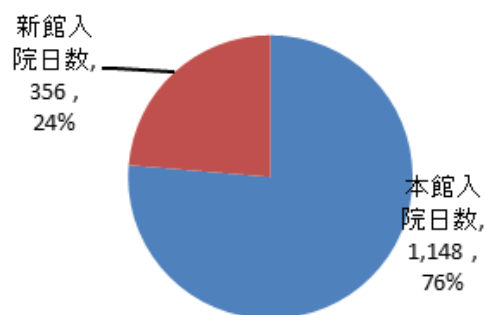
⑥

本新館＜入居者＞割合

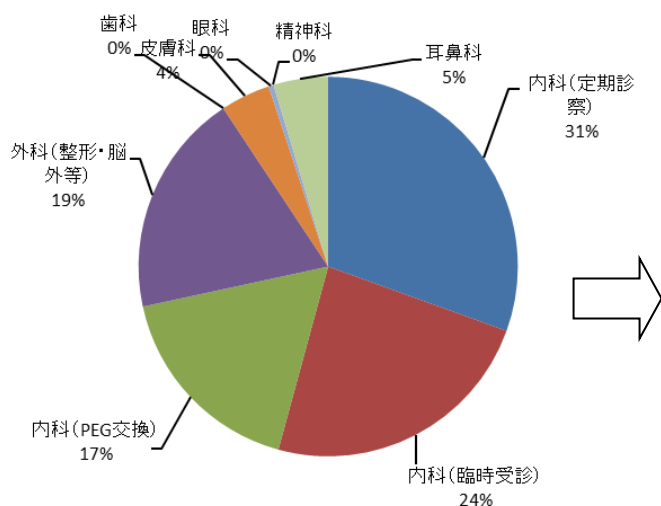


⑦

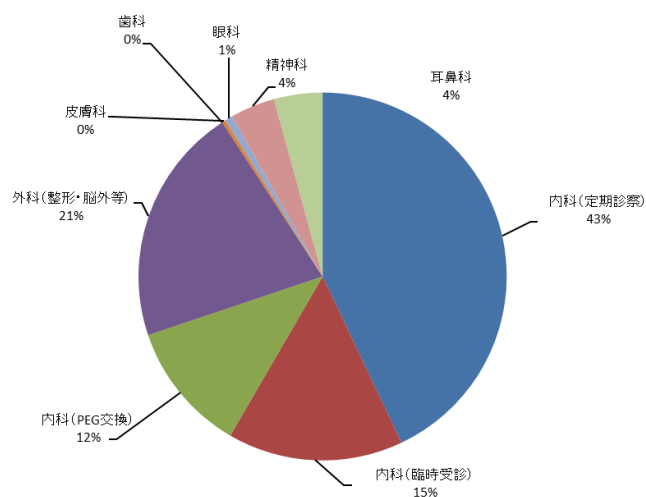
本新館＜入院日数＞割合



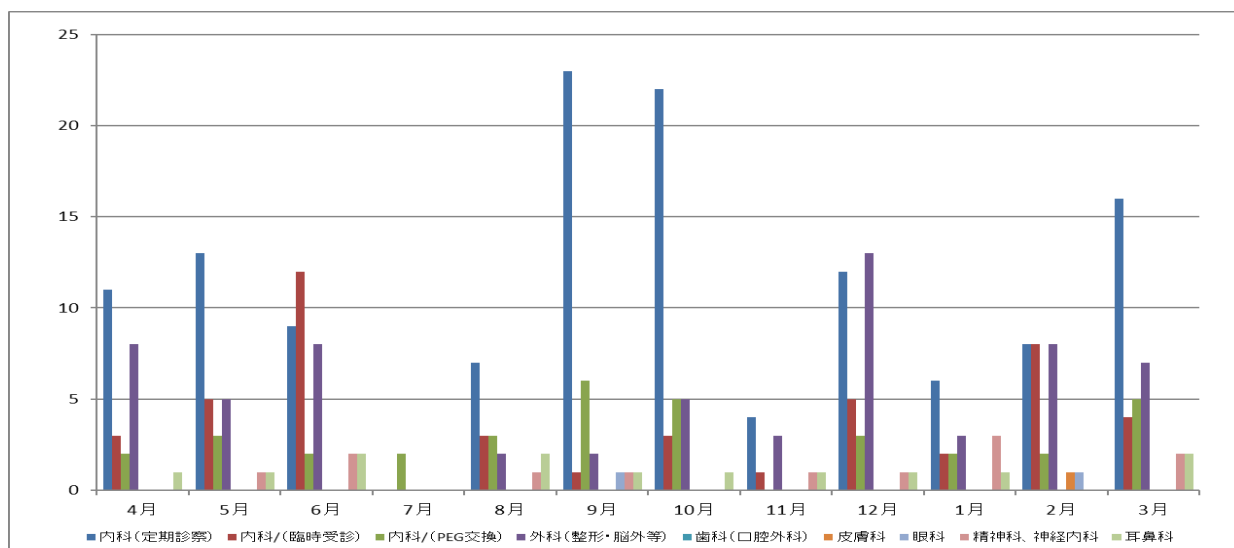
⑧ 【施設通院対応（診療科別）割合】
＜R3年度＞



＜R4年度＞



⑨ 『令和4年度月別受診回数』



⑩ 令和3年度【通院対応回数（苑送迎等対応分）月別件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科(定期診察)	6	6	7	11	8	2	4	6	12	4	0	6	72
内科/(臨時受診)	5	3	11	1	2	6	4	5	8	4	2	5	56
内科/(PEG交換)	8	5	1	2	4	2	5	2	8	1	1	2	41
外科(整形・脳外等)	4	1	2	2	3	0	7	8	4	2	4	8	45
歯科(口腔外科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚科	0	2	1	0	0	1	1	1	2	2	0	0	10
眼科	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
精神科、神経内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻科	0	0	0	1	2	3	0	1	1	1	1	1	11
	23	18	22	17	19	14	21	23	35	14	8	22	236



令和4年度【通院対応回数（苑送迎等対応分）月別件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科(定期診察)	11	13	9	0	7	23	22	4	12	6	8	16	131
内科/(臨時受診)	3	5	12	0	3	1	3	1	5	2	8	4	47
内科/(PEG交換)	2	3	2	2	3	6	5	0	3	2	2	5	35
外科(整形・脳外等)	8	5	8	0	2	2	5	3	13	3	8	7	64
歯科(口腔外科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
眼科	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
精神科、神経内科	0	1	2	0	1	1	0	1	1	3	0	2	12
耳鼻科	1	1	2	0	2	1	1	1	1	1	0	2	13
	25	28	35	2	18	35	36	10	35	17	28	36	305

	R4	R3	±
内科(定期診察)	131	72	59
内科(臨時受診)	47	56	-9
内科(PEG交換)	35	41	-6
外科(整形・脳外等)	64	45	19
歯科	0	0	0
皮膚科	1	10	-9
眼科	2	1	1
精神科	12	0	12
耳鼻科	13	11	2
	305	236	69

＜令和4年度の通院の特徴＞

通院回数全体では、305回で前年度比+69回増加（129%）しました。おおきな要因は新型コロナウイルス感染症により受診できていなかった定期診察を工夫しながら実施出来た事が挙げられます。また皮膚科に関しては往診に切り替えた事で受診回数を抑える事が出来ました。

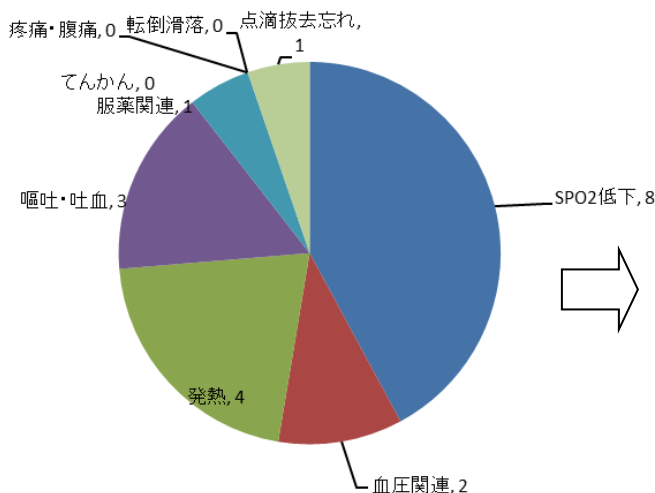
（⑩⑪表）

2. 緊急連絡体制の継続と対応の確認をします。

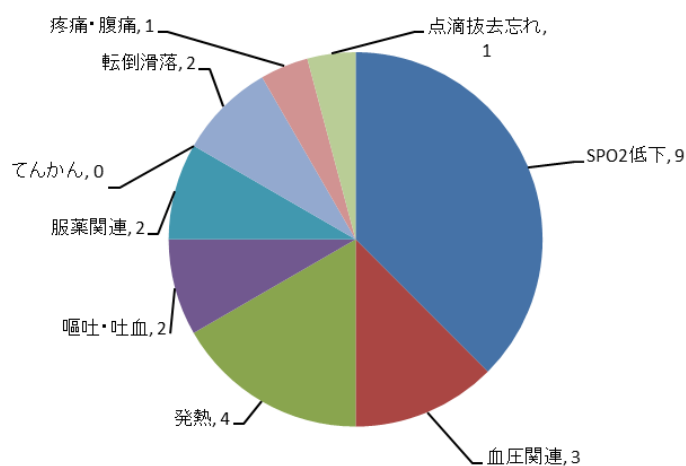
令和4年度のオンコール回数は24件で、令和3年度の19件と比較して+5件増加となっています。オンコール内容は、昨年同様にSPO2低下が9件と多く、次いで発熱、血圧関連が続きました。オンコール前対応マニュアル等の整備と介護・看護の申し送り体制強化により、ギリギリまで施設で療養できるようになった結果、このようなオンコールが増えたと考えます。(①②③表)

① 【特養オンコール内容】

<令和3年度>

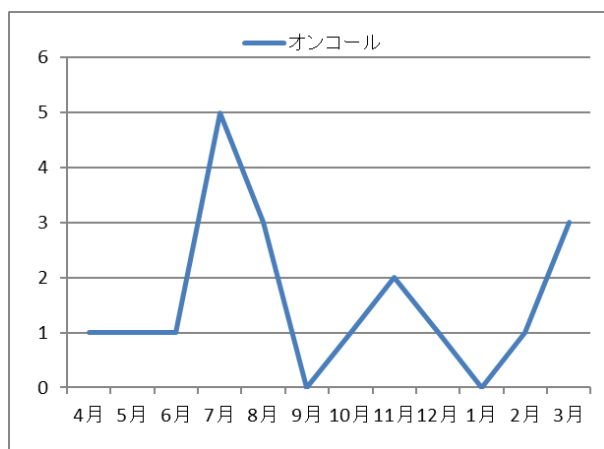


<令和4年度>

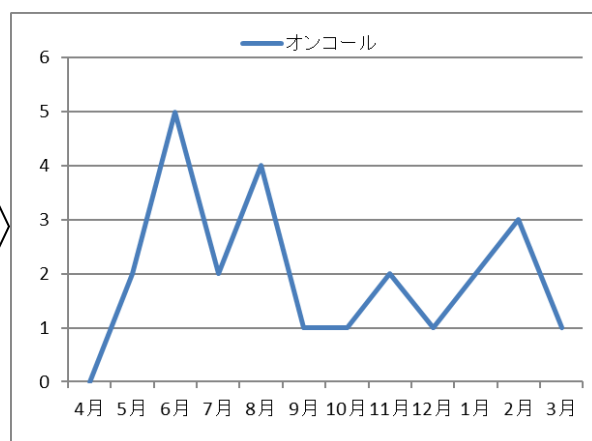


② 【オンコールの月別回数】

<令和3年度 (19件) >



<令和4年度 (24件) >



③ 令和4年度 月別オンコール件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
SPO2低下		1	3	1	1				1	2			9
血圧関連		1			1						1		3
発熱			1		1			2					4
嘔吐・吐血											2		2
服薬関連							1					1	2
てんかん													0
転倒滑落				1		1							2
疼痛・腹痛			1										1
点滴抜去忘れ					1								1
合 計	0	2	5	2	4	1	1	2	1	2	3	1	24

V 栄養管理

1. おいしい食事の提供をします。

食事は入居者様にとって楽しみのひとつであり、「食べる」ことは生きていく上で基本でもあります。本新館交互に開催している『出来たての味♪』やデイサービスで開催している『イベント食』では、作り手の顔がみられる機会でもあり、利用者様の声を直接聴ける機会でもあります。

今年度も新型コロナの影響で制限がある中でしたが、感染対策をしながら今まで行っていた特養での『出来たての味♪』を1年間通してできる限り本館新館交互に開催してきました。またデイサービス『イベント食』も内容を見直しつつ昨年同様に行うことができました。そして入居者様が少しでも口から食べることができ、楽しい食事が出来るように行事食(表①)、選択食(表②)、おやつバイキングを実施しました。おやつバイキングについては、これまでに開催していた多種多様な洋菓子や和菓子を選ぶバイキングとデイサービスで好評であった利用者様が自らおやつ作りに参加できる夏期には「クリームあんみつ」、秋期には「フレンチトースト」を特養でも各フロア1回ずつ開催しました。

「クリームあんみつ」では普段のおやつではなかなかお出しできないアイスクリームを用いて懐かしい甘味に笑顔が多くみられました。「フレンチトースト」においても甘い香りがフロアに広がり、出来上がりを楽しみにされる様子が見られました。

残菜調査においては令和4年度で15回目になります。特養では以前より調査内容の時季を固定せず行っています。1年間で入居者の3割近くが入替わり、同一対象者での比較が難しくなっていることから、毎年同時期に開催して同一メニューで調査するのではなく、様々なメニューで調査を行い、食サービスの向上と充実を図ることにしました。そのため今回は秋期期間での残菜調査を行い、好まれるもの・好まれないものを知ること、料理方法や味付けなど少しでも残菜が減らせるように工夫していきたいと思っております。入居者様・利用者様の声に耳を傾けながら、今後ともおいしい食事の提供に努めて参ります。

【栄養摂取基準（令和4月3月末日現在）】

エネルギー	1364kcal
蛋白質	55.4 g
カルシウム	544mg
レチノール当量	561 μ g
ビタミン B1	0.72mg
ビタミン B2	0.79mg
ビタミン C	62mg
穀類エネルギー比	60.1%
脂質エネルギー比	23.7%
蛋白質エネルギー比	16.2%
食塩相当	9.2g

～出来たての味♪サービス～

4 月	酢鶏 (新館で開催)	 
5 月	チンジャオロース (本館で開催)	
6 月	エビの中華マヨネーズ炒め (新館で開催)	 
7 月	エビと空豆の中華炒め (本館で開催)	 
8 月	お休み	
9 月	酢豚 (新館で開催)	 
10 月	豚肉と茄子の味噌炒め (本館で開催)	 

令和4年11月～令和5年3月まで、新型コロナウイルス感染症の影響により お休み

① 令和4年度 行事食一覧

4月 お花見弁当 	5月 江戸前ちらし寿司 	6月 ビビンバ丼 
7月 そうめん (七夕) 	8月 うなぎちらし 	9月 敬老のお祝い膳 
10月 松茸ごはん 	11月 秋のちらし寿司 	12月 (クリスマス) 
1月 お正月御膳 (1日) 	1月 お正月御膳 (2日) 	1月お正月御膳 (3日) 
2月 恵方巻き (節分) 	3月ちらし寿司(雛まつり) 	握り寿司 

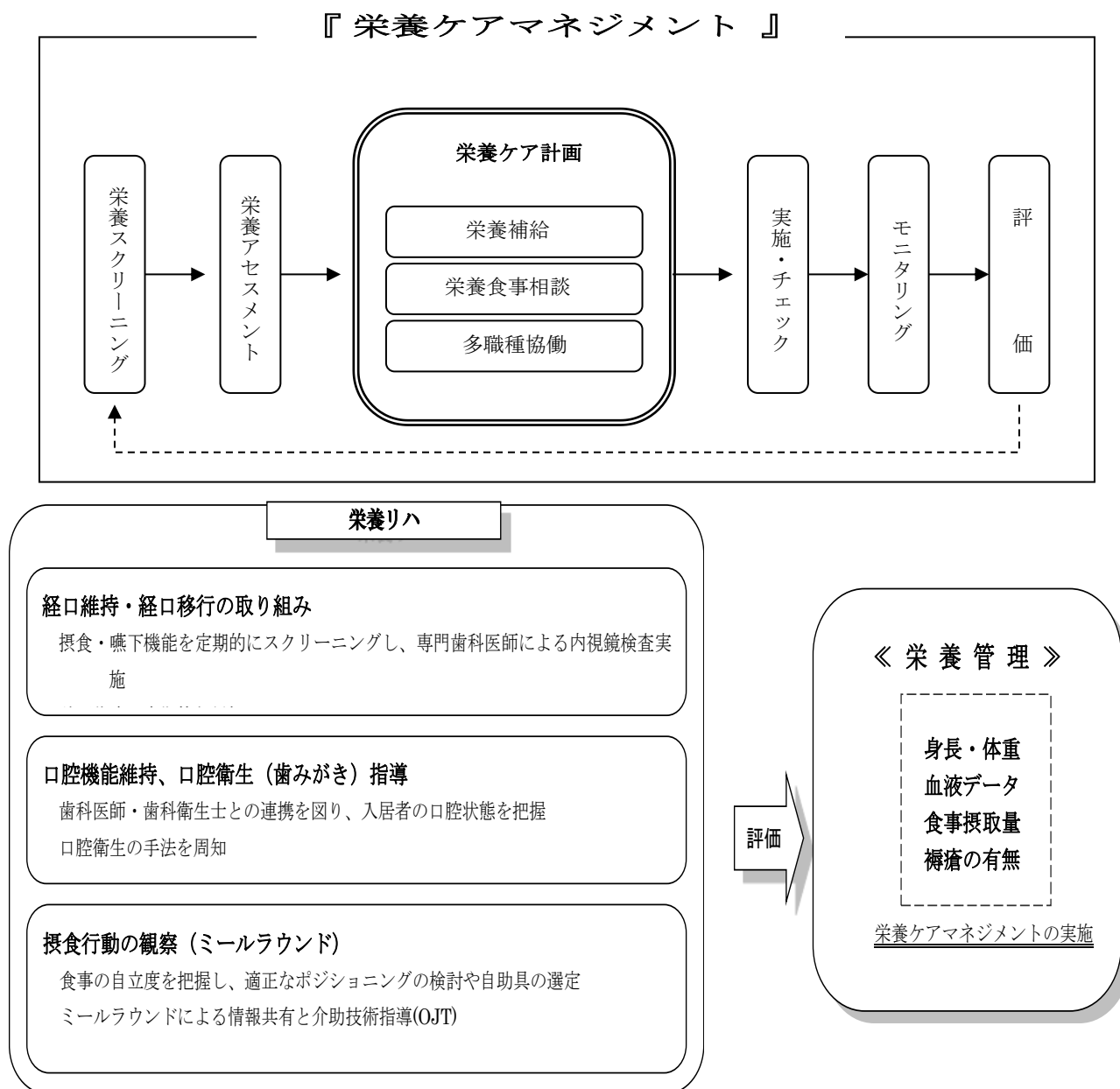
② 令和4年度 選択食一覧 (上段:Aメニュー 下段:Bメニュー)

4月	4/3 夕食時 豚肉のピリ辛炒め	4/10 夕食時 白身魚のスープ煮	4/17 夕食時 白身魚の煮付	4/24 夕食時 鶏肉のはちみつ マスタード焼き
	カレイのちり煮	鶏南蛮そば	牛肉とキャベツの 味噌炒め	エビとブロッコリー のクリームパスタ
5月	5/7 夕食時 鶏と車麩の煮物	5/15 夕食時 五目卵焼き	5/22 夕食時 サワラの生姜焼	5/29 夕食時 サワラの和風ステーキ
	サワラの照焼	きつねうどん	牛肉のカレーソテー	塩焼きそば
6月	6/5 夕食時 ホキの田楽	6/12 夕食時 カレイの煮付	6/19 夕食時 サワラの七味焼き	6/26 夕食時 タラのおろし煮
	山菜そば	豚肉のねぎ味噌焼き	魚介バター醤油パスタ	牛肉と野菜の炒め物
7月	7/3 夕食時 サワラの幽庵焼き	7/10 夕食時 マスのバター醤油焼	7/17 夕食時 牛肉と南瓜の甘辛煮	7/24 夕食時 タラの粕漬け焼き
	胡麻がれ冷やしうどん	冷しゃぶの梅ソース	ソース焼きそば	牛肉の野菜炒め
8月	8/7 夕食時 白身魚の田楽	8/14 夕食時 千草焼	8/21 夕食時 サワラの西京焼	8/28 夕食時 牛肉と南瓜の煮物
	豚しゃぶの梅和え	きのこのバター醤油 パスタ	鶏肉のカレー焼き	柚子の香そば
9月	9/4 夕食時 鶏肉のカレー焼き	9/11 夕食時 蒸魚のゴマだれ漬焼	9/18 夕食時 牛肉のガーリックソテー	9/25 夕食時 白身魚の梅照焼
	マスのムニエル	鶏きのこそば	鮭のチーズ焼き	焼うどん
10月	10/9 夕食時 牛肉の生姜焼	10/16 夕食時 ブリの照焼	10/23 夕食時 鶏肉のはちみつ焼き	10/30 夕食時 白身魚の 野菜あんかけ
	月見うどん	牛肉の野菜炒め	サワラのカレー風味	きのこうどん
11月	11/6 夕食時 豚肉のスタミナ焼き	11/13 夕食時 酢豚	11/20 夕食時 鶏肉のはちみつ焼き	11/27 夕食時 白身魚の和風ステーキ
	麻婆豆腐	ちゃんぽん	カレイの煮付	しめじとベーコンの パスタ
12月	12/4 夕食時 牛肉の柳川風煮	12/11 夕食時 豚肉と水菜の みぞれ鍋	12/18 夕食時 コロッケ	12/25 夕食時 ポークチャップ
	味噌うどん	たらこスパゲッティ	豚肉の柚子味噌焼き	白身魚のチーズ焼
1月	1/8 夕食時 鶏肉とコーンの クリームシチュー			1/29 夕食時 赤魚の煮付
	味噌煮込みうどん			豚肉のはちみつ焼き
2月	2/5 夕食時 赤魚の煮付	2/12 夕食時 サバの味噌煮	2/19 夕食時 白身魚の韓国風焼き	2/26 夕食時 麻婆茄子
	とろろうどん	鶏肉の南 部焼	なめこそば	白身魚の卵 マヨネーズ焼き
3月	3/5 夕食時 豚肉の梅しそ焼	3/12 夕食時 サワラの香味焼	3/19 夕食時 焼き豆腐の卵とじ	3/26 夕食時 白身魚のさらさ蒸し
	醤油ラーメン	チキンピカタ	白身魚のチーズ焼き	きつねそば

2. 栄養マネジメントを適切に実施します。

「1回食」または「2回食」「ハーフ食」での食事提供、個別水分アセスメントによる適正水分量やOS-1(経口補水液)の活用、経口摂取と経管栄養の併用などにより、これまでよりも入居者様のライフステージに合わせた栄養ケアマネジメントの設定が益々求められるようになりました。これは好日苑が“最期を看取れる施設”として、健康増進や栄養改善のみならず、体力に合わせた負担のない食事を効率よく摂取することや、本人の食べられるだけを中心とした苦痛のない食事、味わう程度の楽しみとしての食事など、入居者様のライフステージが多様化してきていることによります。

令和3年度の介護報酬改定では「栄養マネジメント強化加算」が新たに創設されました。「食と栄養」がより重要となり、専門職として栄養マネジメントやミールラウンドの強化、低栄養状態の改善に向けた取り組み、維持に努めることができました。またその指標としてLIFE（科学的介護情報システム）に情報を提供し、PDCAサイクルに沿ったサービスの質の向上に繋げることができ、個別性のある栄養マネジメントの設定、モニタリングを行うことへ繋がっています。また以前より使用している「栄養リハカルテ」については、継続して経口維持往診の際に情報共有のツールとして活用しています。



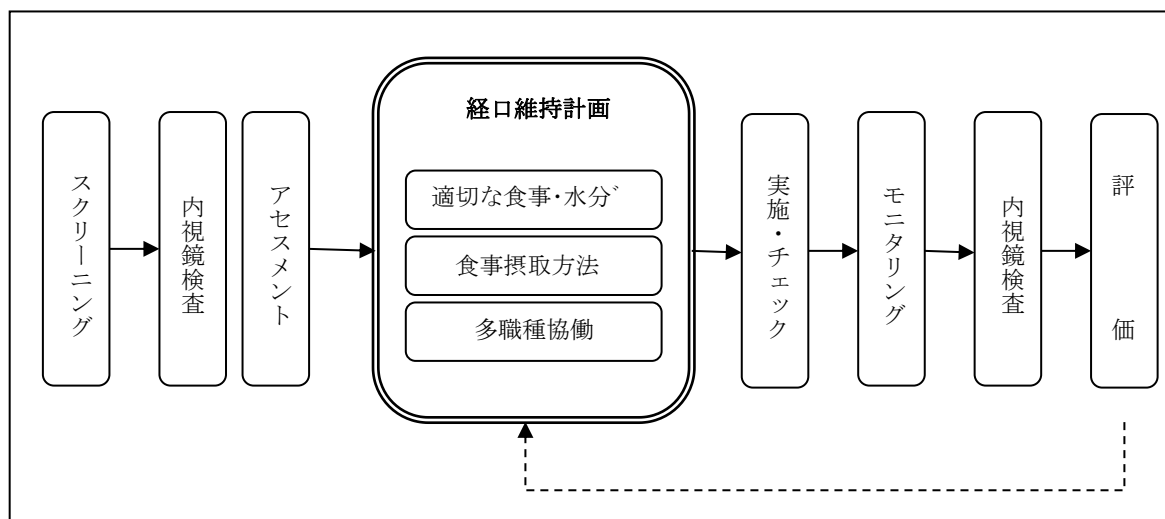
3. 経口維持計画、経口移行計画を適切に実施します。

経口維持計画の取り組みを始めて 16 年目となりました。昭和大学歯科病院歯科医師のご協力のもと、経口摂取への取り組みを円滑に維持することができました。今後も専門医の助言を頂きながら Peaceful Care の実現に向けて取り組んで参ります。

令和 4 年度は延べ 25 名の方に受けて頂くことができました。25 名のうち、14 名(56%)の方が新規受診されました。また、胃瘻利用者 3 名(12%)の方が、経口維持往診にて専門医による内視鏡検査を行い、現状の摂食・嚥下機能状態の評価を行いました。吸引の必要性やお楽しみの経口摂取が望めるかを評価して頂きました。平成 22 年度より『藤島式嚥下グレード』による機能評価法を導入し、内視鏡検査の度に摂食・嚥下機能のグレード付けを歯科医師にして頂き、どの程度の食事(内容や量)が食べられるのかを時間の流れと共に段階的に評価することで、その方のライフステージに合った【食】を提案できるように努めました。またコロナ禍で感染対策しながら 32 名のうち 1 名(3%)の家族が経口維持往診の立会いをされています。実際の食事の様子や専門の歯科医師に直接、ご本人の状態について説明をして頂くことで、より具体的に現状の課題や支援方法を共有して頂けるように取り組んでいます。また、栄養リハカルテには歯磨き指導の助言内容や摂食・嚥下機能評価、入院歴等を記載し、医療に係わる情報を集約することで総合的な栄養ケアマネジメントの運営を目指しました。

また今年度も継続して「経口維持加算」への取り組みを行っています。専門医の助言のもと多職種で情報共有しながら、その方に合わせた食事形態や内容、リハビリ的な取り組みを行いました。少しでも長く口から食べることができるよう支援しています。

『 経口維持計画 』



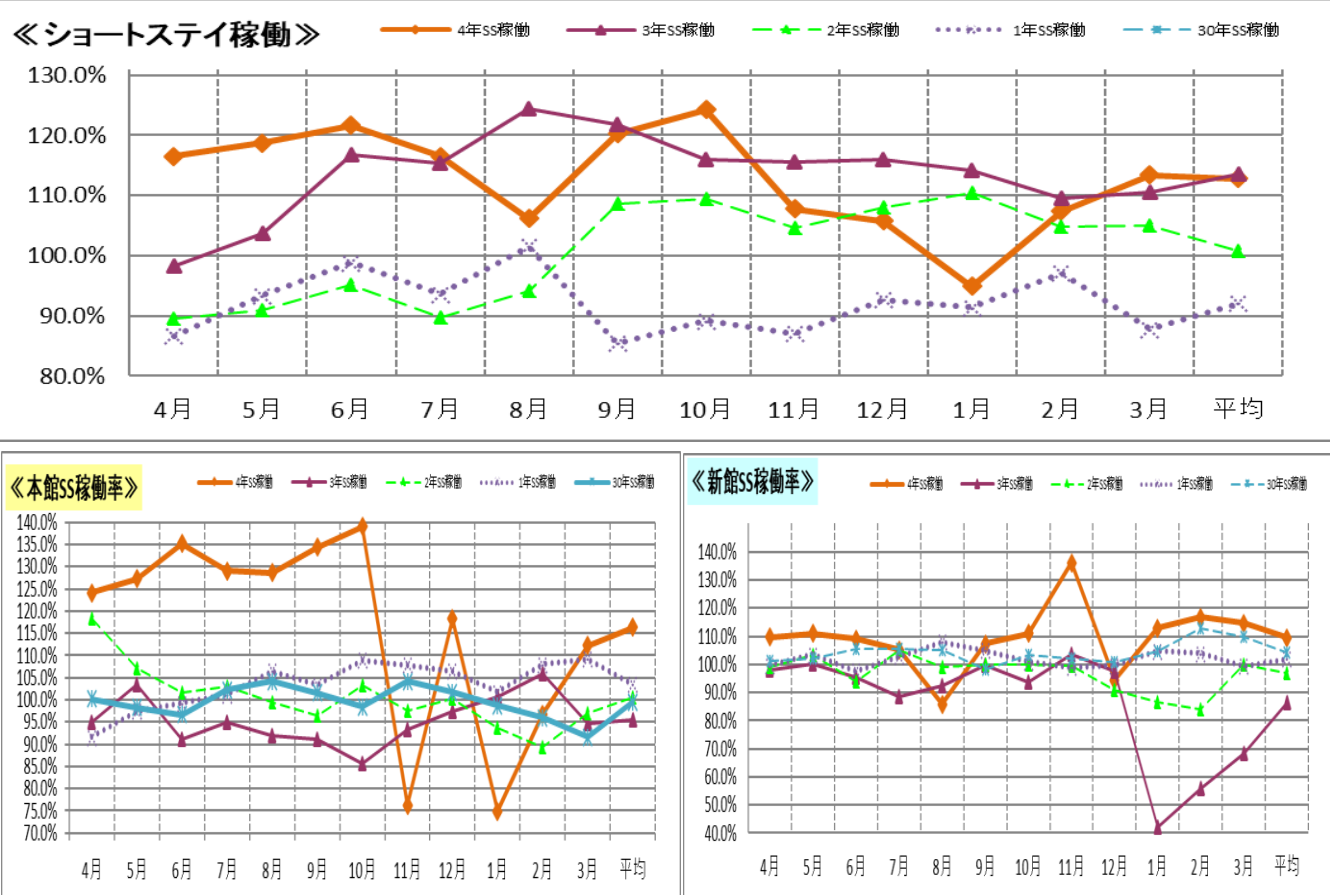
内視鏡検査の様子



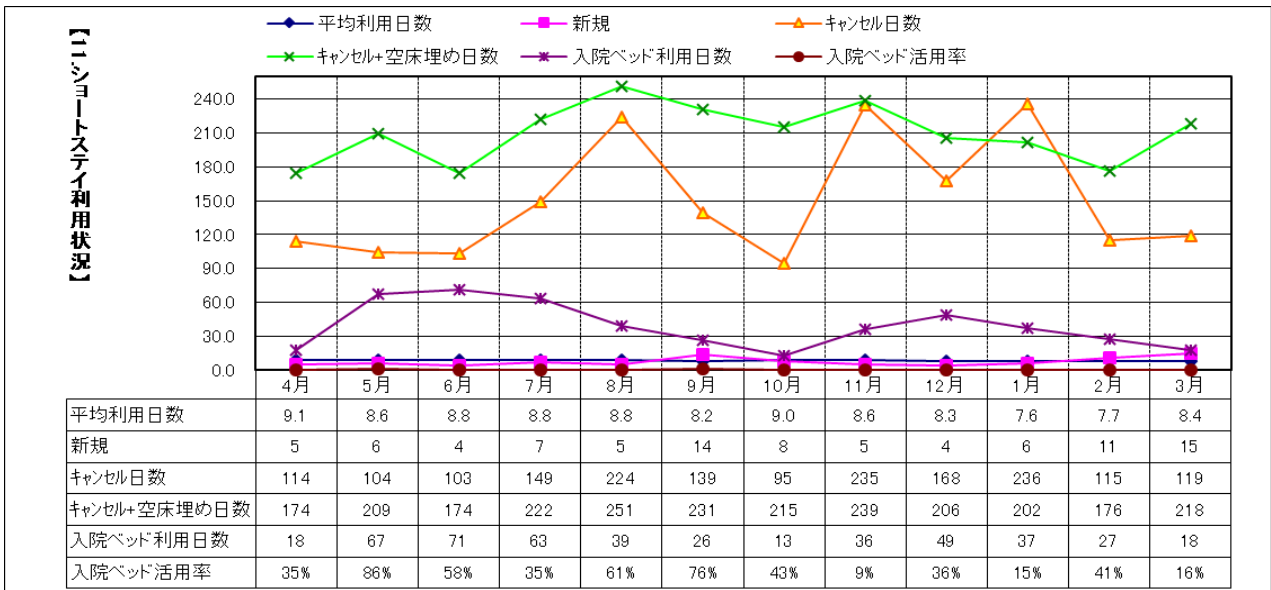
Ⅵ 短期入所生活介護

令和4年度は、平均年間稼働率112.7%と目標達成できました。コロナクラスターの影響で稼働が下がる月もありましたが、ご家族様にも協力いただき、入所時抗原検査を実施してリスク回避に努めてきました。次年度も、ご家族様、担当CMに選ばれる好日苑ショートステイを目指してサービス提供に努めていきたいと考えております。

① 令和4年度【ショートステイ稼働率】



② 令和4年度【ショートステイ平均利用日数等】



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
月当初予約日数	613	637	625	648	647	616	661	625	599	597	526	553	612
(%)	107.5%	108.1%	109.6%	110.0%	109.8%	108.1%	112.2%	109.6%	101.7%	101.4%	98.9%	93.9%	105.9%

Ⅶ 人材育成（研修）

社会福祉法人響会

令和4年度 「新入職員基礎研修(BS)内容」

特別養護老人ホーム 好日苑

9:00～18:00 勤務（3日間）

No.	日付	時間	場所	内容	研修担当職員
1	1日目	9:00 ～ 9:15	相談室1.2	施設長挨拶	施設長
		0:15		オリエンテーション	特養課長
3		9:20 ～ 9:50		【事業運営方針】 ・ 第6次中期経営計画 ・ 令和4年度事業計画	特養課長
4		9:50 ～ 10:50		【大田区の介護保険制度の現状】 ・ 制度全般（保険料・要介護度等） ・ 優先入所制度 ・ 特養の現状（要介護度・料金等）	
5		11:05 ～ 12:05		【法人組織や事業・各種規定】 ・ 倫理綱領・就業規則・給与規定 ・ 運営規定（特養・デイ・ヘルパー） ・ オンズパーソン委員会設置要綱 ・ 苦情解決の取組に関する実施要綱 ・ 個人情報保護規定 ・ 各種サービス指針 ・ 各種申請書含む	事務長
6		12:05 ～ 13:05		休憩	
7		13:05 ～ 14:05		館内設備・防災研修	事務主任
8		14:15 ～ 14:47		動画研修 ・ 「心が伝わる」 ビジネスマナーの基本 Part1 企業人・社会人として働くという事 Part2 笑顔・あいさつ・言葉遣い	介護係長
		14:55 ～ 15:51		動画研修 ・ 【新版】社会人 やっていいこと・悪いこと	
		16:00 ～ 16:44		動画研修 ・ 新入社員のための「社会人のルール」	
		16:50 ～ 17:40		動画研修 ・ 新入社員のための「報連相の基本」	
9		17:40 ～ 18:00		報告書作成	
10	2日目	9:00 ～ 10:30	相談室1.2	好日苑の特徴～6つの風船～ 相手の気持ちを大切にする	介護係長
11		10:40 ～ 12:00		ICF的考え方入門	相談係長
12		12:00 ～ 13:00		休憩	
13		13:00 ～ 14:30		【Peaceful Core】研修 ～穏やかな看取り介護～ 顕みる看取り介護	相談係長
14		14:45 ～ 15:45		介護記録	
15		15:55 ～ 16:55		虐待防止・身体拘束廃止	相談係長
16		17:00 ～ 17:30		介護現場におけるハラスメント対策について	介護係長
17		17:30 ～ 18:00		報告書作成	

18	3日目		9:00	～	10:20	1:20	相談室1.2	好日苑の食事～人を良くする食事～ 食形態・食中毒予防	管理栄養士		
19			10:20	～	11:20	1:00		栄養ケア計画			
20			11:20	～	12:20	1:00		好日苑でいう『栄養リハ』とは 経口維持計画/経口移行計画 口腔ケア			
21			12:20	～	13:20	1:00		休憩			
22			13:20	～	14:50	1:30		医療研修～先手のケア研修～ 「健康管理」	看護係長 看護主任		
23			15:00	～	16:40	1:40		「感染予防」「胃瘻管理」 「吸引等の医行為（実技含む）」 「褥瘡予防」			
24			16:50	～	17:30	0:40		動画研修 働く人のメンタルヘルス①②	介護係長		
25			17:30	～	18:00	0:30		振り返り・報告書作成			

令和4年度≪【本館】内部研修≫

開催月	開催日	場 所	内 容	参加人数
9月	28日	職員食堂	コミュニケーション研修	5名
2月	22日	職員食堂	健康管理表研修	8名

令和4年度≪【新館】内部研修≫

開催月	開催日	場 所	内 容	参加人数
5	1月16日	職員食堂	ユニットケア研修～利用者様が望む暮らし～	10名
10月	31日	職員食堂	居室担当について	7名
2	9日	新館3階フロア	ユニットリーダー研修(実地研修報告)	6名
2	9日	相談室	キャリアアップ研修	7名

令和4年度<<【両館】合同内部研修 >>

開催月	開催日	場 所	内 容	参加人数
4月	11日	職員食堂	令和4年度事業計画説明	14人
6月	14日	職員食堂	高齢者虐待防止研修	17人
8月	12日	職員食堂	リスクマネジメント研修「緊急時研修」	13人
9月	9日	職員食堂	登録派遣講師による研修会 「介護の仕事が楽しくなる！ ワークエンゲージメントを高めるコツ」	17人
10月	23日	本新館	令和4年度 誓会 大規模防災訓練	336名
11月	15日	職員食堂	東京都 高齢者入所施設向け 新型コロナ対策 即応支援チーム	10名
12月	7日	職員食堂	東京都 高齢者入所施設向け 新型コロナ対策 即応支援チーム	4名
2	1月7日	相談室	感染症等発症時におけるBCP机上訓練	12名
3月	14日	本館3階食堂	東京都 高齢者入所施設向け 新型コロナ対策 即応支援チーム	10名

令和4年度<<【看護職員】自主勉強会>>

開催月	開催日	場 所	内 容	参加人数
4月	20日	職員食堂	好日苑におけるピースフルケア	7名
5月	14日	医務室	痙攣	5名
5月	31日	医務室	環境整備	6名
6月	26日	医務室	SS対応看護マニュアル	6名
9月	4日	医務室	コロナ対応振り返り・対応のルーチン・PPE着脱	5名
11月	23日	医務室	高齢者の皮膚トラブル	5名
12月	23日	医務室	PPE着脱	5名
12月	29日	医務室	特養看護師の役割	6名
2月	15日	医務室	褥創の基本的処置	5名
3月	22日	医務室	ポリマーケーションの作り方	9名

令和4年度《【外部】研修》

開催日	主 催	研修名	参加者
5月12日	東京都福祉人材センター	第2回認知症介護実践者研修	介護主任
6/13、6/21、7/6	日本ノーリフト協会	ノーリフトケア コーディネーター養成講座	介護主任
10/11～10/12	ユニットケア推進センター	ユニットリーダー研修	介護主任
9/6～11/16	東京都福祉保健医療研修センター	令和4年度 東京都認知症介護実践リーダー研修	介護主任
10/12～11/9	東京都福祉保健医療研修センター	令和4年度 東京都認知症介護実践者研修	介護主任
7月6日	大田区福祉管理課	事業所を超えてつながる交流会	介護職員
7月6日	大田区福祉管理課	事業所を超えてつながる交流会	介護職員
7/1、11/16～12/1、2/1	東社協	高齢者施設におけるチームマネジメントを学ぶ研修会	介護副主任
7月21日	東社協	介護職員のためのオンライン情報交換会	介護職員
9月5日	東社協	生活相談員研修委員会ブロック会	介護係長
9月12日	東社協	栄養ケア・マネジメント研修	管理栄養士
11月18日	東京都福祉保健局	職員が辞めない職場の秘訣	特養課長
11月21日	東社協	ケアプラン作成とライフ加算マネジメント	相談係長
12月12日	福祉保健局	BCP実践講座	特養課長
1月4日	ユニットケア推進センター	ユニットリーダー研修	介護主任
1月24日	ユニットケア推進センター	ユニットリーダー実地研修	介護主任
1月17日	東京都社会福祉協議会	介護報酬請求事務に関する研修会（応用編）	相談係長
1月20日	東京都結核予防会	高齢者の結核対策	看護係長
3月7日	田園調布防火管理研究会	集合型自衛消防訓練	介護職員
3月6日	東京都高齢者福祉協議会	機能訓練計画書の作成から訓練の展開と評価	理学療法士
1月24日	日本ユニットケア推進センター	ユニットリーダー研修 実地研修過程	介護主任
12月12日	東京都福祉保健局	BCP策定講座	特養課長
3月8日	東京都福祉保健局	東京都 リハビリ派遣事業	理学療法士
3月14日	東京都福祉保健局	東京都 高齢者施設向け 新型コロナ即応支援チーム派遣	特養課長

令和4年度は新型コロナウイルス感染対策としてオンラインでの研修会が中心でした。オンライン研修の多くは録画を観る研修となっており、職員の都合の良い時間帯に受けることが出来、通常の研修会と比べて現場からの参加もしやすく、また一人で集中する事が出来ると好評でした。

VIII 会議・委員会

令和4年度《特養会議開催内容》

会議名	開催月	開催日	【特養会議】 内容の概要
特養会議	4月	7日	前月の実績報告 各会議・各委員会決定事項 継続審議事項報告
	5月	11日	前月の実績報告 各会議・各委員会決定事項 継続審議事項報告 本新館ベッド入替について
	6月	7日	前月の実績報告 各会議・各委員会決定事項 継続審議事項報告 新型コロナウイルスワクチン巡回接種について
	7月	7日	前月の実績報告 各会議・各委員会決定事項 継続審議事項報告 介護ロボット等による生産性向上の取り組みについて
	8月	5日	前月の実績報告 各会議・各委員会決定事項 継続審議事項報告 アロマセラピー芳香浴効果検証について
	9月	7日	前月の実績報告 各会議・各委員会決定事項 継続審議事項報告 多床室の個室化について
	10月	7日	前月の実績報告 各会議・各委員会決定事項 継続審議事項報告 好日苑まつりについて
	11月	8日	前月の実績報告 各会議・各委員会決定事項 継続審議事項報告 虐待の芽チェックリストについて
	12月	7日	前月の実績報告 各会議・各委員会決定事項 継続審議事項報告 新型コロナウイルス感染状況
	1月	11日	前月の実績報告 各会議・各委員会決定事項 継続審議事項報告 新型コロナウイルスワクチン巡回接種について
	2月	5日	前月の実績報告 各会議・各委員会決定事項 継続審議事項報告 新型コロナウイルス感染状況
	3月	7日	前月の実績報告 各会議・各委員会決定事項 継続審議事項報告 第三者評価結果について

参加者

理事長・施設長・特養課長
本新館介護係長・本新館CM・看護係長
管理栄養士・本新館主任

会議レジュメ

1. 特養部門の前月実績分析
2. 各会議報告
(3C・本館会議・新館会議・看護師会議・食事会議)
3. 各委員会報告
(リスク・NPTF・認知症・本新館合同排泄・吸引等安全対策)
4. 各専門職種から
5. 検討課題

今年度を振り返って

令和4年度は新型コロナウイルス感染症蔓延防止策を通常業務とし、毎週開催した係長会議(3C)での決定事項等を特養会議にて周知を図ると共に、感染症に対しての高い意識を継続していけるよう意識した会議としていきました。
今後も特養会議が施設運営の核となる会議ですので、各会議・各委員会での検討事項の方向性を確認・調整を行うとともに、特養の方向性を周知する重要な会議として位置づけていきます。

令和4年度《特養主任会議開催内容》

会議名	開催月	開催日	特養主任会議(3C)内容
特養係長会議（3C）	4月	8日	コロナ進捗状況、本新館業務課題について
		15日	コロナ進捗状況、令和3年度人事考課結果について
		22日	コロナ進捗状況、本新館業務課題整理
		28日	コロナ進捗状況、感染症見舞金について
	5月	6日	コロナ進捗状況、内部研修について
		13日	コロナ進捗状況、職員BS研修について
		20日	コロナ進捗状況、特養面会再開について
		27日	コロナ進捗状況、令和4年度第三者評価
	6月	3日	コロナ進捗状況、人材育成交流センターについて
		9日	コロナ進捗状況、特定技能1号について
		17日	コロナ進捗状況、施設調査書について
		24日	コロナ進捗状況、令和4年度好日苑まつりについて
	7月	1日	コロナ進捗状況、本新館ベッド納品について
		6日	コロナ進捗状況、4回目の巡回接種について
		15日	コロナ進捗状況、薬局の見直しについて
		22日	コロナ進捗状況、次世代介護機器導入促進支援事業
		29日	コロナ進捗状況、新型コロナワクチン4回目接種について
	8月	4日	コロナ進捗状況、嘱託医による4回目のワクチン接種
		12日	コロナ進捗状況
		18日	コロナ進捗状況、育児休暇について
		26日	コロナ進捗状況、相談係長・施設ケアマネの業務課題
	9月	2日	コロナ進捗状況、LED照明工事
		8日	コロナ進捗状況、第三者評価 利用者訪問調査
		16日	コロナ進捗状況、第25回好日苑まつり開催について
		22日	コロナ進捗状況、第三者評価経営層合議用資料について
		30日	コロナ進捗状況、LED照明工事途中経過について
	10月	6日	コロナ進捗状況、育成本の活用方法について
		14日	コロナ進捗状況、令和4年度 第2回 BS研修について
		21日	コロナ進捗状況、ストレスチェックについて
		28日	コロナ進捗状況、令和4年度 警会大規模防災訓練実施報告
	11月	4日	コロナ進捗状況、大田区新型コロナウイルスワクチン5回目巡回接種
		10日	コロナ進捗状況、本館・新館業務課題について
		18日	コロナ進捗状況、東京都即応対応支援チーム指導報告
		25日	コロナ進捗状況、「自転車総点検」について
	12月	2日	コロナ進捗状況、滑りにくい適正な靴の着用について
		8日	コロナ進捗状況、虐待の芽チェックシートについて
		16日	コロナ進捗状況、東京都物価高騰補助金及び大田区燃料費高騰補助金申請
		23日	コロナ進捗状況、令和5年度 事業計画(案)について
	1月	1日	コロナ進捗状況、2023年個人目標発表
		6日	コロナ進捗状況、
		13日	コロナ進捗状況、自衛消防訓練について
		20日	コロナ進捗状況、令和5年度 委員会と年間研修SDIについて
	2月	27日	コロナ進捗状況、令和5年度BCP(新型コロナ)について
		2日	コロナ進捗状況、5S活動について
		10日	コロナ進捗状況、第三者評価訪問調査結果報告について
		17日	コロナ進捗状況、令和5年度事業計画(案)について
	3月	24日	コロナ進捗状況、有期雇用契約書の更新について
		3日	コロナ進捗状況、入所事務担当者連絡会について、人事考課
		10日	コロナ進捗状況、大田区内特養職員交流研修事業について
		17日	コロナ進捗状況、個別機能訓練加算の算定について
		24日	コロナ進捗状況、25周年 ユニフォーム一斉更新
		31日	コロナ進捗状況、永年勤続表彰について

参加者

施設長・特養課長
本館介護係長・新館介護係長
相談係長(CM)・看護係長

会議レジュメ

1. 前回の議事確認
2. 好日苑利用者状況(台帳)確認
3. 特養「組織図」と「人財」確認
4. 今日現在の稼働率状況確認
5. 特養(AP)検討課題
6. 新型コロナウイルス対応について
7. 報告事項
8. 3C来週の予定確認

今年度を振り返って

特養係長会議(3C)を特養の主要会議とし、特養部門の現状(コロナ発生状況確認・入居者状況・人財・組織・運営・課題・方向性等)を調整し協働を図るため、週1回(通算50回)開催いたしました。

特養においては、常に24時間365日動いていますので、1週間前の状況が殆ど変化している状態であり、情報の共有化と他職種協働の重要性を改めて認識いたしました。

また新型コロナウイルス感染症におきましては、東京都からの要請により好日苑拠点の職員を対象に週1回のPCR検査を実施し、感染症発症時に迅速に対応出来るよう、係長会議を中心に情報共有を図って参りました。 来年度も引き続き緊張感を持って対応していきます。

令和4年度《本館会議開催内容》

会議名	開催月	開催日	【本館会議】 内容の概要
本館会議	4月	11日	・事業計画説明 ・今後どんな本館にしていきたいか 従来型の強みを理解する ・年間内部研修検討
	5月	14日	・新館ユニット型を勉強する ・本館内部研修計画立案 ・横断業務(役割、動き方)再検討
	6月	14日	・今後どんな本館にしていきたいか ・彩活動クラブ方向性共有 ・SS空所利用ポイント整理 ・5S委員会についてメールミーティング
	7月	11日	・今後どんな本館にしていきたいか 各階物品保管場所統一→スマート化 ・各階進捗状況報告 ・横断業務(役割、動き方)再検討
	8月	12日	・今後どんな本館にしていきたいか フロア業務(各勤務動き方)ベース作り→スマート化 ・生活支援員業務整理 ・5S委員会
	9月	7日	・今後どんな本館にしていきたいか フロア業務(各勤務動き方)ベース作り→スマート化 ・5S委員会 ・好日苑まつりについて
	10月	15日	・今後どんな本館にしていきたいか 横断業務見直し(役割、動き方) ・5S委員会 ・上半期振り返り
	11月	15日	・感染症対策
	12月	12日	・感染症対策
	1月	16日	・感染症対策 ・鶴亀ホーム研修報告 ・好日苑の特長を知る ・R4年度「一文字目標」振り返り
	2月	15日	・R5年度「一文字目標」発表 ・今後どんな本館にしていきたいか 入浴方法検討(集団入浴へ)
	3月	14日	・今後どんな本館にしていきたいか 入浴方法検討(集団入浴へ) ・次年度委員会等メンバー検討 ・内部研修・クラブ活動・5S委員会評価

参加者

本館係長・本館CM
本館主任・本館副主任

会議レジュメ

1. 前月の提案事項の進展状況確認
2. 法人伝達事項
3. 特養会議でのポイント確認
4. 各階運営状況報告&課題提起
5. 本館全体の検討課題
6. 5S委員会

今年度を振り返って

R4年度は、改めて好日苑従来型の特徴を知り、強みを活かし、弱みを改善することから始めました。個別ケアが比較的充実している反面、業務が多様化してる部分が多く、よりシンプルにするよう努めました。また誰が行っても標準化が図れるよう動き方の共有、各勤務マニュアルの見直し等行ってきました。各階での物品保管場所も、できるものは統一してスマート化を図りました。途中クラスター発生も数回あり、感染症対応を徹底していくことに、時間を費やすことも多かったです。年度末にかけては、入浴支援方法の検討を行い、現在のマンツーマン入浴から、集団入浴への検討を開始しました。しかし以前の集団入浴とは、違い、今までの経験を活かし「個別ケアを知ってるからこそできる集団入浴＝安心入浴を目指していきます。次年度は、5月安心入浴に向けてスタートして、専門性を活かしたケアの充実を図っていただけるよう務めてまいります。

令和4年度《新館会議開催内容》

会議名	開催月	開催日	【新館会議】 内容の概要
新館会議	4月	11日	・ユニットケアを学ぶ～「24時間シート」「一覧化」～ ・SDGS、5S活動 ・太枠、アドバイザーの役割 ・勤務時間の考え方
	5月	14日	・ユニットケアを学ぶ～新館内部研修～ 本館と協働(従来型の強み、弱み) ・SDGS、5S活動 ・太枠、アドバイザーの役割 ・勤務時間の考え方
	6月	14日	・ユニットケアを学ぶ～ケアの前にマナー～ ・SDGS、5S活動 ・浴勤務評価
	7月	11日	・ユニットケアを学ぶ～居担力UP～ ・SDGS、5S活動 ・夏に向けての注意点
	8月	12日	・ユニットケアを学ぶ～「暮らし」について考える～ ・SDGS、5S活動 ・勤務内容の共有 ・各階状況共有
	9月	9日	・ユニットケアを学ぶ～「暮らし」の考えを深める～ ・SDGS、5S活動 ・好日苑祭りの動き方
	10月	15日	・ユニットケアを学ぶ～好日苑の特徴を踏まえた、「好日苑ユニットケア」の考え方～ ・SDGS、5S活動 ・F日、F浴、Sの動き方 ・上半期目標達成度合共有 ・主任、副主任グループワーク
	11月	14日	・ユニットケアを学ぶ～ユニットリーダーの役割を知る～ ・SDGS、5S活動 ・感染症予防 ・職員育成について
	12月	12日	・ユニットケアを学ぶ～できることから考えてみる～ ・SDGS、5S活動 ・職員育成について
	1月	16日	・ユニットケアを学ぶ～暮らしと感染症～ ・SDGS、5S活動 ・感染症課題振り返り
	2月	9日	・ユニットケアを学ぶ～ユニットケアリーダー研修(実地研修)報告～ ・SDGS、5S活動 ・入浴体制変更 ・感染症課題振り返り
	3月	13日	・ユニットケアを学ぶ～浸透～ ・SDGS、5S活動 ・入浴体制変更の課題評価 ・来期委員会、係メンバー選出

参加者

新館係長
新館主任・新館副主任

会議レジュメ

1. 前月の提案事項の進展状況確認
2. 法人伝達事項
3. 特養会議でのポイント確認
4. 各階運営状況報告&課題提起
5. 新館全体の検討課題
6. 新館内部研修計画検討

今年度を振り返って

令和4年度には「好日苑ユニットケアの確立」を目指し、1年間かけて「学び」を行いました。ユニットリーダー受講者が研修内容を会議メンバーと共有することにも時間を使いました。コロナ感染症のクラスターも経験し、見えてきた課題を共有し、入浴体制の見直しも行っています。令和5年度は「好日苑ユニットケアの実践」を掲げ、利用者様に還元できるケアに繋げていきます。

令和4年度《看護師会議開催内容》

会議名	開催月	開催日	【看護師会議】 内容の概要
看護師会議	4月	20日	・看護師業務のスマート化 薬セット・受診・処方・往診など 特養内服薬セットの調剤薬局移行について ・コロナ抗原キット使用時の注意事項について
	5月	25日	・看護師業務のスマート化 薬セット・受診・処方・往診などの評価、修正 ・医務事務員の業務内容案について
	6月	22日	・看護師業務のスマート化 薬セット・受診・処方・往診などの評価、修正 ・症例振り返り ・終業時確認事項リスト案について
	7月	27日	・看護師業務のスマート化 薬セット・受診・処方・往診などの評価、修正 ・医務事務員の業務内容評価・修正 ・終業時確認事項リストの決定
	8月	17日	・看護師業務のスマート化 薬セット・受診・処方・往診などの評価、修正 ・入居時看護記録の簡素化案について ・終業時確認事項リストの評価
	9月	14日	・看護師業務のスマート化 薬セット・受診・処方・往診などの評価、修正 ・入居時看護記録サンプル作成、修正 ・それぞれの考える特養とは意見交換
	10月	19日	・看護師業務のスマート化 薬セット・受診・処方・往診などの評価、修正 ・入居時看護記録の評価 ・OJTマニュアルの見直し ・インフルエンザワクチン接種の事前準備について
	11月	29日	・看護師業務のスマート化 薬セット・受診・処方・往診など ・退院後の対応の見直し ・布エプロンの使用について
	12月	22日	・看護師業務のスマート化 薬セット・受診・処方・往診などの評価、修正 ・布エプロン使用の廃止 ・軟膏管理について(案)
	1月	メールにて実施	・看護師業務のスマート化 薬セット・受診・処方・往診などの評価、修正 ・軟膏管理について(決定)
	2月	28日	・看護師業務のスマート化 薬セット・受診・処方・往診などの評価、修正 ・会議(ミーティング)の活性化に向けての案について
	3月	29日	・看護師業務のスマート化 薬セット・受診・処方・往診などの評価、修正 ・来年度勉強会について ・会議(ミーティング)の活性化に向けての評価 褥創状態の共有をミーティングで行う(1回/月)

参加者
特養課長・看護係長・看護職員

会議レジュメ
1. 経営会議・特養会議報告 2. 利用者状況報告 3. ターミナルケア対応 4. 感染症等予防対策 5. 褥瘡等予防対策 6. 提案事項

今年度を振り返って
今年度の入院日数は1,504日(新型コロナウイルスは613日)でした。新型コロナウイルス感染症のクラスターが数回発生し、結果として入院日数の増加に繋がりました。蔓延期は入院が出来ずに施設内療養の利用者様も多くあり、集団生活で感染が広がってしまう怖さを痛感しました。 来年度は新型コロナウイルス感染症が5類へと変更になりますが、感染しない・持ち込まない・拡大させないという意識をもって、利用者様・施設の健康を守って行きたいと思います。 看護業務のスマート化に関しては現在も進行中であり、これを継続しながら、来年度も引き続き緊張感を持って専門職として敢然と立ち向かい、入居者様の「安心と暖かさ」の提供に努めていきます。

令和4年度《食事会議開催内容》

会議名	開催月	開催日	【食事会議】 内容の概要
食事会議	4月	14日	・利用者会議報告(利用者の声) ・イベント食日程、内容確認 ・出来たての味♪「酢豚」 ・わくわく手作りおやつ「蒸しパン」 ・令和4年度非常食入れ替え一覧表 ・感染症報告
	5月	12日	・利用者会議報告(利用者の声) ・イベント食日程、内容確認 ・出来たての味♪「チンジャオロース」 ・害虫駆除について ・感染症報告
	6月	9日	・利用者会議報告(利用者の声) ・イベント食日程、内容確認 ・出来たての味♪「海老とマヨネーズの中華和え」
	7月	14日	・利用者会議報告(利用者の声) ・イベント食日程、内容確認 ・出来たての味♪「海老と空豆の炒め物」 ・わくわく手作りおやつ(特養)「クリームあんみつ」 ・好日苑まつりの内容確認 ・感染症報告
	8月	18日	・利用者会議報告(利用者の声) ・イベント食日程、内容確認 ・わくわく手作りおやつ(特養含む)「クリームあんみつ」 ・好日苑まつりの内容最終確認 ・感染症報告
	9月	8日	・利用者会議報告(利用者の声) ・イベント食日程、内容確認 ・好日苑まつりの内容確認(9月延期) ・出来たての味♪「酢豚」 ・感染症報告
	10月	13日	・利用者会議報告(利用者の声) ・イベント食日程、内容確認 ・わくわく手作りおやつ(特養含む)「フレンチトースト」 ・感染症報告 ・残菜調査結果(特養) ・防犯訓練 ・好日苑まつりの振り返り
	11月	10日	・利用者会議報告(利用者の声) ・イベント食日程、内容確認 ・わくわく手作りおやつ(特養)「フレンチトースト」 ・来年度のイベント内容案 ・感染症報告
	12月	8日	・利用者会議報告(利用者の声)/イベント食日程確認 ・わくわく手作りおやつ(デイ)「クロカンブッシュ」 ・わくわく手作りおやつ(特養)「フレンチトースト」 ・お正月の食事について ・感染症報告
	1月	12日	・利用者会議報告(利用者の声) ・イベント食日程、内容確認 ・正月三が日の振り返り ・感染症報告
	2月	9日	・利用者会議報告(利用者の声) ・イベント食日程、内容確認 ・わくわく手作りおやつ「おはぎ」 ・感染症報告
	3月	9日	・利用者会議報告(利用者の声) ・イベント食日程、内容確認 ・第三者評価の結果報告 ・感染症報告 ・食材費について

参加者
特養課長・在宅課長 本館主任・新館主任・在宅主任・管理栄養士 委託事業者マネージャー 委託事業所好日苑所長

会議レジュメ
1. 前回の議事確認と進行状況確認 2. 前月の食事関係報告と検討事項 3. 今月・来月以降の検討課題の整理 4. 委託事業所より意見・要望等

今年度を振り返って
今年【握り寿司】については、新型コロナの感染状況を確認しつつ、感染対策しながら職人さんが来苑しての開催を委託業者の協力のもと再開することができました。目の前で握って頂くことで普段とは違う雰囲気での食事、人気のお寿司ということもありとても楽しんで召し上がって頂くことができました。今後も食を通じて喜んで頂ける食事を提供することができるよう委託業者と協力して行きたいと思います。

令和4年度《ノーリフティングポリシータスクフォース開催内容》

会議名	開催月	開催日	【ノーリフティングポリシータスクフォース】 内容の概要
ノーリフティングポリシータスクフォース	4月	26日	メンバー紹介 今後の流れ(目標) 事業計画説明
	5月	24日	各階進捗状況確認 次世代介護機器進捗状況 ボディメカニクス勉強会
	6月	28日	各階進捗状況確認 次世代介護機器進捗状況 ノーリフティングケア勉強会
	7月	26日	各階進捗状況確認 次世代介護機器進捗状況 介護機器展示会
	8月	27日	各階進捗状況確認 次世代介護機器進捗状況 効果測定事業について
	9月	27日	各階進捗状況確認 次世代介護機器進捗状況 ポジショニング勉強会
	10月	26日	各階進捗状況確認 次世代介護機器進捗状況 腰痛予防対策チェックリストについて
	11月	22日	各階進捗状況確認 次世代介護機器進捗状況 理学療法士自己紹介
	12月	27日	各階進捗状況確認 次世代介護機器進捗状況 ポジショニング勉強会
	1月	24日	各階進捗状況確認 次世代介護機器進捗状況 ノーリフティングケア研修について
	2月	28日	各階進捗状況確認 次世代介護機器進捗状況 事例発表会
	3月	28日	各階進捗状況確認 次世代介護機器進捗状況 今年度の振り返り

参加者
特養課長・本館主任(1名)・新館主任(1名)・各階介護職員(6名)・看護師・理学療法士

会議レジュメ
1, 各階進捗状況 2, ノーリフティングケアの浸透についての検討課題

今年度を振り返って

令和4年度の「ノーリフティングポリシータスクフォース(NPTF)」では、昨年度に引き続きノーリフティングケアのスタンダード化に向けて職員研修や事例発表等を行い、一定の効果が観られたと考えております。また次世代介護機器導入促進支援事業にて導入した移乗サポートロボットHugの活用と評価を行い、順調に稼働する事が出来ました。今年度は更にセンサー付ベッドと自動体位変換機能付きエアマットも年度末に導入させて頂きましたので、来年度以降も適正運用と評価を行っていく予定です。また機能訓練指導員の採用も進み、年明けから個別機能訓練加算の算定も開始しました。専門職によるシーティングやケア方法の見直し等を行い、ノーリフティングケアの考え方が更に浸透したと感じております。来年度は「次世代介護の実践チーム」として新たにスタートを切る事になります。引き続きノーリフティングケアのスタンダード化に向けて努めて参ります。

令和4年度《認知症ケア委員会開催内容》

会議名	開催月	開催日	【認知症ケア委員会】 内容の概要
認知症ケア委員会	4月	18日	令和4年度事業計画説明 委員の役割 年間計画について (勉強会)認知症の基礎知識テスト
	6月	16日	(勉強会)認知症の方とのコミュニケーションについて
	8月	18日	(勉強会)認知症の方と接する時の心構え アセスメント方法について
	10月	15日	(勉強会)有する能力に応じた認知症支援について
	1月	19日	(勉強会)周辺症状への考え方 短所を長所に変えるトレーニング
	3月	16日	(勉強会)事例検討 今年度のまとめ

参加者
認知症介護実践者研修及びリーダー研修 受講者・各階介護職員(各1名)・看護師
会議レジュメ
1. 勉強会資料
今年度を振り返って
令和4年度の認知症ケア委員会はフロアでの中心的立場の中堅職員をメンバーとして、基礎知識、認知症ケアのポイントである「有する能力」について勉強会方式で実施致しました。中堅職員という面では、チームで認知症の方を支援する上で考え方なども学び、知識を増やす事も出来ました。 今年度も講師は東京都が主催している認知症実践者研修及び認知症実践リーダー研修を受講した職員で行い、学んできた事を周知できる機会が作れた事は、浸透もしやすく双方にとってメリットが大きかったと思います。 来年度は講師を行った職員を中心にフロア全体で根拠のある認知症支援を実践していきたいと思っております。検討会としてフロアで取り組んでいる事の意見交換やアドバイスをもらいながら認知症支援に繋げていく事が目的です。

令和4年度《身体的拘束適正化に伴う委員会開催内容》

会議名	開催月	開催日	【身体拘束廃止委員会】 内容の概要
身体的拘束適正化委員会	4月	15日	・前月の身体拘束者確認(特養0名) ・5月、6月の研修予定
	5月	20日	・前月の身体拘束者確認(特養0名)
	6月	17日	・前月の身体拘束者確認(特養0名) ・今月の研修報告
	7月	15日	・前月の身体拘束者確認(特養0名) ・特養ベッドの入れ替えに向けて
	8月	26日	・前月の身体拘束者確認(特養0名) ・コロナ感染拡大による隔離対応報告
	9月	16日	・前月の身体拘束者確認(特養0名)
	10月	21日	・前月の身体拘束者確認(特養0名) ・「虐待の芽チェックシート実施報告」
	11月	18日	・前月の身体拘束者確認(特養0名)
	12月	18日	・前月の身体拘束者確認(特養0名) ・今月の研修予定
	1月	20日	・前月の身体拘束者確認(特養0名) ・先月の研修報告
	2月	17日	・前月の身体拘束者確認(特養0名) ・ストレスマネジメントの必要性について
	3月	17日	・前月の身体拘束者確認(特養0名) ・今月の身体拘束者報告(特養1名) ・隔離対応時の行動制限への意識

参加者

施設長・特養課長・在宅課長・看護係長・
本館CM・新館CM・本館介護係長・新館介
護係長

会議レジュメ

1. 前回の議事確認・経過報告等
「拘束の種類」「現在の状況」
「今後の方向性」
2. その他

今年度を振り返って

令和4年度は身体拘束者がいない状況で
開始しました。コロナ感染拡大による隔離
対応で、拘束までは至らなくても、行動の
制限が必要な状況が生じ、「感染予防」と
「当たり前の暮らし」の在り方について考え
させられる一年となりました。3月には、や
はり感染予防の観点から、1日だけ身体拘
束を行った事例がありましたが、拘束の3原
則を基本に、妥当性やリスクなどをタイム
リーに検討することで、1日で解除に至っ
ております。今後も定期的に研修を行い
「当たり前の暮らし」が送れるように支援し
ていきたいと思っています。

令和4年度《虐待防止委員会開催内容》

会議名	開催月	開催日	【虐待防止委員会】 内容の概要
虐待防止委員会	4月	15日	不適切ケアについての共有 (特養・SS・デイ)⇒環境整備について、BS研修について
	5月	20日	不適切ケアについての共有 (特養・SS・デイ)⇒不適切な会話について 登録講師派遣による研修について
	6月	17日	不適切ケアについての共有 (特養・SS・デイ)⇒新規入居者の対応について 施設内研修について
	7月	15日	不適切ケアについての共有 (特養・SS・デイ)⇒居室環境について ベッドの入れ替えについて
	8月	26日	不適切ケアについての共有 (特養・SS・デイ)⇒新規リスト者のご理解について コロナ罹患者の対応でのストレスについて
	9月	16日	不適切ケアについての共有 (特養・SS・デイ)⇒新規入居者の対応について SSご家族の対応と職員の対応について
	10月	21日	不適切ケアについての共有 (特養・SS・デイ)⇒状況確認 虐待の芽チェックシートの実施
	11月	18日	不適切ケアについての共有 (特養・SS・デイ)⇒多職種での評価について 虐待の芽チェックシートの報告・BS研修について
	12月	18日	不適切ケアについての共有 (特養・SS・デイ)⇒多職種での評価について 虐待の芽チェックシート評価結果
	1月	20日	不適切ケアについての共有 (特養・SS・デイ)⇒状況確認 特養職員による虐待報道を受けて
	2月	17日	不適切ケアについての共有 (特養・SS・デイ)⇒状況確認 ストレスマネジメントの考え方
	3月	17日	不適切ケアについての共有 (特養・SS・デイ)⇒状況確認 コロナ明けの居室環境について

参加者

施設長・特養課長・在宅課長・看護係長・
本館CM・新館CM・本館介護係長・新館介
護係長

会議レジュメ

1. 前回の議事確認
2. 不適切ケアについて
3. その他

今年度を振り返って

令和4年度は虐待防止委員会にて、日々
の業務に潜む「不適切ケア」を事前に他職
種にて検討し、フィードバックしていく事
で、各職員が自身のケアの点検を行い、
「不適切なケア」から「虐待」に至らないよう
小さな芽を摘む取り組みを行っていきまし
た。この委員会の取り組みにより、会議
や研修等で「不適切ケア」について考える
機会が増えたと感じています。また10月
に「虐待の芽チェックシート」を活用したア
ンケート結果を分析し、そこから見えてきた
傾向と対策をリスク管理委員会等を通じて
現場にフィードバックする事が出来まし
た。

令和4年度《本館・新館合同排泄委員会開催内容》

会議名	開催月	開催日	【本館・新館 排泄委員会】 内容の概要
本館・ 新館合同排泄委員会	4月	14日	・事業計画の説明 ・自己紹介 ・年間スケジュール説明
	6月	19日	・事前情報収集の共有 ・道具の精査に当たり視点統一
	8月	24日	・製品説明会 4社 各社15分
	10月	19日	・質問内容まとめ及び感想等 ・道具選定に置いてのポイント再共有 ・製品種類、試行導入 ・技術、使用方法の浸透に関して
	12月	28日	・試行導入製品評価 ・時期試行製品の特長共有
	3月	22日	・製品評価 ・振り返り、来期に向けて

参加者
本館4階:1名(委員長) 本館2階、3階:各1名 新館1階、2階、3階:各1名
会議レジュメ
1. 前回の議事確認と進行状況確認 2. 排泄物品検討 3. 視点共有 4. その他
今年度を振り返って
令和4年度は、「よりよい方法」を見つけ出すために、現在使用している排泄道具以外を知ろうということで、排泄道具取り扱いの、4社に協力をいただき、更に選定した製品の試行実施。令和5年度にも引き続き、好日苑に合った道具の選定をし、利用者様還元ができるようにと考えております。

令和4年度《リスク管理委員会開催内容》

会議名	開催月	開催日	【リスク管理委員会】 内容の概要
リスク管理委員会	4月	7日	前月の事故報告状況(統計) 前月事故報告書からみるA+ ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの 各フロアー状況共有 令和4年度事業計画説明
	5月	11日	前月の事故報告状況(統計) 前月事故報告書からみるA+ ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの B- (緊急性は大きいけど仕方がない)事故について
	6月	7日	前月の事故報告状況(統計) 前月事故報告書からみるA+ ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの 医務 オンコールについて
	7月	7日	前月の事故報告状況(統計) 前月事故報告書からみるA+ ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの コロナ発症での振り返り(パート①)
	8月	5日	前月の事故報告状況(統計) 前月事故報告書からみるA+ ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの 感染症対応中の課題
	9月	7日	前月の事故報告状況(統計) 前月事故報告書からみるA+ ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの 第三者評価説明
	10月	7日	前月の事故報告状況(統計) 前月事故報告書からみるA+ ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの 事故報告書の書き方
	11月	8日	前月の事故報告状況(統計) 前月事故報告書からみるA+ ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの 「アクティブ福祉'22」「PHP 5S」動画
	12月	7日	前月の事故報告状況(統計) 前月事故報告書からみるA+ ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの 「虐待の芽チェックリスト」結果報告
	1月	11日	前月の事故報告状況(統計) 前月事故報告書からみるA+ ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの コロナ対応について
	2月	7日	前月の事故報告状況(統計) 前月事故報告書からみるA+ ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの 新型コロナBCPの机上訓練(研修)
	3月	7日	前月の事故報告状況(統計) 前月事故報告書からみるA+ ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの 第三者評価結果報告

参加者
施設長・特養課長 本館介護係長・新館介護係長 本館CM・新館CM 看護係長・新館主任・本館主任
会議レジュメ
1. 前回の議事確認と進行状況 2. 先月の事故報告状況(統計) 3. 先月の事故報告書からみるA+ 4. ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの (気になる事故等) 5. その他

今年度を振り返って
利用者様のリスク回避は日々の安全対策 の視点だけではなく、感染予防も重要であ ることをコロナウイルスを通じて感じるこ とができた1年でした。日々の事故予防力を上 げるとともに、きちんと振り返りをし、学んだ ことを無駄にしない取り組みを来期も継続 していきたいと思います。

令和4年度《褥瘡予防委員会開催内容》

会議名	開催月	開催日	【褥瘡予防委員会】 内容の概要
褥瘡 予 防 委 員 会	4月	26日	褥創発生者0名、発症者状況報告 ギャッジアップ・ダウンの手順 スキントラブル予防のための保湿の重要性
	5月	25日	褥創発生者4名、発症者状況報告 外用薬の適正量について 体調変化時の対応見直し・多職種連携
	6月	22日	褥創発生者2名、発症者状況報告 状態に応じた外用薬の選択
	7月	27日	褥創発生者1名、発症者状況報告 褥創会議における提案事項の関係各所への周知
	8月	17日	褥創発生者2名、発症者状況報告
	9月	14日	褥創発生者2名 発症者状況報告
	10月	19日	褥創発生者1名 発症者状況報告
	11月	21日	褥創発生者1名 発症者状況報告
	12月	21日	褥創発生者0名、発症者状況報告
	1月	31日	褥創発生者0名、発症者状況報告 新マットレス採用について
	2月	27日	褥創発生者0名、発症者状況報告
	3月	22日	褥創発生者0名、発症者状況報告 ポリマークッションの活用 褥創状態の看護師間の共有（NMで1回/月）

参加者
施設長・特養課長 看護主任・本館主任 新館主任・本館CM・新館CM 管理栄養士・看護職員

会議レジュメ
1. 関係通知確認 2. 褥瘡(疑い含む)発生状況確認 3. 予防対策 4. その他検討事項

今年度を振り返って
昨年度導入した褥創往診の対象者2名の褥創はまだ治癒に至ってはいませんが、経過を観察していくうちに、看護職員の褥創管理に対する意識が上がりケアの工夫や予防に繁栄していると思われる反応が多くみられています。今後はこれを介護職員とも連携し、利用者様の状態改善・看護職員の自己研鑽に繋がるよう努めていきたいと思っています。 今年度の課題の一つに褥創会議の活性化を挙げ、看護職員間でも情報の共有や相談を密に行ってはいませんが、来年度も多職種で参加する意義を有効に活かし、専門職目線での意見交換ができる会議を目指します。

令和4年度《感染症対策委員会開催内容》

会議名	開催月	開催日	【感染症対策委員会】 内容の概要
感染症対策委員会	4月	28日	感染症関連通知等4件確認 感染症等発症状況確認 新規入居者感染について
	5月	27日	感染症関連通知等5件確認 感染症等発症状況確認 巡回接種について
	6月	24日	感染症関連通知等8件確認 感染症等発症状況確認 特養面会再開後の対応について
	7月	29日	感染症関連通知等6件確認 感染症等発症状況確認 法人内動向確認(集団感染発症状況)
	8月	26日	感染症関連通知等6件確認 感染症等発症状況確認 法人内動向確認
	9月	30日	感染症関連通知等5件確認 感染症等発症状況確認 法人内動向確認 発生届の変更点について
	10月	28日	感染症関連通知等4件確認 感染症等発症状況確認 法人内動向確認 感染症指導者養成研修報告
	11月	25日	感染症関連通知等7件確認 感染症等発症状況確認 法人内動向確認
	12月	23日	感染症関連通知等4件確認 感染症等発症状況確認 法人内動向確認 東京都即応支援チーム指導報告
	1月	27日	感染症等発症状況確認 法人内動向確認
	3月	3日	感染症関連通知等4件確認 感染症等発症状況確認 法人内動向確認

参加者
施設長・事務長 特養課長・地域課長・在宅課長 看護係長・管理栄養士 デイ係長・本新館係長・本新館CM
会議レジュメ
1. 関係通知確認 2. 感染症(疑)発生状況確認 3. その他検討事項 4. 施設長から
今年度を振り返って
令和4年度は「新型コロナウイルス感染症」に対する感染状況の把握を中心に、響会として地域にどのような貢献が出来るか、また施設内感染を発症させない為に、面会制限や緩和についての考え方を東京都や大田区の感染状況を踏まえながら検討していましたが、7月以降、断続的に新型コロナの集団感染が発症し、医療機関や行政と連携し施設内での蔓延防止に努めて参りました。結果として1回の集団感染で終息までの期間としては約1ヶ月が掛かりました。またワクチン接種につきましても大田区の協力の下、施設内での巡回接種も実施、職員の接種に関しても協力医療機関である大森山王病院の協力で無事に早めの接種を実施する事が出来ました。今後も感染症対策委員会を中心に情報共有を図り、感染症蔓延防止に努めて参ります。

令和4年度《吸引等安全対策委員会開催内容》

会議名	開催月	開催日	【感染症対策委員会】 内容の概要
吸引等安全対策委員会	6月	25日	・令和4年度東京都介護職員等によりたんの吸引等の実施のための研修(不特定多数の者対象)SD確認。 ・事故報告の確認 ・医行為に関する書面整理状況
	9月	16日	・令和4年度東京都介護職員等によりたんの吸引等の実施のための研修(不特定多数の者対象)SD確認。 ・事故報告の確認 ・医行為に関する書面整理状況
	12月	23日	・令和4年度東京都介護職員等によりたんの吸引等の実施のための研修(不特定多数の者対象)SD確認。 ・事故報告の確認 ・医行為に関する書面整理状況
	3月	17日	・令和4年度東京都介護職員等によりたんの吸引等の実施のための研修(不特定多数の者対象)SD確認。 ・事故報告の確認 ・医行為に関する書面整理状況

参加者
施設長・特養課長 看護係長・ 本館介護係長・新館介護係長 本館CM・新館CM
会議レジュメ
1. 関係通知確認 2. 吸引等に関する安全対策課題等 3. その他検討事項 4. 施設長から

今年度を振り返って
令和4年度の事故報告は年間を通して1件でした。予防策により事故を未然に防ぐことができました。 医行為研修に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、実地研修のみの受講として年間2～3名の介護職員等によるたんの吸引研修を受講できるよう調整を行いました。来年度も引き続き受講を予定していきます。

Ⅸ 活動計画

令和4年度《【本館】年間行事・レクリエーション》

開催月	場 所	内 容
4月	稲荷坂公園	お花見 近くの公園で桜を楽しみました。
5月	各階食堂	端午の節句 鯉のぼりを飾り、鑑賞したり、飾りつけと一緒に作成して楽しめました。
6月	3階吹き抜け	彩カフェ 喫茶風な飾りつけをして、スイーツ、ドリンクで、お茶をしました。
	玄関	紫陽花鑑賞 正面玄関に咲いている紫陽花を外気浴も兼ね鑑賞しました。
7月	本館2階3階浴室	夏の銭湯 昭和レトロな演出をして、浴後にはラムネなどを楽しみました。
	本館4階	紫陽花鑑賞 正面玄関に咲いている紫陽花を外気浴も兼ね鑑賞しました。
9月	3F吹抜け	好日苑まつり ボランティアによる三味線、盆踊りなど利用者、職員ともに楽しめました。
2月	デイルーム	冬の大運動会 玉入れ、応援合戦など皆、本気で取り組みました。
3月	稲荷坂公園	お花見 近くの公園で桜を楽しみました。

毎月、第2日曜日を誕生日会の日と設定し、おやつにはショートケーキがです。
誕生日の方のご希望に添えるようなお祝いを担当職員が企画して、お誕生日お祝いをしています。



令和4年度《【新館】年間行事・レクリエーション》

開催月	場 所	内 容
4月	ベランダ	お花見 各階にて数名ずつ、ベランダに出て桜見学されそれぞれ桜を味わいました。桜色のデザートも楽しんでいただきました。
	各フロア	体操・ハンドマッサージ・折り紙 選べる余暇を過ごしていただきました。
5月	玄関	端午の節句 玄関の鯉のぼりとともに、記念写真をとりました。
	ベランダ	「喫茶 雪谷」をオープン。 パフェなどいつもよりも豪華なおやつを楽しみました。
6月	フロアー	ちらし寿司 普段のお食事にちょっと彩を。
7月	各フロアー	七夕イベント 短冊に願いを込めました。
8月	ベランダ	「喫茶 好日庵」をオープン。 和の雰囲気を感じながら、楽しんでいただきました。
	フロアー	大田区調布地域福祉課 100歳お祝い持参
9月	好日苑まつり (敬老会)	本・新館合同敬老会 感染対策のため、例年と1ヶ月ずらしてのお祭りでした。敬老会も兼ね、日々の感謝を伝える場にさせていただきました。
10月	フロアー	ハロウィン いつもとちょっと違ったおやつや食事を楽しみました。
11月	ベランダ	外気浴 気候も良い中で、ベランダに出て外気浴を行いました。
12月	各フロア	クリスマス会&忘年会 クリスマスツリーへの飾りつけを行い、皆でケーキを食べました。 ピザなど普段食べることがないものを注文し、1年の締めくくりをみなさんで楽しみました。
1月	各フロア	新年会 職員からの年賀状が届きました。1年の願いを絵馬に書きました。
2月	各階フロア	節分 鬼めがけ、おもいきり豆を投げました。
	玄関	外気浴 暖かい日に外に出て季節を感じました。
3月	ベランダ	お花見 桜の開花が早く、各階でベランダに出て桜を見ました。

毎月、第2日曜日を誕生日会の日と設定し、おやつにはお誕生日ケーキがです。
誕生日の方のご希望に添えるようなお祝いを担当職員が企画して、お誕生日お祝いをしています。
特に節目の白寿、百寿などには、ユニットみなさんでおめでとうを伝えています。

令和4年度《本館クラブ活動実績》

今年度を振り返って
R4年度は「彩活動クラブ」も2年目となり、継続して日常生活に彩を与えられることを目的として、季節を感じたり、自然を感じられる余暇活動を行うよう努めました。コロナ禍にて計画通りに実施ができませんでしたが、(園芸、季節レク、お菓子作り等)活動を通してやりがいを感じ、自立支援への意欲向上へ繋げることができました。次年度も、利用者様の生活に彩をあたえられるよう工夫をし、またすきま時間の有効活用も図っていきたいと考えています。

令和4年度《新館クラブ活動実績》

今年度を振り返って
「いきいきクラブ」の名前の通り、利用者様が「活き活き」できる時間を過ごしていただけるよう、設定いたしましたが、まとまった時間の捻出が出来ず、ちょっとした時間に個別で対応させていただくことが多くなってしまいました。令和5年度はたくさんさんの「活き活き」を引き出せるように工夫していきます。

令和4年度《定期活動ボランティア実績》

	活動日	活動内容	場 所	ボラ人数
本 館 新 館	なし	なし	なし	0名

* 新型コロナウイルスの影響にてボランティアの受入れは中止しておりました。

令和4年度《【本館】理髪実績》

実施日	場 所
4月	1日 3階吹き抜け
	12日 2. 4階団らんコーナー
5月	6日 3階吹き抜け
	10日 2. 4階団らんコーナー
6月	3日 3階吹き抜け
	14日 2. 4階団らんコーナー
7月	1日 3階吹き抜け
	12日 2. 4階団らんコーナー
8月	9日 2. 4階団らんコーナー
9月	2日 3階吹き抜け
	13日 2. 4階団らんコーナー
10月	7日 3階吹き抜け
	11日 2. 4階団らんコーナー
11月	コロナウイルスの影響にて中止
12月	2日 3階吹き抜け
	13日 2. 4階団らんコーナー
1月	コロナウイルスの影響にて中止
2月	3日 3階吹き抜け
	14日 2. 4階団らんコーナー
3月	3日 3階吹き抜け
	14日 2. 4階団らんコーナー

令和4年度《【新館】理髪実績》

実施日	場 所
4月	コロナウイルスの影響にて中止
5月	コロナウイルスの影響にて中止
6月14日	各階セミパブリックススペース
7月	コロナウイルスの影響にて中止
8月	コロナウイルスの影響にて中止
9月13日	各階セミパブリックススペース
10月11日	各階セミパブリックススペース
11月8日	各階セミパブリックススペース
12月29日	各階セミパブリックススペース
1月23日	各階セミパブリックススペース
2月14日	各階セミパブリックススペース
3月14日	各階セミパブリックススペース

令和4年度《【全館】訪問衣料販売実績》

実施日	場 所
	コロナウイルスの影響にて中止

令和4年度 自衛消防訓練審査会

令和4度は田園調布消防署主催の集合型自衛消防訓練が令和5年3月7(火)に開催されました。本館・新館から1名ずつの職員が訓練に参加し、消火訓練、放水体験、通報訓練を実施しました。尚、今回の訓練にて「ネットで自衛消防」についての説明も受講し、今後の消防訓練に活用させて頂く事としました。

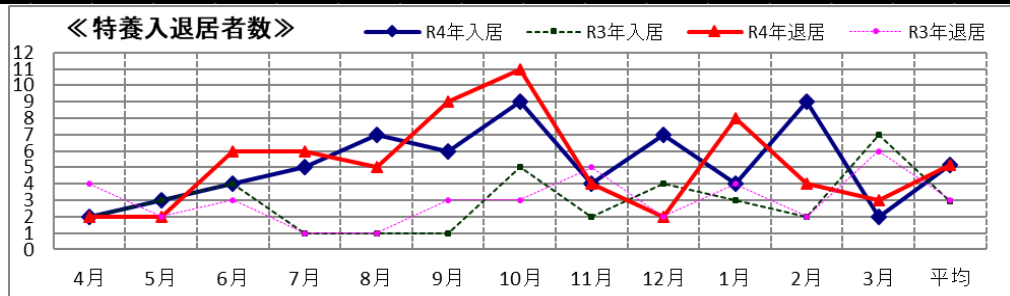


◆ 令和4年度 特養入退居者状況

《入居前・退居後と入退居者数が合わないのは館内移動(本館⇒新館3名)》																		
	本館			新館			合計			入居前					退居後			
	入居	退居	在籍	入居	退居	在籍	入居	退居	在籍	自宅	老健	病院療養	有料H 宿泊費	GH 経費	病院 逝去	苑内 逝去	看取 介護	病院 療養
年度当初	—	—	87	—	—	50	—	—	137									
4月	2	2	87	0	0	50	2	2	137	1	1				1		1	
5月	3	2	88	0	0	50	3	2	138		3				1		1	
6月	2	3	87	2	3	49	4	6	136	3			1		1		5	
7月	3	3	87	2	3	48	5	6	135	2			2	1	2		3	1
8月	5	5	87	2	0	50	7	5	137	1		1	5			1	4	
9月	4	6	85	2	3	49	6	9	134	2	1	1	2				8	1
10月	7	7	85	2	4	47	9	11	132	4	4	1				ご自宅	10	
11月	2	3	84	2	1	48	4	4	132		1		1	1	1		2	
12月	4	0	88	3	2	49	7	2	137	2	2		3				2	
1月	2	5	85	2	3	48	4	8	133	2				1	1	3	3	
2月	4	1	88	5	3	50	9	4	138	4	2		2		1		1	1
3月	1	1	88	1	2	49	2	3	137	2							2	1
合計	39	38		23	24		62	62		23	14	3	16	3	8	5	42	4

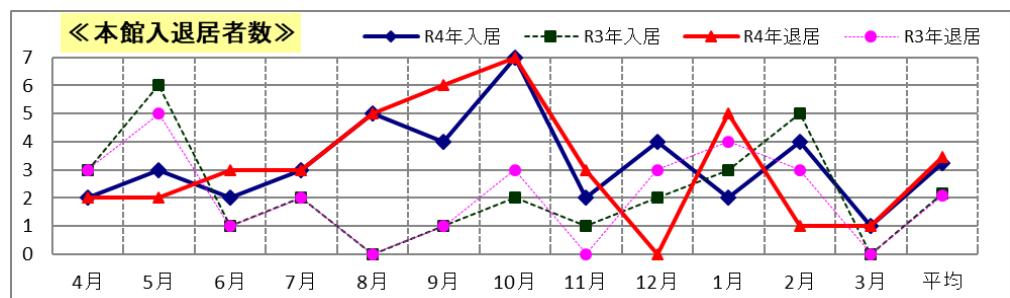
R4年度	
入居	62
退居	62
±	0

R3年度	
入居	35
退居	36
±	-1



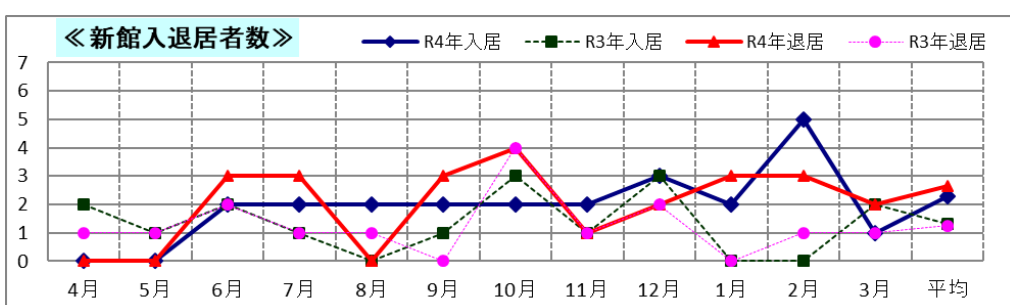
R4年度	
入居	39
退居	38
±	1

R3年度	
入居	26
退居	25
±	1



R4年度	
入居	23
退居	24
±	-1

R3年度	
入居	16
退居	15
±	1



◆ 特別養護老人ホーム好日苑 利用状況

令和5年3月31日 現在

【年齢】

	本館	新館	合計
最高齢	104	107	
100以上	1	3	4
90以上	35	22	57
85以上	22	8	30
80以上	17	6	23
75以上	9	5	14
70以上	2	2	4
65以上	1	2	3
64以下	1	1	2
最年少	56	57	137
平均	87.3	87.1	87.2

百寿(100)	0	2	2
白寿(99)	4	1	5
米寿(88)	6	0	6
喜寿(77)	2	1	3
古希(70)	0	0	0

【性別】

	本館	新館	合計	%
男性	12	7	19	14%
女性	76	42	118	86%
合計	88	49	137	

【階層】

	本館	新館	合計	%
1	13	0	13	9%
2	9	6	15	11%
3①	10	1	11	8%
3②	13	7	20	15%
4	43	35	78	57%
合計	88	49	137	

補足給付率 36.4% 14.3% 43.1%

【負担割合】

	本館	新館	合計	%
0%	12	0	12	9%
10%	75	44	119	87%
20%	0	4	4	3%
30%	1	1	2	1%
合計	88	49	137	100.0%

【認知症高齢者自立度】

	本館	新館	合計	認知Ⅲ1/3以上
無	4	3	7	
I	6	4	10	
Ⅱa	6	9	15	
Ⅱb	16	8	24	
Ⅲa	24	12	36	81
Ⅲb	10	7	17	
Ⅳ	19	5	24	
M	3	1	4	
合計	88	49	137	59%

【要介護度】

	本館	新館	合計
要支援	0	0	0
介護度 1	3	3	6
介護度 2	6	0	6
介護度 3	19	18	37
介護度 4	32	18	50
介護度 5	28	10	38
合計	88	49	137
平均	3.86	3.65	3.79
要介護4.5率	68.2%	57.1%	64.2%

【在籍期間】

	本館	新館	合計
1ヶ月未満	1	1	2
1年未満	32	15	47
2年未満	10	7	17
3年未満	13	8	21
4年未満	17	4	21
5年未満	5	3	8
6年未満	1	5	6
7年未満	2	1	3
8年未満	4	1	5
9年未満	0	1	1
10年未満	0	2	2
11年未満	0	0	0
12年未満	1	1	2
13年未満	0	0	0
14年未満	0	0	0
15年未満	0	0	0
16年未満	0	0	0
17年未満	0	0	0
18年未満	0	0	0
19年未満	1	0	1
20年未満	0	0	0
21年未満	0	0	0
22年未満	1	0	1
23年未満	0	0	0
24年未満	0	0	0
25年未満	0	0	0
26年未満	0	0	0
合計	88	49	137
平均	2.7年	2.9年	2.8年
	32ヵ月	35ヵ月	33ヵ月

◆ 令和4年度 東京都福祉サービス第三者評価結果

令和4年度 東京都第三者評価事業【好日苑】評価結果「概要版」

＜評価機関＞

川原経営グループ

(株) 医療福祉経営研究所

「とうきょう福祉ナビゲーション」

<http://www.fukunavi.or.jp>

	アンケート	聞き取り
調査対象者数		138
有効回答者数		22
総数に対する回答者割合		16%

＜利用者調査結果＞

共通評価項目	実数				
	「はい」%	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 施設における食事の献立や食事介助など食事に満足しているか	68%	15	3	4	0
2. 日常生活で必要な介助を受けているか	86%	19	0	2	1
3. 施設の生活はくつろげるか	64%	14	6	2	0
4. 職員は日常的に、健康状態を気にしているか	68%	15	0	6	1
5. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	91%	20	1	1	0
6. 職員の接遇・態度は適切か	68%	15	4	3	0
7. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	45%	10	4	2	6
8. 利用者同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	32%	7	2	2	11
9. 利用者の気持ちを尊重した対応がされているか	73%	16	4	2	0
10. 利用者のプライバシーは守られているか	64%	14	2	2	4
11. 個別の計画作成時に、利用者や家族の状況や要望を聞かれているか	14%	3	2	0	17
12. サービス内容や計画に関する職員の説明はわかりやすいか	18%	4	0	1	17
13. 利用者の不満や要望は対応されているか	45%	10	3	3	6
14. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談が出来ることを伝えられているか	9%	2	1	13	6

＜総合的な感想について＞

(1) 施設はあなたにとって、良いところだと思いますか	大変満足	22.7%	59.1%
	満足	36.4%	
	どちらともいえない	36.4%	
	不満	4.5%	
	大変不満	0.0%	
	無回答	0.0%	
	計	100.0%	

＜利用者調査全体の評価機関のコメント＞

・標準手法である利用者ご本人に対する聞き取り調査を実施しました。
 ・聞き取り調査当日の昼食は、給食の試食も兼ねて、利用者と同じ献立の昼食をとらせていただきました。
 ・総合的な事業所に対する評価は「大変満足」「満足」と回答した方は59%でした。
 ・個々の設問については、14設問中3設問で「はい」と回答した方が70%以上と満足度が示されています。
 ・日頃感じている施設に対する意見・要望などの自由回答では、18名の方がコメントを寄せており、「みんなよくして下さっている」「誕生日の時も写真パシャパシャ取ってくれて、ケーキも出て、すごく良かった」などの声が寄せられています。

＜評価機関＞

川原経営グループ

(株) 医療福祉経営研究所

「とうきょう福祉ナビゲーション」

<http://www.fukunavi.or.jp>

	アンケート	聞き取り
調査対象者数	127	
有効回答者数	48	
総数に対する回答者割合	38%	

＜ご家族調査結果＞

共通評価項目	実数				
	「はい」%	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 施設における食事の献立や食事介助など食事に満足しているか	58%	28	10	3	7
2. 日常生活に必要な介助を受けているか	71%	34	4	1	9
3. 施設の生活はくつろげるか	38%	18	18	4	8
4. 職員は日常的に、健康状態を気にしているか	73%	35	5	1	7
5. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	75%	36	5	3	4
6. 職員の接遇・態度は適切か	81%	39	6	0	3
7. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	75%	36	6	1	5
8. 利用者同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	48%	23	13	1	11
9. 利用者の気持ちを尊重した対応がされているか	69%	33	6	1	8
10. 利用者のプライバシーは守られているか	60%	29	6	1	12
11. 個別の計画作成時に、利用者や家族の状況や要望を聞かれているか	79%	38	4	1	5
12. サービス内容や計画に関する職員の説明はわかりやすいか	75%	36	6	1	5
13. 利用者の不満や要望は対応されているか	58%	28	12	1	7
14. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談が出来ることを伝えられているか	48%	23	13	3	9

＜総合的な感想について＞

(1) 施設はあなたにとって、良いところだと思いますか	大変満足	25.0%	81.3%
	満足	56.3%	
	どちらともいえない	14.6%	
	不満	0.0%	
	大変不満	0.0%	
	無回答	4.1%	
	計	100.0%	

＜利用者調査全体の評価機関のコメント＞

・総合的な事業所に対する評価は「大変満足」「満足」と回答した方は81%でした。
 ・個々の設問については、14設問中7設問で「はい」と回答した方が70%以上と満足度が示されています。
 ・日頃感じている施設に対する意見・要望などの自由回答では、19名の方がコメントを寄せており、「細かいことも連絡頂いて、家族としてはとても安心しています」「大変丁寧な心のこもった対応をしていただき、病気一つしていません。感謝しかありません」などの声が寄せられています。

事業者が特に力を入れている取り組み①

評価項目	6-4-3	利用者が食事を楽しむための工夫をしている
タイトル①	五感を使って、味だけでなく音や香りも感じながら食事が楽しめる取り組みをしています	
内容①	「先手のケア」を掲げ、日々の健康管理表で把握している数値に基づき、必要に応じて医療機関と連携し、医師の判断を仰ぎながら、施設内で対応できるよう取り組んでいます。嘱託医は週2日の往診と24時間のオンコール体制を取っています。コロナ禍のため発熱だけで入院が難しいことや病院での感染リスクを防ぐため、利用者の体調に異変があった場合は嘱託医に相談しており、食事が数日摂れていない利用者には医師の指示を受けながら施設内で点滴を行いました。他にも精神科医や歯科医も定期的に施設へ訪問し、利用者の状態把握を行っています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②

評価項目	6-4-8	利用者の健康を維持するための支援を行っている
タイトル②	健康管理表を根拠にしながら、医療機関から指示を仰ぎ迅速に対応しています	
内容②	食べる楽しみをいかに長く支援できるかという「PeacefulCare」の考えに基づいて、様々な食事イベントを行っています。「出来立ての味」では厨房職員がフロアにて、利用者の目の前でホットプレートで調理したり、フロアで料理をよそって提供しています。普段利用者との交流がない厨房職員も利用者の表情や様子を知れる機会となっています。「わくわく手作りおやつ」では、フロアにてフレンチトーストを作り、好評でした。見た目や香り、調理する際の音など五感を使って利用者の食欲を刺激し、楽しく美味しく食べられる工夫をしています。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	季節に応じた行事や毎月のクラブ活動、様々な食事イベントなどコロナ禍の中でも出来る内容を考え、実践しています
	内容	施設では食事イベントや行事を記載した月間予定表を毎月作成し、利用者に配付、ホームページにも掲載しています。本館では「彩活動クラブ」新館では「いきいきクラブ」という活動も毎月行っており、本館では運動会やホーム喫茶、新館では宅配ピザや出前寿司など利用者のリクエストも聞きながら取り組んでいます。また、夏には好日苑まつりを開催し、ボランティアも招待しました。敬老会もあわせて行い、長寿のお祝いをしています。感染防止のため以前と同様に実施できないこともあります。今出来る取り組みを職員は考え、実践しています。
2	タイトル	混合型施設の強みを生かし、時間にとらわれないケアや日課を行わないユニット型の個別性の高いケアを従来型でも取り入れています
	内容	従来型の本館とユニット型の新館の混合型施設で、居室形態ごとの特徴を日々の介護の中に取り入れています。一般的に従来型では時間ごとの一斉介助が多いですが、時間ごとにスケジュールが決められたケアや日課は行いません。消灯時間の概念もないため、女性利用者同士の女子会で夜遅くまで起きていた方はいつもよりゆっくり起床してもらするなど、各自の起床時間もバラバラで、起床してから朝食準備を行っています。定期的な職員異動により、お互いの居室形態の特徴を理解し、個別性の高いケアをサービスの質向上に生かしています。
3	タイトル	「先手のケア」や定例会議以外に2回の話し合いの機会を持ち、多職種が連携してケアの実践や見直しに繋がられるようにしています
	内容	利用者の体調面や食事・水分量などの変化があれば速やかに対応できるよう、「先手のケア」の方針のもと、職員の気づきに基づく根拠を持った介護に重点を置いています。月末に行っている定例の利用者カンファとは別に、月初のスタート会議、中旬のリターン会議を3回実施し、利用者状態や業務内容について話し合いの機会を頻繁に設けることで、多職種が連携してケアの実施や見直しに繋がられるようにしています。また、日々の情報共有はグループウェアによる掲示板と介護業務支援ソフトのケース記録を用いて、情報共有を行っています。

さらなる改善が望まれる点	
タイトル	職員の参画の機会を増やし、なお一層一体感を醸成することが期待されます
内容	現場の職員と幹部層との意識統一のため、組織体制を見直して係長職を設けて指揮命令が現場に確実に伝わるようにしたり、個別面談の機会を設けるなど改善に取り組んでいます。現在、利用者の状態だけでなく各種会議、委員会の記録など多様な情報を周知し、決定事項の透明性を担保しています。今後は、主要幹部層が多くを担っている委員会について、現場の職員が組織運営に参画する機会として設定することで、職員と幹部層との意識の乖離が緩和されることが推察されるため、今後のさらなる一体感の醸成に向けた取組みが期待されます。
タイトル	取り組みの重点ポイントを絞り込み職員が実感できる特長に成長させることが期待されます
内容	5S(整理、整頓、清掃、清潔、躰)やノーリフティングケアなど多様な取り組みを事業計画に明記し取り組んでいます。職員には説明会や研修を通して周知しているものの、職員にとって新しい言葉も多く実践への理解につながりにくい印象があります。今後、現場の職員が意識する重点ポイントを絞り込み、確実に浸透し、徹底し、継続的に微調整をしながら維持することに重点をおき、さらに一人ひとりの職員が自信をもって特長として意識できるよう取り組むことが期待されます。
タイトル	ケアプランで特に重点的に取り組むこと、どのような状態変化の経過を記録に残す必要があるか整理し、連動性を持たせることが期待されます
内容	機能訓練、自立支援促進、排せつ支援計画、褥瘡マネジメント、栄養マネジメント、口腔機能維持などの各種加算の項目と連動したサービス内容がケアプランに位置付けられていますが、各種計画書を参照することが明記されているため、具体的なケア内容になっていません。また、項目ごとのサービス内容が多いため、その中で特に重点的に取り組むこと、どのような状態変化の経過を記録に残す必要があるか分かりにくい状況と推察されます。ケアプランの各項目の具体化とその内容と連動した記録を残せるような取り組みを検討することが期待されます。

I 好日苑デイサービスセンター

令和4年度におきましても、昨年度同様に新型コロナウイルス感染症と向き合いながら事業運営を行い、1年通して、月の欠席数が200日を超える月も多く、デイサービスの運営に大きな影響となりました。そのような中、新型コロナウイルス感染症に左右され、日常生活に窮屈感と様々な機能低下を懸念する環境下、当センターとしましては、感染症対応を行いながら日常生活に必要な動作の維持や改善を目的とした機能訓練のシステム・環境を整えました。

(※令和4年8月から機能訓練加算新規算定開始)

また、入浴支援・送迎範囲も利用者様のご要望に応えられるよう調整を行い、新規利用者様を受け入れる事もできました。そして、当センターの特長であるレクリエーションでも、大作と言われる壁画作成や年度末からは障がいのある方への理解や関心を深め、障がいのある一般の人や高齢者等、誰でも楽しめるスポーツ「ボッチャ」を取り入れました。令和5年度は皆さんに楽しんで頂ける様定着させていきたいと思っております。令和5年度もご登録いただく皆様が「安心して楽しく通える環境」と「安心と暖かさ」を感じ取れる生活をし続けていただく為に響会方程式を駆使した日常生活支援を行い、馴染みある職員が横断的・一体的にサービス提供を行うことに努めて参ります。

1. 『第6次中期経営計画を踏まえた令和4年度事業計画の重点施策』

(6)好日苑デイサービス	
利用者	① 送迎エリア拡大と送迎体制一本化 ② 機能訓練体制整備・加算取得 ③ Wincareの有効活用(電子記録の共有)
職員	① 多機能型職員配置と短時間介護職員検討 ② ユマニチュード基本技術・研修受講 ③ 認知症ケア関連加算維持・新規算定
経営	① 居宅連携率 50%/年 » デイ稼働率 90.0% (SS 連携含む)

【令和4年度の重点施策に対する評価】

「利用者様」

- ・送迎エリアについては、「馬込・久が原エリア」の新規開拓・拡充
- ・令和4年5月から機能訓練加算新規算定への体制整備 (※同業他社の機能訓練環境見学・加算算定サポートシステム(エース)導入)を行い、同年8月から個別機能訓練加算「新規加算算定」開始。
- ※ ご利用者様・ご家族様共に選択肢が多くなるようサービスの提供ができました。

「職員」

- ・デイ・ヘルプ兼務職員(多機能型職員)を毎週「週2日」兼務配置。
- ・認知症介護者実践者研修受講1名修了 (※認知症ケア関連加算算定に伴う必須配置要件)

「経営」

- ・デイ年間稼働率：73.4%

2. サービス提供

(1) 利用状況 (※ 年間稼働率 90.0%・登録率 100%)

延べ利用数 7,981 人(※昨年度:7,683 人・昨年度比較:1.0%増)、欠席数 2,454 日(※昨年度:2,545 昨年度比較:1.0%減)、新規 43 名(※昨年度:25 名)、欠席理由の都合が 624 日(※昨年度:408 日)、休止 40 日(※昨年度:95 日)、廃止は 39 名(※昨年度:24 名)でした。

その結果、平均稼働率 73.4%、登録率 89.2%となり、結果、目標を大幅に下回る厳しい結果となりました。

① 登録実績

	週間登録数 (210名/週定員)	利用者実績	稼働率（目標:90%）	
			R4	R3
4月	195名	660名	72.5%	70.2%
5月	200名	684名	75.2%	68.2%
6月	197名	681名	74.8%	70.0%
7月	205名	663名	72.9%	72.5%
8月	208名	714名	75.6%	73.4%
9月	198名	657名	72.2%	75.1%
10月	204名	676名	74.3%	76.7%
11月	182名	587名	64.5%	73.4%
12月	186名	670名	70.9%	73.9%
1月	197名	633名	75.4%	62.4%
2月	202名	657名	78.2%	61.1%
3月	204名	706名	74.7%	68.7%
平均	198.1名	665名	73.4%	70.5%

② 利用実績

	利用実数			新規	廃止	休止	1日 平均利用
	介護	予防	計				
4月	66	4	70	2	2	4	25.4
5月	69	4	73	4	2	3	26.3
6月	69	4	73	6	4	5	26.2
7月	69	4	73	2	2	5	25.5
8月	69	4	73	3	4	4	26.4
9月	67	4	71	3	5	3	25.3
10月	69	3	72	4	3	4	26.0
11月	70	3	73	3	4	2	22.6
12月	68	3	71	4	5	3	24.8
1月	75	3	78	6	0	2	26.1
2月	76	3	78	4	5	1	27.4
3月	71	3	73	2	3	4	26.1
合計	—	—	—	43	39	40	—
平均	69.8	3.3	73.2	3.6	3.5	3.3	25.7

③ 欠席状況

	入院	ショートステイ	病欠	自己都合 (自粛)	合計 (その他含)
4月	46	111	14	49	220
5月	37	100	4	58	199
6月	30	99	20	40	189
7月	26	79	26	97	228
8月	26	88	3	88	205
9月	55	116	11	72	254
10月	37	81	10	53	181
11月	73	88	27	40	228
12月	23	107	30	40	200
1月	26	80	30	31	167
2月	42	74	24	26	166
3月	77	96	14	30	217
合計	498	1119	213	624	2,454
平均	41.5	93.2	17.8	52	204.5

④ 介護度別利用実績

	支援 1.2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合計	平均
4 月	4	16	15	17	12	6	70	2.5
5 月	4	16	17	17	13	5	72	2.5
6 月	4	17	17	20	14	5	77	2.5
7 月	4	17	16	21	14	5	77	2.5
8 月	4	20	16	20	10	6	76	2.4
9 月	4	22	15	19	9	5	74	2.3
10 月	3	22	18	16	11	6	76	2.4
11 月	3	19	20	16	11	6	75	2.4
12 月	3	18	19	16	11	7	74	2.5
1 月	3	19	20	17	12	9	80	2.6
2 月	2	19	19	18	11	8	77	2.5
3 月	2	18	17	20	12	8	77	2.6
合計	40	223	209	217	140	76	905	2.5
比率	3.3%	18.6%	17.4%	18.1%	11.7%	6.3%		

⑤ 廃止内訳

	要支援 1.2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
ご逝去	0	0	2	2	4	2	10
入 所	0	0	1	2	5	1	9
老 健	0	1	1	0	0	0	2
長期入院	0	0	2	2	3	1	8
その他	1	2	0	3	3	1	10
合 計	1	3	6	9	15	5	39

(2) 活動報告(アクティビティ等)

「個別と集団の融合活動」を主テーマに置き、その方がその人らしい1日を過ごして頂くことを念頭に集団レク・個別レクを中心にご自身で1日のスケジュールを決めていく「活動選択制」を重視し、運動等だけでなく体調・体力面を配慮して「のんびり」と称し、他の利用者や職員とのコミュニケーションを目的とした活動も行いました。

① アクティビティ

運動と認知課題（計算、しりとりなど）を組み合わせた、認知症予防を目的とした取り組み（※コグニサイズ）や脳活性化トレーニング（※前頭葉への刺激を意識した取り組み）を定着化させました。ご自宅でも行えるプログラムを念頭においた活動に取り組み、『口腔機能維持体操』については楽しみのひとつであるお食事を安全に召し上がって頂く事の背景に高齢に伴う嚥下・咀嚼力の機能低下が招く誤嚥・誤飲を予防する視点で年間を通じて取り組みました。

② 個別機能訓練

令和4年8月より機能訓練加算取得を開始致しました。機能訓練指導員として、常勤看護師2名配置し機能訓練を行い、通所されるご利用者様のご希望を確認し、ご利用者様の機能維持、更なる運動機会確保とし機能訓練プログラムソフト「ACE」を活用し、その方に合った訓練を提供して参りました。

【 利用実績 】

	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
人数	6 名	10 名	10 名	10 名	8 名	11 名	9 名	9 名

《 機能訓練の様子 》



《 機能訓練で使用する手作り器具 》



③ 活動プログラム

レクリエーションリーダーを担当する職員が自ら調べてきた内容やインターネット上での情報（※その日を代表する出来事を伝えるなど）を生かし、個々の特色を加えてレクリエーションプログラムを実施し、心身機能の活性化を図り、健康維持増進を目的にレクリエーションプログラムを提供しました。

④ 趣味・娯楽・制作活動

職員が中心となりアクティビティ活動を実施。また、iPadを活用し、新たな余暇提供や多様なプログラム作成を実施。年度末には、ボッチャスポーツを取り入れ、ボッチャウィークとして、皆様に身体を動かしながら楽しんで頂きました。

【主な活動内容】

		活動内容
アクティビティ (脳・身体機能維持)	上肢	【コグニサイズ】脳機能の改善・向上・維持・認知症予防 【関節可動域維持（肩・手首）ゲーム】 ボッチャ・ポケネット・うしろへボーイ・大空と大地・バランス玉入れ ・魚釣り・巻いて巻いて・池上線でガタンゴトン・缶倒しなど 日舞・輪踊り、音楽に合わせたリズム体操
	下肢	【コグニサイズ】脳機能の改善・向上・維持・認知症予防！ 【関節可動域維持（膝・足首・指先関節・バランス感覚）ゲーム】 下駄飛ばし・とんでけスリッパ・飲缶ゲートボール・足で手繰って 寄せて・ゴールを決める・ルームランナーなど 【生活動作維持・回復支援】 送迎時の車両昇降動作・車椅子⇄椅子移乗など
	脳トレ	漢字・計算ドリル、間違い探し、パズル、数字塗りつぶし、生活用品 記憶力ゲーム、ワーキングメモリ（作業記憶）を鍛える多様な活脳レク
趣味生きがい活動		麻雀・将棋・オセロ・手芸・書道・編物・動画鑑賞（iPad）
その他		制作活動（大壁画作成・年中行事）
年間行事		5月：端午の節句 7月：スイカ割り 8月：お祭り WEEK 10月：ハロウィン 12月：クリスマス会 1月：新年会 2月：節分 3月：ひな祭り
不定期開催		お誕生日会：利用者様のお誕生日当日、または近いお日にちで開催 ボランティア：ボランティアとの協同型プログラム (民謡・三味線（盆踊り等）、クラリネット音楽会等)

(3) 年間プログラム

感染症予防対応を考慮した中で、これまで構築してきた活動、行事（プログラム）を実施。コロナ禍の状況下でも、デイサービスに参加していただく事で、楽しみや交流を絶やさないよう充実した日常生活を送って頂けるよう努めました。

4月	「押し花」制作 みなさんで押し花を制作しました。とても綺麗に仕上がりました。	 
5月	端午の節句 午後のレク活動の時間を端午の節句にちなんだレクと、色紙を作成し、楽しんで頂きました。	 
8月	お祭り WEEK お祭り WEEK を開催しました。令和4年度よりボランティアさんの活動を再開した事もあり、お祭り WEEK には沢山のボランティアさんに協力を得て毎日が盛り上がりました。	 
9月	敬老会 ご利用者様への日頃からの感謝の意を込め、お祝い品贈呈と集合写真撮影。今年度は手作りキーホルダーでした。	 
10月	ハロウィン レクリエーションやおやつもハロウィン一色。驚いていた方もいましたが、楽しい時間でした。	 

12月	クリスマスイベント		
	午後のレク時クリスマスイメージして、ゲームを楽しみました。		
1月	書き初め・新年行事		
	ご利用者様と一緒に書初めや、福笑いなど新年を祝う行事を行いました。		
2月	節分行事		
	2月の節分に合わせ、鬼の変装やゲームを楽しんで頂きました。		
3月	ひなまつり		
	フロアに設置した雛壇の前で写真撮影を行いました。		

(4) 入浴サービスの提供

個浴型特殊浴槽（2台）とチェアインバスの計2種類・3台の浴槽を使用し、清潔の保持・家族の介護負担軽減と利用者様の気分転換とADLに合わせた安楽な入浴に努め、菖蒲湯や柚子湯などの季節感を味わって頂く工夫を行い、利用者様に喜んで頂けるよう努力して参りました。

前年度の稼働率変化と異なり、入浴登録・実績・一日平均の数値は微増ではありますが、入浴の要望が高い状況が伺えました。



	登録	実績	1日平均
4月	83	276	10.6
5月	87	292	11.2
6月	83	297	11.4
7月	88	284	10.9
8月	85	300	11.1
9月	83	261	10.0
10月	86	284	10.9
11月	86	275	10.5
12月	83	315	11.6
1月	88	287	11.9
2月	91	299	12.4
3月	86	326	12.0
平均(前年度)	85.7(77.9)	291(245)	11.2(9.4)

(5) 食事サービスの提供

食事提供の面でも、感染症対応を行いながら提供しました。栄養士、調理担当者と協働し、感染対策に配慮した取り組み、イベント食の定期開催を継続しています。

【 イベント食・行事食 】

4月	イベント食 『握り寿司』		
5月	イベント食 『天ぷら』		
6月	イベント食 『温野菜』		
7月	イベント食 『冷しゃぶ&カップリーニ』		

8月	イベント食 『鉄板焼き』		
9月	イベント食 『丼バイキング』		
10月	イベント食 『洋食弁当』		
11月	イベント食 『ラーメン』		
12月	イベント食 『洋食ランチ』		
1月	イベント食 『ミルフィーユ鍋』		
2月	イベント食 『おでん』		
3月	イベント食 『握り寿司』		

【 わくわく手作りおやつ 】

4月	『 蒸しパン 』		
6月	『 フruitsあんみつ 』		
8月	『 フruitsあんみつ 』		
10月	『 フレンチトースト 』		
12月	『 クロカンブッシュ 』		
2月	『 おはぎ 』		

(6) 健康状態の把握

センター到着後の健康チェック（バイタルチェック）では体温、血圧、脈拍の3項目を行い、数値が異常な場合は再検査のもと、利用者の身体状況を把握、体調の変化など早期発見・早期対応に努めました。また、長期入院から利用再開となる際には、生活相談員等が退院前カンファレンス参加、ご自宅に伺っての再アセスメントを積極的に実施しました。体調不良による入浴が困難と看護師が判断した場合は入浴を中止、活動参加が困難な場合は家族に連絡のもと、早退という形をとり、自宅までの送迎対応を行いました。

デイフロア内の静養スペースでは、体調不良による静養・体力面に配慮した休息など柔軟な対応を心掛けました。コロナ禍の影響で自粛されている方々、担当ケアマネジャーへ定期的にご様子確認を実施。

(7) 安全なサービス(リスクマネジメント)

【感染症対策】

新型コロナウイルス感染症に対する感染対策（※ソーシャルディスタンスを保ち、3密（密集・密接・密閉）回避・感染拡大防止（下表参照）。フロア内に「プラズマオゾン発生装置（※バクテクター）」4台設置。各テーブルに飛沫防止シールド設置を行いました。

1. マスク着用	職員	通勤時、勤務中は常時着用（※交換用サージカルマスクを常備・随時交換可）
	利用者様	任意（※呼吸器疾患等による感染リスクが高いと判断した方には着用をお願いをする）
2. 検温・手洗い・うがい	職員	出勤前に自宅にて検温実施。※事前検温にて「37.0℃↑・その他症状」がある場合は、出勤前に上司に報告・相談。ケアごとの手洗い・うがい・消毒の実施。
	利用者様	検温2回実施 ① 朝の送迎前（※基本自宅にて）②朝のバイタルチェック時 ③ その他、看護師が必要と認めた時 ケアごとの手洗い・うがい・消毒の実施。
3. 除菌・洗浄	施設内消毒	4回/日（営業開始直後・昼食前・軽食前（14時頃）・営業終了前） ※2～3時間間隔で実施 ※テーブル・各所手すり・トイレ内・椅子・TVリモコン・PC・電話等）
	施設内換気	常時換気中
4. 余裕のあるフロア環境	<u>利用者様同士の間隔が密接にならぬよう配慮</u> ※ソーシャルディスタンスを保つ（人と人との距離を原則1～2m空ける） <u>プラズマオゾン発生装置「バクテクター」設置</u> 	
5. 送迎車	利用者様同士が可能な限り密着しないよう配慮	
	※乗車人数調整・常時窓の開放（手を出してしまう等のリスク考慮）	
	乗車前の検温実施（※お迎え前のご自宅での検温依頼）※検温未実施の利用者様は乗車前に検温実施	
	乗車前後の手指消毒実施（アルコールジェル）	
	常時換気	
	送迎毎の車内消毒（※手すり・ドアノブ・ハンドル等⇒次亜塩素酸噴霧・拭き上げ）	
	利用者様同士が可能な限り密着しないよう配慮	
6. 入浴	職員はマスク着用（※冷感マスク使用）	
7. その他	施設見学希望の方には、来所前の事前検温・マスク着用にて対応中	
	外部関係者の来所制限（※イベントボラ（個別・団体）・日常生活補助ボラ）	

【令和4年度事故状況】

事故種別	転倒	離苑	急変・救急	裂傷	送迎時	異食	合計
件数	13	1	0	2	0	0	16

事故・苦情には迅速な対応と解決を心がけ、予防に努めるとともに、事故・苦情の情報共有の徹底により、内部研修による事例検討等による再発防止に努めました。

事故詳細として、離苑事故が1件ありました。また、転倒事故も13件と昨年度に比べ増加してしまいました。離苑・転倒と、歩行が不安定な方の歩行者が多く、見守り体制や方法について検討し、下半期に入り、転倒事故も減少させることができました。引き続き、先手のケアを心がけ、予防に努めていきたいと思ひます。

【火災・地震を想定した震災訓練】

当デイサービスセンターでも随時環境設定（※事業所内または送迎中、時間帯など）を行い、月1回の震災訓練を実施しました。

(8) 利用者個々に合った相談支援

利用中の状況、家族等のニーズを踏まえ、介護支援専門員との連携のもと通所介護計画・介護予防通所介護計画の適正な作成（新規・更新）に努めました。計画書の作成にあたっては、日々の申し送りと月1回のケース会議をもとに職員の情報共有を図り、サービス担当者会議への出席等、他事業所と連携し、利用者本人・家族にとって分かりやすい説明のもと同意を得られるようにしました。

(9) 家族交流の促進

送迎時のコミュニケーションと連絡帳の活用に加え、月間予定表、献立の配布、三色すみれ（広報誌）の発行により、情報発信に努めました。また、法人ホームページ内に掲載している「デイサービスの窓（※ブログ）」はデイサービス職員が更新作業を行い、よりタイムリーな情報発信に努めました。

(10) その他

① ボランティア

今年度より、ボランティアの受け入れを再開しました。コロナ禍でボランティアを終了させたグループもいらっしゃいましたが、今まで行って下さっていたグループに声をかけ、ボランティアに来て下さっています。

ボランティアの活躍にて、活気あるデイサービスが戻って参りました。

② 実習生等

実習生受入は、法人の感染症予防対策を前提として、実習機関とも相談しオンライン実習で受入れを行いました。通年と比較すると人数及び実習機関の減少が顕著でした。

種別	人数	実習機関
介護福祉士	0名	0校
社会福祉士	0名	0校
看護師	0名	0校
教職員介護等体験	8名	2校
職業体験	0名	0校

(11) 人材育成(内部研修)

『内部研修』

職員のスキルアップの機会を設ける意味で毎月 1 回の内部研修日を設定

	研修項目
4 月	法令遵守（個人情報保護法）・職業倫理研修 （※法人の「倫理綱領・理念と目的」「日本介護福祉士会・社会福祉士会倫理綱領の行動規範」「個人情報保護法」確認）
5 月	身体拘束・プライバシー保護研修 （※身体拘束廃止への取り組み・指針確認（身体拘束ゼロ手引き活用）・権利擁護（高齢者虐待防止））
6 月	感染症研修（※嘔吐時の動きと役割確認・熱中症・食中毒・ノロウイルス基礎知識確認）
7 月	未開催
8 月	未開催
9 月	アクティビティ研修（※高齢者のアクティビティについて学ぶ）
10 月	緊急時研修（緊急時対応マニュアルの見直し）
11 月	介護技術研修（トランス方法、持ち上げない介護）
12 月	感染症研修（※看護師による感染症予防基礎知識の確認）
1 月	リスクマネジメント研修（※事故事例検討⇒送迎時の事故）
2 月	認知症ケア研修（視点の変換トレーニング）
3 月	事業計画説明

(12) 会議

毎月各 1 回のデイサービス会議、ケース会議を行いました。

【 デイサービス会議 】

⇒響会という法人の中での常勤職員という立場である以上、全職員が施設全体の方向性を周知する必要がある為、施設全体の情報・デイサービス単体の情報ならびに職員からの問題抽出・対策検討を主に会議運営を行う

【 ケース会議 】

⇒各職員に担当割を行い、介護予防通所・通所介護計画書を作成、介護保険更新月・区分変更・状態変化等の都度で評価・作成

《 日々の活動・イベント 》
 【 アクティビティ活動（上下肢機能維持運動など） 】



《 コグニサイズ 》で脳機能の改善・向上・維持・認知症予防！



（集中力・指先を鍛える活動）

【 趣味生きがい活動など 】



（※塗り絵）

（※押花・アクセサリー作り）

Ⅱ 好日苑ヘルパーステーション

令和4年度におきましては、住み慣れた地域で自立した生活と「安心と暖かさ」を感じ取れる生活を続けていただく為に【好日苑多機能型居宅介護】と称して、響会方程式を駆使した日常生活支援を「訪問」「通い」「宿泊」サービスを組み合わせ、また馴染みある職員が横断的・一体的にサービス提供を行うことを土台にして事業運営に取り組みました。

また、令和3年度と同じく、新型コロナウイルス感染症の発生・蔓延などに左右される訪問が続き、懸命に感染症対策・対応を講じておりましたが、残念ながら職員・登録利用者様の感染は防げませんでした。しかしながら、そこから感染拡大はせず、利用者様にもサービス休止などのご不便をお掛けする事無く対応できたことは幸いでした。

新型コロナウイルス感染症の5類移行を踏まえ、「ウィズコロナ」「アフターコロナ」の視点・観点の中、改めて「自立生活支援」に重点をおき、それぞれの状態・暮らしに沿った「自立」への支援を強化し、利用者様が心身共に「自立」に向けた取り組みができるよう専門性を持った働きかけと継続した支援をして参ります。

1. 『第6次中期経営計画を踏まえた令和4年度事業計画の重点施策』

利用者	① Wincareの有効活用(電子記録の共有) ② ターミナルケース等帯派遣(2時間ルールの弾力化を踏まえた柔軟な訪問)
職員	① 多機能型職員配置と土日勤務携帯の試験的開始 ② 認知症専門ケア関連加算新規算定(認知症介護実践者配置)
経営	① 居宅連携率 60%/年 ≫ 提責 2 名 130 時間+兼務 1 名 45 時間+登録 120 時間

【令和4年度の重点施策に対する評価】

「利用者様」

『ターミナルケース等帯派遣（※中重度者やターミナルケアも含めた柔軟かつ個々の生活パターンにあった「切れ目のない」サービス提供（帯派遣を可能にする土・日曜日派遣開始等））』は、令和4年6月から定期巡回池上長寿園24との一部業務委託を締結し、訪問介護と定期巡回サービスによる切れ目のないサービス提供を実施。

「職員」

『多機能型職員配置（デイ・ヘルプ兼務職員）』を毎週「週2日」兼務として固定配置
『土日勤務形態の試験的開始』を令和5年2月から先行して土曜日勤務・訪問開始。

「経営」

非常勤ヘルパー（※週4～5日勤務）を雇用・配置し、サービス提供/月240時間を上方修正。

2. サービス提供

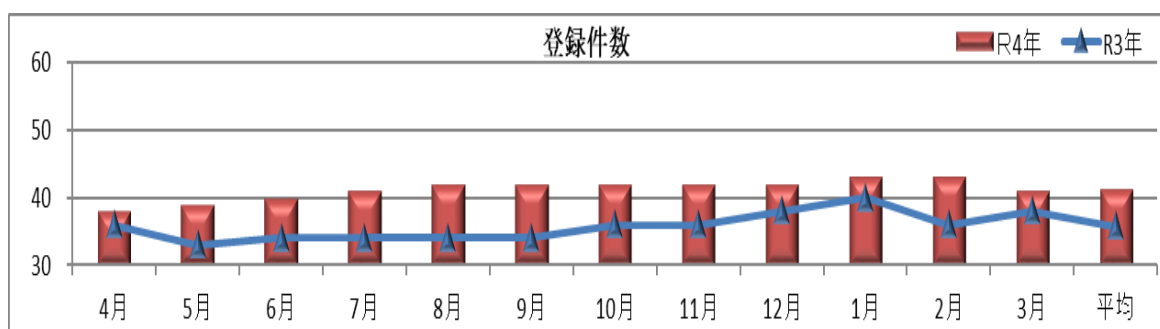
『稼動目標（※月平均240時間⇒300時間へ上方修正）』に対し、「サービス提供/月平均281時間」という結果となりました。

登録等実績につきましては、月内登録数に関しては年間通じて登録数の大きな増減はありませんでした。新規利用者様は昨年度より微増（+3件）ではありますが、年間20名（介護：14件、支援：6件）の受入が行え、定期巡回池上長寿園24からの一部業務委託による新規は6件、派遣時間割合は全体の17%を占めました。また、廃止数は13件で昨年度より減少しましたが、ご逝去（急逝）やコロナ関連による施設入居が主な要因でした。また、休止者は年間延べ14名と昨年度（38件）と比較して24件減となり、コロナワクチン接種が進み、感染症対応・対策の更新によるウィズコロナへの意識が強まり、結果昨年度の大半を占めた「訪問自粛」の緩和が要因と考えます。

このようなケースの移り変わりがあった中、年度当初の38名登録から最終的に登録数は41名に増加することができました。

(1) 登録・請求実績

	月内 登録	新規				廃止	休止	請求	
			介	予	有			実数	(内総 合)
4月	38	3	2	0	1	0	3	35	4
5月	39	1	1	0	0	3	1	35	4
6月	40	4	3	1	0	2	2	36	5
7月	41	3	2	1	0	0	2	39	6
8月	42	1	0	1	0	2	2	38	6
9月	42	2	2	0	0	2	0	40	6
10月	42	2	1	1	0	0	0	42	7
11月	42	0	0	0	0	1	1	40	7
12月	42	1	1	0	0	0	1	41	6
1月	43	1	1	0	0	1	1	41	6
2月	43	1	0	1	0	2	0	41	7
3月	41	1	0	1	0	0	1	40	7
延	495	20	13	6	1	13	14	468	71
平均	41.3	1.8	1.6	1.0	1.0	1.9	1.6	39.0	5.9

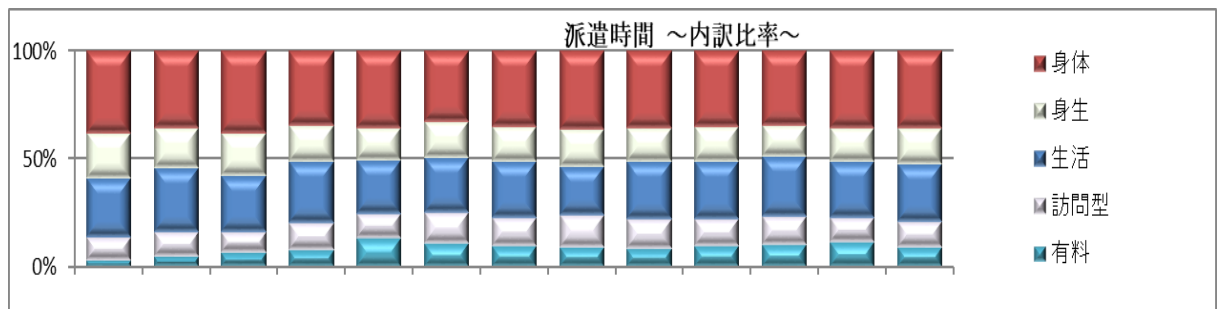
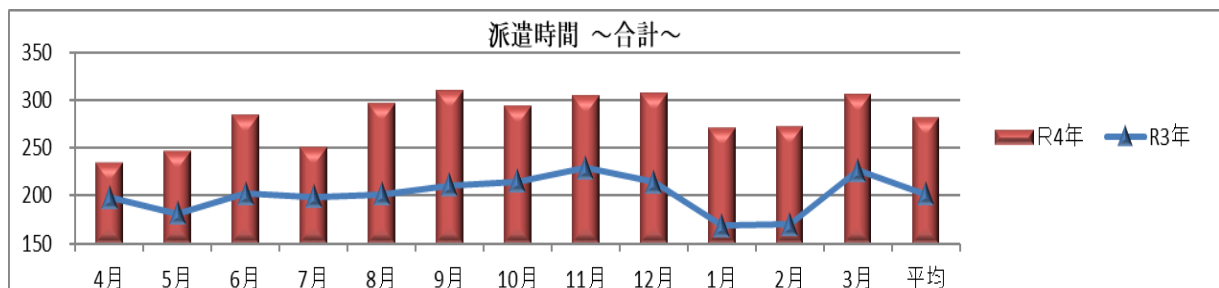


【廃止理由】

	要支援 1.2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
ご逝去	0	0	1	0	1	3	5
入 所	0	0	2	0	0	1	3
入 院	1	0	0	1	0	0	2
その他	1	0	1	0	1	0	3
合 計	2	0	4	1	2	4	13

(2) サービス提供実績

	稼動日	派遣時間	一部業務委託	派遣時間内訳						派遣件数(回)		平均介護度
				身体	生活	身生	訪問型	有料	1回あたり平均	合計	1日あたり平均	
4月	21	234.5		88.4	63.5	51.1	25.0	6.5	0.80	294	14.0	2.23
5月	22	246.2		88.0	73.3	45.5	28.3	11.2	0.78	314	14.3	2.23
6月	22	284.3	11.4	107.1	74.5	58.5	26.5	17.9	0.81	349	15.9	2.15
7月	21	250.2	16.0	85.4	72.2	43.3	30.0	19.3	0.81	310	14.8	2.24
8月	23	295.3	26.6	104.0	74.4	46.4	33.1	37.5	0.86	342	14.9	2.25
9月	22	309.4	24.1	101.4	79.1	53.3	42.5	33.2	0.87	357	16.2	2.28
10月	21	293.2	22.4	102.3	77.0	48.2	38.0	27.6	0.85	345	16.4	2.32
11月	22	304.5	21.5	109.1	70.1	54.4	44.3	26.7	0.86	356	16.2	2.28
12月	22	306.4	17.5	109.2	81.3	48.4	43.5	24.0	0.84	364	16.5	2.18
1月	20	270.1	19.4	93.5	72.4	46.2	32.5	25.6	0.87	310	15.5	2.20
2月	20	271.1	19.0	92.1	76.4	41.1	34.1	27.5	0.87	313	15.7	2.18
3月	23	305.4	25.6	108.2	80.5	49.3	34.2	33.3	0.87	351	15.3	2.13
延	259	3371	203.5	1188.5	894.6	585.5	411.8	290.3	10.09	4,005	186	26.68
平均	21.6	280.9	20.3	99.0	74.5	48.8	34.3	24.2	0.84	334	15.5	2.22



3. 利用者様個々に合った相談支援と連絡・連携

サービス提供責任者によるモニタリング訪問と介護支援専門員等との情報提供・共有による連携、サービス担当者会議への参加は年間計「43回」でした。

また、定期巡回池上長寿園 24 一部業務委託との連携では、専用の携帯端末による入退室管理、介護ソフト（スマケア）と専用携帯端末によるサービス提供記録入力を行い、迅速な情報提供・共有を図りました。

そして、柔軟かつ利用者様の安心につながる訪問スケジュールを可能にする為、多機能型職員をデイ・ヘルプ共通登録利用者様への訪問登録、また土曜日派遣開始によって横断的・一体的にサービス提供を行う体制と連携に取り組みました。

【サービス担当者会議参加状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	0	2	4	4	3	3	5	2	4	5	4	7	43

4. 研修

月	研修項目	内 容
4 月	法令遵守と職業倫理 (※ヘルパーマニュアル確認)	各団体倫理綱領に基づき学び、ホームヘルパーとしてのマナーを習得する
5 月	権利擁護・プライバシー保護と接遇、ヤングケアラー、ヘルパーマニュアル確認	権利擁護・身体拘束に対する基本知識の習得とサービス提供におけるプライバシーを学ぶとともに、接遇マナーを確認。
6 月	食中毒・熱中症研修	基礎知識とヘルパーが知っておきたい医療知識の習得を行い、熱中症、食中毒・新型コロナウイルスについての理解・対応を踏まえ、訪問時の利用者状態の気付きを共有する
7 月	※新型コロナウイルス感染症関連で非開催※	
8 月	腰痛予防研修	腰痛のメカニズム、腰痛予防の具体策について学ぶ
9 月	緊急時対応（緊急時事例共有）	今まで訪問介護をしてきて、緊急・救急を要する事態など経験したことを紙に書き出し、グループディスカッションを行う。
10 月	実技研修（おむつ交換）	排泄のメカニズムを知り、高齢者が抱える排泄の課題確認。また、おむつの当て方を実技にて確認し、当て方によるトラブル発生事例を知る。最後に高齢者が起こしやすい排泄に関連した感染症を知る。
11 月	感染症（インフルエンザ・ノロウイルス・コロナウイルス）予防対策	流行時期に入る前に感染症の基礎知識ならびに感染経路・予防対策の確認を行う
12 月	リスクマネジメント	在宅介護の現場で生じやすいリスクをまず共有し、そのリスクをどう把握・情報収集・リスク軽減に努めるのか。それでも起こってしまった事故等に対する対処法を一連の流れで学ぶ。
1 月	認知症について	認知症疾患の種類、症状の理解を深め、予防と早期発見・認知症の進行に合わせた支援方法等について学ぶ。
2 月	介護記録について	居宅介護計画書、訪問介護計画書を踏まえた、介護記録の書き方のポイントを学ぶ。
3 月	令和 4 年度事故報告書の振り返り・令和 5 年度事業計画（案）について	令和 4 年度事故報告書を振り返り、次年度に向けた課題整理を行う。また、令和 5 年度事業計画（案）説明。

Ⅲ 好日苑ケアプランセンター

令和4年度におきましては、異動職員を迎えて専任介護支援専門員4名体制でスタートしました。新人育成と並行し部署全体の底上げを図り、上半期には最大給付実数をするしました。異動職員は上半期中に担当件数の目標値達成し、給付実数も年間平均を目標値維持して終えることが出来ました。

令和3年度の介護報酬改定において、「ケアマネジメントの質の向上と公正中立の確保」として特定事業所加算の見直しがなされ、ケアマネジメントの公正中立を図る観点から利用者へ説明とともに介護サービス事業所公表制度において公表を求めることが提示されました。また、ICT活用の逡減制や新たな医療連携加算増設の動きを意識し、特定事業所加算Ⅱ取得事業所として求められるあるべき姿へむかう事を強化した一年でした。

そして、大田区実地指導検査や東京都福祉サービス第三者評価においても、コンプライアンス遵守への対応がきちんに行えていることを確認出来、今後も地域の事業所の見本となるように利用者様へ向いたケアマネジメントを行っていきます。

また、介護予防サービスを提供する事業者の質の高いケアの確保及び利用者の取組意欲の向上を図ることを目的に実施する「第2期おおた介護予防応援事業」では、第1期に続き、優秀賞を受賞し職員それぞれが活躍しモチベーションをあげる事が出来ました。

令和5年度は、来たる令和6年度報酬改定へむけて、感染症や災害への対応力強化を図りつつ、好日苑のメリットを最大限に活かし、馴染みの職員から切れ目ないケアで安心と暖かさを提供し、住み慣れた地域で最期まで暮らしていく利用者ファーストの原点にもどりマネジメントを展開していく所存です。

1.『 第6次中期経営計画を踏まえた令和4年度事業計画の重点施策 』

利用者	① 好日苑多機能型居宅介護としてのCPC会議の充実 ② 医療機関との連携(積極的なプラン受入れ)
職員	① 特定事業所としてのエリア内事業者へのファシリテーター機能・地域創りへの参画 ② 特定事業所加算Ⅱ算定(介護支援専門員4名体制) ③ 好日苑多機能型居宅介護のプラットフォーム実践のための先手のアセスメントと舵取り
経営	① 居宅連携率70%/年 ≫ デイサービス・ヘルプサービス・ショートステイ ② 介護支援専門員1名35件/月

【令和4年度の重点施策に対する評価】

「利用者様」

- ① 週1回のCPC会議を定期開催し連携ケースの抽出、素早い情報共有により介護展開が可能となった。
- ② 退院、退所、新規相談に対し管理者と担当2名体制の受入による連携強化を図る。ICT活用し積極的にカンファレンス参加。

「職員」

- ① 調布地域介護支援専門員連絡会、他居宅介護支援事業所事例検討会の開催(好日苑相談室)、大森個別ケア会議参加(主任介護支援専門員)、NPO 法人大田区介護保険支援専門員連絡会におけるケアプラン点検事業の参加(主任介護支援専門員)
- ② 算定要件可
- ③ 新規受け入れ2名体制のアセスメントと在宅(好日苑多機能型居宅介護)会議におけるケース検討を実施

「経営」

- ① 居宅連携率(※特定事業所集中減算確認より)
上半期→デイサービス:49.1% / ヘルプ:52.3% / ショートステイ:73.5%
下半期→デイサービス:54.6% / ヘルプ:53.1% / ショートステイ:65.4%
- ② 1名 35.2件/月(予防0.5換算)

2. 適切な相談支援

(1) 訪問によるトータル的な状況把握

訪問を基本とした状況把握の推進に加え、サービス提供事業所との電話連絡等による情報収集により、苦情もなく、利用者・家族のニーズを踏まえた自立を目的とした円滑な支援を行い、ケアプラン作成時には分かりやすい説明と同意を得ることができました。

【運営減算】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) 適切な給付管理と実績管理

「登録数に対し 90%前後の実数」を目標に毎月の徹底した数字管理と台帳整理を行いました。

具体的には、登録数を平均 150 件前後（うち要支援認定 15%程度）とし、積極的に新規を受け入れ、休止状況（ケース中身）で廃止管理を実施。また、個々のケアマネジャーがケアマネジメントに専念できる業務工夫を並行して行った結果、専任ケアマネジャー4名体制にて、予防給付を適正な 0.5 換算（1 件にとらえず）で 1 人の登録数は 35.2 件、毎月の給付管理実績は平均 141 件と目標値管理に成功しパフォーマンスをあげることが出来ました。

介護分布においては、介護 3 に注目し中重度を 50%台まで引き上げることができました。それによりケアプラン単価の上昇となりました。

【登録件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
介護給付	130	128	129	131	132	128	129	131	131	130	132	129	130
予防給付	24	21	21	21	20	21	22	21	21	21	22	23	21.5
合計	154	149	150	152	152	149	151	152	152	151	154	153	151.5

【給付管理実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
介護給付	116	117	119	128	122	121	122	124	121	121	122	120	121
予防給付	19	20	20	20	19	19	20	20	20	20	21	21	20
合計	135	137	139	148	141	140	142	144	141	141	143	141	141

【要介護度】

月	介護度分布															
	介護 1		介護 2		介護 3		介護 4		介護 5		支援 1		支援 2		平均	介護 3.4.5
4 月	40	30%	38	28%	27	20%	15	11%	10	7%	14	10%	10	7%	2.77	44.8%
5 月	40	29%	38	28%	27	20%	13	9%	10	7%	11	8%	10	7%	2.58	42.7%
6 月	37	27%	39	28%	27	19%	14	10%	12	9%	12	9%	9	6%	2.64	44.5%
7 月	39	26%	38	26%	29	20%	15	10%	10	7%	11	7%	10	7%	2.46	42.2%
8 月	41	29%	38	27%	29	21%	14	10%	10	7%	11	8%	9	6%	2.56	43.4%
9 月	41	29%	34	24%	32	23%	11	8%	10	7%	11	8%	10	7%	2.51	43.8%
10 月	41	29%	33	23%	33	23%	12	8%	10	7%	11	8%	11	8%	2.53	45.1%
11 月	43	30%	32	22%	33	23%	13	9%	10	7%	10	7%	11	8%	2.50	45.2%
12 月	38	27%	30	21%	37	26%	15	11%	11	8%	10	7%	11	8%	2.70	52.1%
1 月	40	28%	29	21%	35	25%	15	11%	11	8%	11	8%	10	7%	2.65	50.4%
2 月	41	29%	27	19%	37	26%	16	11%	11	8%	12	8%	10	7%	2.69	52.5%
3 月	41	29%	28	20%	36	26%	17	12%	7	5%	13	9%	10	7%	2.61	50.0%

【廃止】

廃止件数合計は 52 件、4 年度の新規は 55 件と IN、OUT の台帳整理を細やかに行えた結果となりました。総数が多い分、各介護分布の数字も高いが、近年と比較して廃止理由の顕著な変化はないとみてとれます。ケースの中身は、暮らしの方向性の見通しをたてて、利用者・家族が選んで決定していく事ができ、在宅からの急な転換や、長期わたり先行きが不透明な状況はみられませんでした。

	要支援 1.2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
ご逝去	1	2	6	1	5	5	20
入 所	0	3	5	7	5	2	22
老 健	0	0	0	1	0	0	1
長期入院	0	0	0	1	0	0	1
その他	3	2	1	0	1	1	8

(3) 要介護・要支援認定訪問調査の受託

受託先：大田区、品川区、横浜市

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
件 数	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	3	1	7

3. 連絡連携

(1) サービス担当者会議の開催(主治医や医療機関含む)

ICT を活用した非対面式の面談という新たな選択肢が増えたことで退院、退所時のカンファレンスにおいて、オンライン形式を活用して積極的参加することができました。

【回 数】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
R3	13	22	20	20	16	19	20	25	23	8	19	20	225
R4	28	18	23	25	24	21	20	30	21	13	12	19	254

(2) 円滑な関係機関との連携と情報交換

連絡会等、積極的に参加し地域ニーズの把握とコンプライアンスを心掛け、適正な運営と支援に努めました。

- (ア) 介護支援専門員連絡会の参加
- (イ) 雪谷・上池けあまねっとの参加
- (ウ) 大田区事業所連絡会の参加

(3) ケアプランセンター(CPC)伝達・検討会議

特定事業所加算の取得に伴い、週 1 回 毎週金曜日を原則に、ケース検討及び制度等の情報共有を行い、内部連携を強化しました。

4. 人材育成（質の向上）

【 行政や医療機関が主催する地域ケア会議・支援会議・勉強会等への積極的な参加・参画 】

個々の専門性向上へむけた研修の参加により質の向上を図り、例年にわたる調布地域介護支援専門員連絡会を4年度も立候補し大田区と共に地域の介護支援専門員の底上げに参画致しました。

【 実習生受入 】

感染症予防から中止していた東京都介護支援専門員実務研修実習1名の受け入れも行い、特定事業所加算取得事業所として地域の介護支援専門員の育成も担う事が出来ました。

【 研修内容 】

この数年間に感染症防止の観点から研修様式が変化してきた結果、オンライン、オンデマンド等々の集合型によらない形がふえ、効率的に参加できる状況となっています。選択可能な研修もあり、多様な形式に対応できるICT環境を整えることで参加機会は増加し、ケアマネジメントの質の向上へ繋がる事ができました。（過去5年間において最大数参加）

近隣の居宅支援事業所5社と共同した事例検討会・研修では、特定事業所加算取得事業所を意識して中心的な役割を担い地域貢献を致しました。今後も主軸となる事業所を目指してまいります。

研 修	主催	目 的
令和3年度大田区介護保険事業者連絡会（第1・2回）	大田区	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催中止
2022年度第1回 大田区介護支援専門員全体研修	大田区（オンライン形式）	ケアマネジメントにおける権利擁護について学ぶ～8050問題、不十分は会議、高齢者虐待を通じて
2022年度第2回 大田区介護支援専門員全体研修	大田区（オンライン形式）	ケアマネジメントのポイント～改正通知の理解
2022年度第3回 大田区介護支援専門員全体研修	大田区（オンライン形式）	人と障害をICFの観点で理解する～ひき算から足し算の考え方へ
2022年度第4回 大田区介護支援専門員全体研修	大田区（オンライン形式）	在宅介護の限界点を高める～在宅を諦めないプランをつくる
2022年度第5回 大田区介護支援専門員全体研修	大田区（オンライン形式）	みんなで学ぼうケアプラン点検
令和4年度第1回大田区調布地域福祉課介護支援専門員連絡会	調布地域介護支援専門員連絡会 嶺町集会所	選択肢としての民間施設
令和4年度第2回大田区調布地域福祉課介護支援専門員連絡会	調布地域介護支援専門員連絡会 嶺町集会所	人生の最終段階を支えるケアマネに贈るエール
NP0 法人大田区介護支援専門員連絡会 第1回 懇談会	NP0 大田区介護支援専門員連絡会（オンライン形式）	特定事業所懇談会～日々の業務内容について語ろう
NP0 法人大田区介護支援専門員連絡会 第2回 研修会	NP0 大田区介護支援専門員連絡会（オンライン形式）	ケアマネジャーが知っておきたい法律知識～カスタマーハラスメント対策について
2022年度 タウンミーティング	NP0 大田区介護支援専門員連絡会 大田分化の森	居宅介護支援事業所のBCP作成にむけて

大田区介護保険事業者等研修	大田区（オンライン形式）	「訪問看護の制度について」
大田区福祉部福祉管理課	大田区（オンライン形式）	要配慮者のためのマイタイムライン講習会
大田区総合事業 事業者 YOUTUBE 研修	大田区（オンライン形式）	大田区総合事業ガイドブック、ケアマネジメントマニュアル、おた介護予防応援事業
雪谷・上池地域包括ケアの会	上池台包括支援センター（オンライン形式）	「新型コロナウイルス感染症第7波を振り返る～良いチーム作り(多職種連携)について考えよう～」
令和4年度 雪谷地区民生委員協議会	上池台包括支援センター 雪谷特別出張所	「雪谷地域連携懇談会」（雪谷自治会・池の台自治会・小池自治会）
「適切なケアマネジメント手法」普及推進セミナー 株式会社日本総合研究所	東京都（オンライン形式）	「適切なケアマネジメント手法」普及推進セミナー、時代が求めるケアマネジメントのあり方と実践」
令和4年度 介護サービス事業管理者高齢者権利擁護研修	東京都 ルミネこだいら 大ホール	高齢者虐待防止研修
東京都介護支援専門員実務研修実習受入	東京都福祉保健局 好日苑居宅支援事業所	実務研修実習実施の詳細
「特定事業所加算取得事業者」間研修	共同開催 好日苑相談室	近隣の居宅介護支援事業所5社共同にて事例検討会開催
個別レベル地域ケア会議	馬込包括支援センター大森庁舎	「独居高齢者の支援」ゴミ屋敷困難事例について
令和4年度認定調査員新規研修	大田区大田区オンデマンド	eラーニングシステムを活用した新規認定調査員研修
東京都介護支援専門員専門研修Ⅰ	東京都福祉保健財団（オンライン形式）	実務1年未満を対象とした専門研修
東京都介護支援専門員専門研修Ⅱ	総合健康推進財団（オンライン形式）	実務3年以上を対象とした専門研修
東京都主任介護支援専門員更新研修	東京都介護支援専門員研究協議会 集合型	現任の主任介護支援専門員対象の更新研修

5. 会議

会 議	内 容	
在宅会議	毎月の開催により、経営状況と課題抽出と対応検討、情報共有を行った。	
ケアプランセンター会議（CPM）	居宅マニュアルの改正、制度勉強会、事例検討、基礎知識の確認等、情報及び知識の共有を図った。	
	4 月	前月実績報告、法令遵守と職業倫理・介護報酬改定について
	5 月	前月実績報告、令和 4 年度事業計画・食中毒、熱中症、感染症研修
	6 月	前月実績報告、身体拘束とプライバシー（虐待について）
	7 月	前月実績報告、緊急時対応（※令和 4 年度「要配慮者のためのマイタイムライン講習会」フィードバック研修）
	8 月	前月実績報告、事例検討（医療ニーズに対する相談支援）
	9 月	前月実績報告、支援記録・ケアプランの重要性和記録・作成を学ぶ
	10 月	前月実績報告、認知症の基礎知識ならびに実践的な支援方法の習得
	11 月	前月実績報告、保健医療福祉の基礎知識（ケアプラン点検について・標準様式通知の改正）
	12 月	前月実績報告、リスクマネジメント（相談援助における事故・苦情・再発防止）
	1 月	前月実績報告、困難ケースの相談支援①
	2 月	前月実績報告、困難ケースの相談支援②
	3 月	前月実績報告、令和 5 年度事業計画の確認・居宅マニュアル確認

包括部門

令和4年度は、令和5年度より本格化する「重層的支援体制整備事業」を意識し、地域包括支援センターは、高齢者と、その世帯等が抱える複合的な課題を包括的に受け止め、ケース対応、重層的支援会議等への参加を行ってまいりました。「馬込」「南馬込」については、大森地区が「重層的支援体制整備事業」のモデル地区になったことから、重層的支援会議へ事例提供を行い、多分野の機関と連携する機会を多く設けることが出来ました。他のセンターにおいても、関係機関と連携し、利用者・地域の支援体制を強化し、「その人らしく、安心して暮らせる地域づくり」に努め、地域包括ケアシステムの発展・大田区版地域共生社会の実現に向けて、取り組んでまいりました。

また、「六郷」「西六郷」については、受託5年目となり「（六郷地区）大田区地域包括支援センター業務委託事業者評価選定」を受けました。主に、六郷地区における「水害対策」「フレイル予防」に取り組んできたことについて評価をいただき、結果、両センターとも、評価結果A 評定良となり、令和5年度以降も受託が適当であると評価を得ました。引続き、地域の方々に信頼される地域包括支援センターとなるよう、事業運営に努めてまいります。

I 大田区地域包括支援センター上池台／嶺町／六郷／西六郷／馬込／南馬込

1. 総合相談、支援業務

前年度と比べ、相談総数の大きな変化はありませんでしたが、各センターとも来所数増、新規相談増の傾向となりました。コロナ禍ではありますが、緊急事態宣言がないため、通常に近い対応となり、相談者がためらわず来所されたのではと考えます。

介護保険制度、福祉サービスの利用についての相談が主となりますが、家族問題・虐待・金銭問題・近隣トラブルなど、相談内容・課題は多岐に渡り対応しました。

【相談件数】

	上池台	嶺町	六郷	西六郷	馬込	南馬込
相談件数 総数	15,937	6,802	12,673	7,037	6,937	9,202
総数のうち新規	538	303	723	283	319	338
総数のうち来所	1,363	1,684	3,470	1,394	1,165	1,302
総数のうち電話	11,712	4,301	7,301	4,657	4,452	6,465
総数のうち訪問	1,609	611	1,207	853	881	803
総数のうちその他	1,253	206	695	133	439	632

2. 権利擁護、虐待の早期発見・防止

権利擁護に関する相談件数は、前年度同様、虐待に関する相談が多い状況でした。各センターとも、常に数件の虐待対応相談を抱えている状況で、多い時は月に3～4件の発生がありました。地域福祉課等と協力し対応を行いました。

権利擁護に関わる相談について、権利擁護事業・法律相談を活用し、成年後見センター、消費者センター、行政、介護保険事業所等と協力し対応しました。虐待、消費者被害、権利擁護に関する相談は、知識・スキルとも高い相談援助技術が求められますが、職員のスキルアップを行い、利用者の安心した暮らしが確保できるよう支援を行いました。

【権利擁護等に関する相談件数】

	上池台	嶺町	六郷	西六郷	馬込	南馬込
虐待に関する相談	252	45	317	158	180	144
消費者被害に関する相談	92	3	16	5	11	17
権利擁護に関する相談	451	123	365	171	72	126

3. 認知症高齢者支援

認知症高齢者支援として、情報提供、医療やサービスにつなげる支援を行いました。また、認知症の正しい理解を地域に広める活動として、「認知症サポーター養成講座」を実施しました。地域で認知症の方とその家族を支える体制構築となる「チームオレンジ」への取り組みについても、認知症サポーター ステップアップ講座の企画・開催に取り組みました。

「認知症カフェ」は、感染症対策に努め、集会型で行いました。地域の方が、顔が見える、語り合える場となりました。

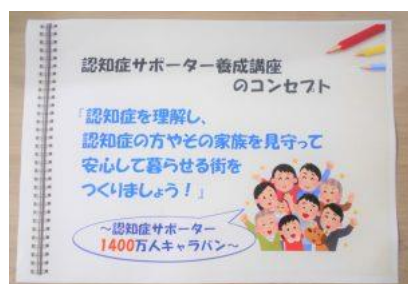
【認知症に関する相談/認知症サポーター養成講座開催数】

	上池台	嶺町	六郷	西六郷	馬込	南馬込
認知症に関する 相談件数	1249	520	867	685	469	347
認知症初期集中 支援チーム員事 業 相談件数	1（終了） 延べ3件	1	0	0	0	0
認知症サポータ ー養成講座開催 数／延べ参加者 数	4回/73名	2回/21名	2回/42名	2回/22名	2回/22名	2回/17
			1回/29名 共催			

〔上池台・嶺町・六郷 各地区特別出張所にて〕



〔西六郷 プラウドシティ大田六郷にて〕



〔馬込・南馬込 特別出張所にて〕



【認知症カフェ開催状況】

	上池台 オレンジカフェ 上池台和の輪	嶺町 オレンジカフェ嶺町 スタイル	六郷 笑顔の会 (六郷)	西六郷 ぶらっとカフェ (西六郷)	馬込 オレンジカフェ馬込	南馬込 金曜日の オレンジカフェ (南馬込)
開催数	12 回	12 回	12 回	12 回	11 回	5 回
延べ 参加者数	142 名	84 名	208 名	218 名	123 名	15 名

〔オレンジカフェ上池台 和の輪〕



〔オレンジカフェ 嶺町スタイル〕



〔笑顔の会〕



〔ぶらっとカフェ〕



〔オレンジカフェ馬込〕



〔金曜日のオレンジカフェ〕



4. 介護予防支援事業

介護予防給付・介護予防ケアマネジメントにおいては、総数の変化がないセンターと減少したセンターがありました。認定延長措置を利用した方も多く、結果要介護へ移行したため、予防プラン数減に至ったと考えます。

令和2年度より受託した「馬込」「南馬込」は、予防プランの自作成が多く、当初約40%であった委託割合を、80%代までに増やすことができました。他のセンターも委託率アップ傾向となりました。引続き、近隣の居宅介護支援事業所と連携を図り、委託率アップに努めていきます。

【介護予防給付・介護予防ケアマネジメント数】

	上池台	嶺町	六郷	西六郷	馬込	南馬込
年間給付総数	3,618	1,562	3,091	1,399	1,792	1,487
総数のうち包括作成	292	80	78	15	210	266
総数のうち委託作成	3,326	1,482	3,013	1,384	1,582	1,221
年間委託割合	92%	95%	97%	99%	88%	82%
総数のうち新規	130	39	121	49	45	61
総数のうち廃止	150	57	95	69	60	42
総合事業サービス 終了者数	1	0	7	0	6	0

【参考：センター管内高齢者人口等】

令和5年4月1日 現在	上池台	嶺町	六郷	西六郷	馬込	南馬込
エリア内高齢者人口	12,658	5,648	11,893	4,973	5,533	5,757
エリア内総人口	61,451	26,121	67,494		56,882	
エリア内高齢化率	20.6%	21.6%	25.0%		19.8%	

5. 包括的・継続的ケアマネジメント支援

介護支援専門員支援件数は、ほぼ前年度同様となりました。内容は、困難ケース、虐待対応ケースの支援が主になっています。また、個別レベル地域ケア会議の参加を呼び掛ける等し、介護支援専門員と関係機関との連携を働きかけました。

引続き、関係強化のために、介護支援専門員との連絡会を行いました。六郷・西六郷では、地域の介護支援専門員と民生委員の懇談会を設け、包括的・継続的ケアマネジメントの体制構築に努めました。

【介護支援専門員支援件数】

上池台	嶺町	六郷	西六郷	馬込	南馬込
1,502	688	1,055	1,152	1,185	323

【介護支援専門員との連絡会】

	上池台 雪谷・上池けあまねっと	六郷・西六郷 六郷地区介護支援専門員連絡会	馬込・南馬込 ケアマネカフェまごめ
開催数	1回	6回	4回
延べ参加者数	22名	170名	72名

〔雪谷・上池けあまねっと〕



〔六郷地区介護支援専門員連絡会〕



〔ケアマネカフェまごめ〕



6. 高齢者見守りネットワークの充実

令和3年度までは、コロナ禍にて「見守りキーホルダー出張登録会」自体を、地域の方々が敬遠される様子がありましたが、令和4年度は、見守りキーホルダー出張登録会を行うことができました。「見守りキーホルダー」の新規申請数が増となり、「見守り」を本人、地域が意識する機会となりました。継続実施していきます。

また、地域の高齢者の見守りとして、実態把握事業を行いました。各センターとも電話や訪問にて実施、地域包括支援センターや高齢福祉サービスの周知を行いました。

地域活動は、地域の関係機関と連携し、フレイル予防、自主グループ支援、介護家族支援など、様々な事業に取り組みました。自治会・町会、民生委員児童委員協議会、地域団体、出張所、医療機関等、多くの関係機関と連携し事業を行うことで、高齢者を見守りネットワーク構築を進めることができました。

【見守りキーホルダー事業】

	上池台	嶺町	六郷	西六郷	馬込	南馬込
見守りキーホルダー新規登録	250	113	187	163	204	198
見守りキーホルダー更新登録	524	130	701	354	296	361
見守りキーホルダー照会件数	32	11	32	19	12	13
出張登録会	6	1	1	1	合同2	

見守りキーホルダー出張登録会

〔上池台 笹丸自治会／洗足区民センターさくらフェスティバル〕

〔馬込・南馬込 特別出張所〕



【高齢者実態把握事業】

上池台	「生きいきレポート '22」	
	対象者 80名	包括に台帳があり、令和以降、包括に記録がないケースの中から介護認定をうけていない65歳以上の高齢者
	把握実績 76名	包括の周知とハイリスク高齢者の早期発見・早期対応を目的とし、介護保険新規申請や高齢者見守りキーホルダー登録につなげた。
	高齢者熱中症予防訪問事業	
	対象者 12名	78歳から79歳のひとり暮らし登録者 生保、障害、介護、包括との関りの無い高齢者
	把握実績 12名	見守りキーホルダー 登録2名、情報提供8名、 電話、訪問にて安否確認、実態把握を行った。

嶺町	「笑顔で訪問 2022」	
	対象者 25 名	台帳登録されている 65 歳～79 歳の単身高齢者のうち、サービスにつながっておらず、相談履歴が 1 年以上の関りのない方。昨年実施した地域以外を対象地域とした。
	訪問実績 19 件	電話訪問を含め、アンケートの回収率は 76%（19 件）。コロナ禍のため、訪問に繋がらないケースでもアンケートの協力は得られた。住まい差外の相談や、仕事探しの相談に対し、担当窓口を案内した。長引くコロナ禍が今後影響を及ぼしそうな高齢者がおり、今後も見守り活動に繋がっていききたい。
	「嶺町地区避難行動要援護者水害地域該当者訪問」	
	対象者 10 名	避難行動要援護者名簿登録者のうち、水害地域に該当する西嶺町地域（前年度は田園調布本町・田園調布南地域を対象地域とした）の対象者宅を民生委員と包括と対象者を分けて訪問実施。災害時の備えや避難場所・方法などを聞き取りと、対象者の実態把握を行う。
	訪問実績 10 名	民生委員と包括職員が 2 人 1 組で訪問を実施。台風被害を受けた地域の訪問の為、コロナ禍でも訪問受け入れあり、災害時の避難場所や避難手段、備えなど具体的なことがらの確認が出来た。
	「未把握高齢者実態把握訪問」	
	対象者 120 名	「未把握高齢者訪問調査対象者リスト」より、田園調布本町・田園調布南の 80 歳以上（高齢世帯は全員が 80 歳以上であること）を抽出し、訪問。ひとり暮らし 60 名、高齢世帯 30 世帯を対象とした。
	訪問実績 53 件	家族と同居している、もしくは同居と思われる（表札が 2 つ出ているなど）、実際はひとり暮らしではない方が 4 割近くと多かった。高齢世帯は、同居者がいて困っていないことが多かった。
六郷	「高齢者熱中症予防事業」	
	対象者 31 名	大田区が抽出したひとり暮らし登録のある男性 76～78 歳、女性 83 歳のうち、包括の関わりがないまたは薄い高齢者 31 名に対して、熱中症予防啓発の訪問を行い、実態把握と共に包括の周知を行った。
西六郷	「高齢者熱中症予防事業」	
	対象者 7 名	76～78 歳男性、83 歳女性のうちひとり暮らし登録あり、障害者手帳なし、介護認定なし、生活保護受給なしのうち、1 年以上相談履歴のない高齢者。
	把握実績 7 名	直近の関りはなくとも包括をご存じの方が多く、大きな困りごとなく生活されている方がほとんどだった。
	「西六郷ひとり暮らし高齢者電話・訪問」	
	対象者 135 名	「未把握ひとり暮らし高齢者、未把握高齢者のみ世帯一覧表」を活用し、包括と関りのないひとり暮らしや高齢者世帯を抽出した。
	把握実績 100 名	資料を事前に郵送後、訪問や電話でアンケートを実施。包括や包括事業の周知などを行った。介護保険申請や見守り KH の新規申請につながるケースも複数あった。
馬込	R4 年度未把握高齢者実態把握調査	
	対象者 61 名 8 世帯	「未把握ひとり暮らし高齢者、未把握高齢者のみ世帯一覧表」を活用し、85 歳以上（高齢世帯はともに 85 歳以上）で包括相談歴なし、施設入所者を除く者を実態把握した。
	把握実績 50 名 5 世帯	直接訪問、民生委員からの聞き取りによるアプローチ、資料郵送等を行なった。31 名と直接会い、35 名の家族同居を把握し、包括や見守りキーホルダーを周知し 7 名新規登録につながった。

南馬込	R4 年度未把握高齢者実態把握調査	
	対象者 60 名 19 世帯	「未把握ひとり暮らし高齢者、未把握高齢者のみ世帯一覧表」を活用し、85 歳以上（高齢世帯はともに 85 歳以上）で包括相談歴なし、施設入所者を除く者を実態把握した。
	把握実績 48 名 17 世帯	調査内容：自分の健康について、日常生活で不安に感じていること、外出頻度、相談者の有無等。 結果：見守りキーホルダー登録に繋がる、シニアステーション新規で利用を始める等の成果となった。90 歳の閉じこもり高齢者が現在シニア ST にて囲碁のお相手を務めることで、社会参加のきっかけとなったケースあり。

【地域活動】

	参加団体	支援内容
上池台	健幸ライフ（南雪谷自治会）	活動支援・会議参加・講座実施等
	雪谷地区自治会連合会	
	雪谷地区シニア会連合会	
	フレンズカフェ	
	シニアオープンカレッジ	
	シニアレッスン	
	上池台くるるの会	
	ほっとスマホステーション（雪谷ほっと会）	
	気晴らし会	地域の介護家族会の支援
	介護家族会連絡会	
	あした会	
	洗足区民センター運営協議会	
嶺町	荏原病院認知症疾患医療センター連携協議会/荏原病院認知症教室	関係各所との連携会議/活動支援
	みねまちポールウォークの会	参加・活動支援
	嶺町地区学校防災活動拠点訓練	
	東邦大学大森病院 いえラボ「暮らしの保健室」	
	東久自治会「新さわやか健康クラブ」	参加・活動協力
	クイズラリー	嶺町特別出張所の事業参加協力
	みたけクラブ	
	嶺町地区子ども食堂	活動協力
	子育てサークル	
	ケアマネミニ連絡会（グリーンカフェ）	活動支援・協力
	特定加算算定居宅支援事業所勉強会	
	みのり会	介護予防教室の実施
	大田田図書館「フレイル予防」展示	啓発活動 参加・活動協力
	嶺町地区合同パトロール	
	嶺町文化センターまつり	
	生き生き安心プロジェクト	

六郷 西六郷	ご縁ネット	活動支援・参加・講座実施等
	いきいき体操(六郷地区町会婦人部合同)	
	ポール de ウォーク松の楽校Ⅲ	
	スマイル・65	
	たんぽぽの会	
	きさらぎ会	
	六郷 男の居場所	
	南六郷2丁目 UR 団地介護予防教室	
	ハイビスカスクラブ	
	さくら会	
	かるがる体操	
	ゆると折り紙	
	待ってるよ～2020 西六	
	認知症と転倒予防教室フラミンゴ	活動協力
	フラミンゴのお薬相談会	
	青空健康体操	
馬込 南馬込	グリーフカフェ・ガーベラ	地域の介護家族会の支援
	馬込長生会定例会	活動支援・参加・講義等
	ポール de ウォーク馬込文士村Ⅰ・Ⅱ楽校	
	馬込文士村散歩&福祉体験情報コーナー	
	まごめ医療連携懇談会	
	ケアマネカフェまごめ	
	鳩友会	活動支援・参加・ミニ講座実
	ふみ月会	
	元気でいきいき(通いの場)	通いの場立ち上げ支援
	ケアラーの集い	介護家族会の支援
	馬込九町会合同防災訓練	参加・活動協力
	貝塚中学校学校防災活動拠点会議	
	シニアクラブ「馬込つくも会」	活動支援・参加・講義等
	くらし健康あんしんネットおおた公開講座 「介護の入口 どう予防する？」	
	「まちかど相談会」	

【地域講座等(区民/事業者向け)】

	開催日	内容	参加人数
上池台	5/10	雪谷ほっと会 生活リハビリテーション講座 (ZOOM+ YouTube 配信) in 東雪谷東中自治会館	8名
	9/27	雪谷ほっと会 生活リハビリテーション講座 (ZOOM+ YouTube 配信) in 東雪谷東中自治会館	8名
	5/31	自主民教 「認知症」	30名
	6/15	上池台くるるの会 「高齢者の熱中症予防」	6名
	7/20	上池台くるるの会 「コロナウィルスって? 正しく知って予防」	4名

	8/17	上池台くるるの会 「夏の思い出」	7 名
	9/21	上池台くるるの会 「認知症！みんなで学べばこわくない」	7 名
	10/19	上池台くるるの会 「薬の正しい使い方とかかりつけ薬剤師」	7 名
	11/16	上池台くるるの会 「ポッチャ体験会」	6 名
	12/21	上池台くるるの会 「筋肉の話」	7 名
	1/23	上池台くるるの会 「ハンドクリーム作りとハンドマッサージ」	9 名
	2/15	上池台くるるの会 「栄養について」	10 名
	3/15	上池台くるるの会 「終活セミナー」	10 名
	6/24	シニアオープンカレッジ 「熱中症予防・介護予防体操」	11 名
	8/16	シニアオープンカレッジ 「終活って？ 終活セミナー」	11 名
	11/11	シニアオープンカレッジ 「今すぐ始める生前整理」	14 名
	2/17	シニアオープンカレッジ 「音楽レクリエーション」	10 名
	6/23	仲池上いこいの家 東京都スマホ体験会 ときわクラブ	13 名
	7/1	雪谷石川台自治会 東京都スマホ相談会 見守りキーホルダー登録会	10 名 22 名
	9/22	南雪谷自治会 東京都スマホ相談会 見守りキーホルダー登録会	14 名 20 名
	11/18	ウエルシア薬局上池台店 東京都スマホ相談会 見守りキーホルダー登録会	12 名 4 名
	6/20	シニアレッスン「フレイル予防講座」＋音楽療法	19 名
	10/17	シニアレッスン「介護保険制度」＋椅子ヨガ	19 名
	2/20	シニアレッスン「在宅医療について」＋こころおどる音楽を	26 名
	3/27	さくらフェスティバル いきいき測定会＋キーホルダー登録会	21 名
嶺町	6/7	熱中症予防講座（シルバー人材センター定例会にて）	15 名
	6/18	多世代向け地域講座「介護は突然やってくる」	18 名
	7/7	元気維持事業「熱中症予防講座」	13 名
	8/20	多世代向け地域講座「高齢者向け住宅の基礎知識」	19 名
	10/22	多世代向け地域講座「災害時のトイレ対策」	17 名
	12/3	多世代向け地域講座「オーラルフレイル予防」	17 名
	2/25	多世代向け地域講座「元気なうちから人生会議」	18 名
		東京都令和 4 年度「高齢者向けスマートフォン利用普及啓発事業」スマートフォン相談会 10/14、11/11、1/13、1/27、2/10、2/24、3/10	各回 12 名
六郷 西六郷	5/14	六郷学び舎「初めてのスマホ講座！」	8 名
	7/9	六郷学び舎「心も身体もラクになる長生術を学ぼう！」	14 名
	9/10	六郷学び舎「健康と栄養」	3 名
	11/12	六郷学び舎「ためになるかもしれないクスリのはなし」	38 名
西六郷	5/18	西六元気で GO！「体力測定、家でできる介護予防運動」	22 名
	7/20	西六元気で GO！ 介護予防体操と「元気よく歩くための靴選び」	31 名
	9/21	西六元気で GO！「体力測定、家でできる介護予防運動」	24 名
	11/16	西六元気で GO！「歩行補助具の活用（講義）と関節拘縮予防運動」	17 名
	1/18	西六元気で GO！「自律神経とマッサージ（講義）と関節拘縮予防運動」	10 名
	3/15	西六元気で GO！「体力測定と見守り付き配食弁当の活用」	19 名

馬込 南馬込	4/12, 26	元気維持事業 ミニ講座「包括・シニアステーション案内」、フレイル予防体操	25 名
	5/10・24	元気維持事業 ミニ講座「一般介護予防事業、響会 HP 案内」、フレイル予防体操	30 名
	6/14・28	元気維持事業 ミニ講座「フレイル予防講座」、フレイル予防体操	27 名
	6/22	馬込学び舎 テーマ「出逢い、つながり、広がる笑顔 ～あたらしいボランティアはじめませんか？」	18 名
	7/12・26	元気維持事業 ミニ講座「見守りキーホルダー、防災シートについて」、フレイル予防体操	29 名
	8/9・23	元気維持事業 ミニ講座「認知症サポーター講座案内・キーホルダー登録会について」、フレイル予防体操	24 名
	9/13・27	元気維持事業 ミニ講座「認知症について、フレイル予防体操」	29 名
	9/16	見守りキーホルダー 一斉登録会&オンライン交流会	16 名
	10/11・27	元気維持事業 ミニ講座「介護保険について」、フレイル予防体操	27 名
	11/8・22	元気維持事業 ミニ講座「高齢者虐待について・消費者被害について」、フレイル予防体操	24 名
	12/13	元気維持事業 ミニ講座「見守りメールについて」、フレイル予防体操、アンケート	12 名
	1/10・24	元気維持事業 ミニ講座「障害者マーク・ヘルプカードについて」、フレイル予防体操	21 名
	1/31	馬込学び舎 テーマ「つなげる体操&学び舎～お薬と感染予防について」	
	2/14	元気維持事業 ミニ講座「おいじたくについて」、フレイル予防体操	11 名
	3/14・28	元気維持事業 ミニ講座「マスク着用について」、フレイル予防体操	18 名
馬込	3/16	大森 C0 会見守りキーホルダー一斉登録会&体力測定	58 名
	8/29	シニアステーション馬込「『いろいろ食べポ』みんなで元気」	12 名
	10/11	シニアステーション馬込「私らしい老い支度 パート 1」1 回目	12 名
	11/30	シニアステーション馬込「私らしい老い支度 パート 1」2 回目	11 名
	12/13	シニアステーション馬込「私らしい老い支度 パート 2」1 回目	12 名
	1/24	シニアステーション馬込「私らしい老い支度 パート 2」2 回目	11 名
	2/20	シニアステーション馬込「『いろいろ食べポ』みんなで元気 2」	17 名
	3/6	シニアステーション馬込「高齢者の消費生活トラブルを防ぐ」	8 名
南馬込		東京都高齢者スマートフォン普及啓発事業「スマホ相談会」 6/21、10/3、3/16	13 名
	11/4	シニアステーション南馬込地域講座「介護は突然やってくる」	11 名
	7 回/6 月	シニアステーション南馬込「熱中症予防 NS ミニ講座」	62 名
	2 回/月	シニアステーション南馬込「脱フレイルプロジェクト」	167 名
	2 回/月	シニアステーション南馬込「骨盤底筋体操」	236 名
	2 回/月	シニアステーション南馬込「馬込男の居場所」	164 名

上池台

〔シニアオープンカレッジ〕



〔南雪谷自治会 健幸ライフ〕



〔シニアレッスン〕



〔東京都スマホ体験会 相談会〕



〔上池台くるるの会〕



〔元気力向上！あした会〕



嶺町

〔みねまちポールウォークの会 参加〕



〔嶺町文化センターまつり参加〕



〔フレイル予防&ポールウォーク展示〕



〔嶺町生き生き安心プロジェクト〕



〔介護予防教室みのり会〕



六郷・西六郷

六郷地区協働事業〔六郷学び舎 初めてのスマホ講座〕



〔六郷学び舎 薬のはなし〕



〔六郷ふれあいフェスタ参加〕



〔六郷「男の居場所」〕



〔フラミンゴ お薬相談会〕



〔西六郷 西六元気でGo 体操/体力測定会〕



〔グリーンカフェ・ガーベラ〕



馬込・南馬込

馬込地区協働事業 〔馬込文士村散歩&福祉体験情報コーナー（散歩、福祉体験）〕



馬込地区協働事業〔まごめ医療連携の会〕



〔元気維持事業〕



〔馬込学び舎〕



馬込〔地域講座 老い支度〕



〔地域講座 いろいろ食べポ〕



〔ケアラーの集い〕



南馬込



〔脱フレイルプロジェクト〕



〔まちかど相談会〕



7. 地域包括ケアシステムの構築

日常生活圏域(特別出張所地区)における、地域包括ケアシステムの構築・推進として、日常生活圏域レベル会議を行いました。テーマは、「災害対策」「認知症対策」「フレイル予防」「多問題事例」等を取り上げました。引続き、地域ケア会議の開催を増やし、地域住民、関係機関と共に地域にある様々な課題解決に取り組んでまいります。

また、医師会との連携企画「地域包括ケアの会」、地域、行政の会議など、多くの場面を通して地域包括ケアシステムの推進となるよう努めました。

【地域ケア会議開催回数】

	上池台	嶺町	六郷	西六郷	馬込	南馬込
個別レベル会議	2	3	4	13	8	8
圏域レベル会議	3	2	2		1	

【地域包括ケアの会】

	開催日	内容	参加者数
上池台	R4. 11. 30	「新型コロナウイルス感染症第7派を振り返り ～良いチーム作り(多職種連携)について考えよう～」	68名 (医療側 44名・介護側 24名)
嶺町・田園調布	R5. 1. 27	「私たちのコロナ奮戦記」～第7.8派を振り返り、これからのチームづくりを考えよう～	64名 (医療側 36名・介護側 28名)

【各種会議状況】

	会議名
行政 包括共通	大田区地域包括支援センター連絡会(内部検討会)
	地域福祉課管内地域包括支援センター連絡会(調布・蒲田・大森地区)
	地域福祉課管内見守りささえあいコーディネーター連絡会(調布・蒲田・大森地区)

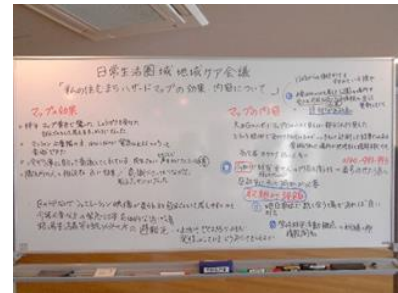
地域	地域福祉課訪問指導事業従事者(看護職等)連絡会(調布・蒲田・大森地区)
	介護支援専門員連絡会運営委員会(調布・蒲田・大森地区)
	民生委員児童委員協議会

【日常生活圏域レベル会議 開催時の様子】

〔上池台 認知症・災害対策〕

〔六郷 フレイル予防〕

〔西六郷 ハザードマップ振返り〕



Ⅱ 認知症支援コーディネーター事業

1. 認知症の疑いのある人の早期発見・診断支援

「認知症支援コーディネーター事業」は、新規 17 件、延べ 118 件と、ほぼ前年度に近い相談件数となりました。相談内容は、認知症の問題行動、受診拒否のケースの相談、家族支援が主となりました。区内の地域包括支援センターが行う認知症支援のバックアップ、医療や必要なサービスに繋ぐ役割を果たしました。

【認知症支援コーディネーター事業 相談実績】

	年間数
認知症支援コーディネーターが受けた認知症の相談件数 初回相談件数	17
相談延べ件数	118
認知症支援コーディネーターの訪問支援件数 訪問支援件数(実人数)	18

相談内容別内訳	年間数
行動・心理症状 (B P S D)	34
医療機関への受診・受療に関わる相談 (未診断・受療拒否・身体的問題)	45
入院に関わる相談	7
生活機能障害	11
患者・家族の心理的サポート、ケア等に関わる相談 (家族の介護負担含む)	40
介護保険 (サービス) に関わる相談 (介護サービス拒否含む)	29
福祉サービスに関わる相談	1
消費者トラブルに関わる相談	1
権利擁護に関わる援助 (高齢者虐待に関することを含む)	13
経済問題に関わる援助	18
すまい (特養入所、都営住宅入居等) に関わる相談	9
介護予防に関する相談	2
その他	11

2. 認知症関連事業の支援

大田区は、令和4年度より各基本圏域に「認知症地域支援連絡会」を立ち上げました。認知症の方とその家族を地域で支える体制構築を行うため、各地域包括支援センターに配置されている認知症地域支援推進員による連絡会です。その会に積極的に参加、認知症サポーターのステップアップ講座実施に関わるなど、大田区の認知症施策推進に努めました。

また、荏原病院認知症疾患医療センター、地域包括支援センター等と連携し、多くの地域活動を行いました。主に地域講座の企画・開催を関係機関と協力し実施し、認知症とその予防について等、啓発活動が大田区全域に渡り行いました。

【認知症に関する会議・研修等の活動実績】

会議名	内容	回数
令和4年度認知症専門部会	大田区認知症施策の検討	8
認知症地域支援推進員対応力時向上研修	認知症地域支援推進員の役割、疾患理解、意思決定支援、事例検討	1
認知症初期集中支援チーム事業検討委員会	初期集中支援チーム活動報告、事例紹介、認知症検診推進事業実績報告、意見交換	1
地域包括支援センター連絡会 (大森/調布/蒲田/糀谷・羽田)	認知症支援コーディネーター事業説明	2
認知症地域支援推進員連絡会 (大森/調布/蒲田/糀谷・羽田)	基本圏域における認知症対応、チームオレンジへの取り組み等を検討	15
調布地域福祉課看護職連絡会	認知症支援コーディネーター事業報告・連絡	6
調布地区見守りささえあいコーディネーター連絡会	前回内容に対する意見・感想、次年度取り組むテーマの検討	12
個別地域ケア会議(各包括)	認知症困難事例、地域での見守りについて意見	3
認知症サポーター養成講座 (小学校・中学校・郵便局・大田区職員等)	認知症とは、認知症サポーターとは、活動等	4
認知症サポーター ステップアップ研修	認知症サポーターとしての地域活動について等	2
雪谷出張所地域福祉課懇談会		1
雪谷地区民生委員児童委員協議会 (自主民協)	大田区の認知症施策について講義	3
認知症カフェ(包括上池台・馬込)	もの忘れの相談、認知症介護の相談等	2
荏原病院認知症疾患医療センター連携協議会	荏原病院、東京都、大田区、品川区の取り組み	2
荏原病院認知症センターミーティング	大田区内における認知症啓発について検討	15
認知症疾患医療センター地域講座 (シニアステーション東嶺町・田園調布・田園調布西・羽田)	「人生会議」「お金の管理」「認知症予防」について	5
コシリ/ワーカーの会 (暮らしの保健室 いえラボ)	地域資源情報の共有、専門職の情報交換、コロナ禍の支援	2
上池台くるるの会	認知症の話し	1

Ⅲ 地域支え合い強化推進事業

前年度より引続き令和4年度も、ささえあい強化推進員は、勤務地を大田区社会福祉協議会とし、社協職員8名と他法人職員3名、当法人職員2名の合計13名で、「地域福祉コーディネーター」として活動を行いました。「大田区重層的支援体制整備事業」の一旦を担うものとして、多世代、多機関、地域との連携活動、また個別相談支援を対応しました。

令和5年度は、「地域福祉コーディネート事業」へと委託名変更と、その一年をもって受託終了となっておりますが、引続き大田区版地域共生社会の実現に取り組んでまいります。

1. 重層的支援体制整備事業への取り組み

個別支援に関しては、幅広い年齢層から相談がありました。相談内容は生活困窮の相談が多く、次に疾病に係わる相談が多い傾向となりました。大田社協が立地する蒲田地区エリアの住民からの相談が多く、大田社協内の他部署や他機関と連携し、対応を行いました。

地域支援については、主に担当となる「大森地区」と「蒲田地区」で活動を行いました。地域活動に積極的な商店等を拠点として活用できるよう、地域住民と商店との関わりを支援することをはじめ、関係機関との連携を多岐に渡り行い、携わることで、地域福祉コーディネーターの周知と、地域支援を行いました。

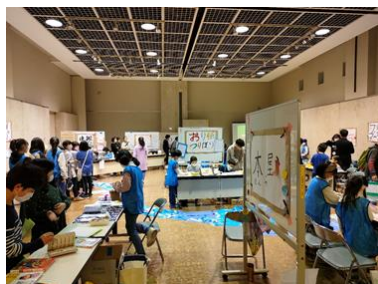
【地域福祉コーディネーター活動実績（全体）】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
個別支援	78	110	123	151	158	169	185	121	208	218	146	197	1,864
地域支援	33	33	40	45	49	54	47	53	47	44	40	44	529

大田社協を勤務地とすることから、社協内研修の企画を行う、社協が行っている児童支援事業にスタッフ参加する等、高齢分野以外の事業と関わる機会を受け、職員のスキルアップが図れました。

また、大田区社会福祉協議会「大森地区」「蒲田地区」連絡会の事務局となり、他分野の法人与連携・協力し、社会福祉法人の地域貢献活動を行いました。大田区内の児童・障害・生活困窮等を担当する法人との連携は、今後の活動に役立つ大きな成果となりました。

〔池上こどものまち〕



〔めぐり場〕



〔堤方南会館 フードドライブ〕



〔矢口たすけあいプラットフォーム〕



〔はちみつ食堂〕



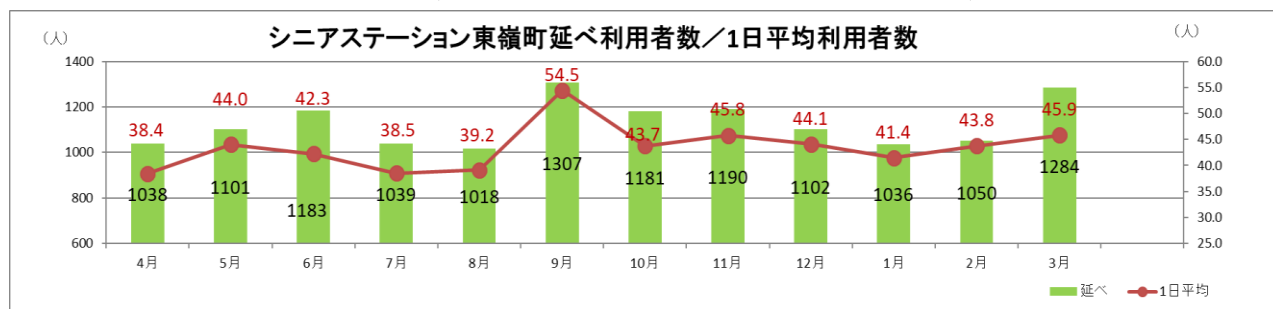
Ⅳ 元気維持介護予防事業 シニアステーション東嶺町／馬込／南馬込

1. シニアステーション事業の活発化

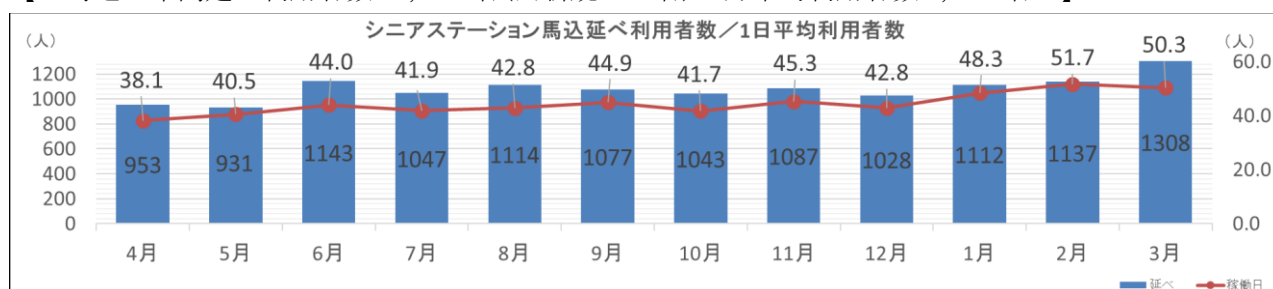
令和4年度は、引続き新型コロナウイルス感染症対策を行いながらの事業運営となりました。プログラム受入定員人数を75%(東嶺町18名、馬込17名、南馬込26名)とし、1日あたり3コマ程度のプログラムを実施しました。運動系プログラム、文化系プログラム、地域包括支援センターと協働の地域講座等、多彩なプログラムを実施しました。新たなプログラムとして「多世代向け講座」「ボッチャ」「カーレット」等を取り入れました。各シニアステーションとも、昨年度を上回る利用者数となり、新規利用者也各々年間100名を獲得しました。コロナ禍でも、安心して楽しめる場所として、地域の方に利用いただけたと実感しております。

また、地域との関係性構築と推進を目的とした「運営推進会議」を開催しました。「東嶺町」は、昨年度同様、近隣の地域包括支援センターを対象にオンラインで開催し、高齢者への切れ目のない支援の実例として、事例紹介を行いました。関係機関にシニアステーションを理解してもらう機会となりました。「馬込」「南馬込」は、利用者・自治会・民生委員を対象に、書面開催としました。プログラム活動報告、利用者アンケート結果等の報告を行いました。

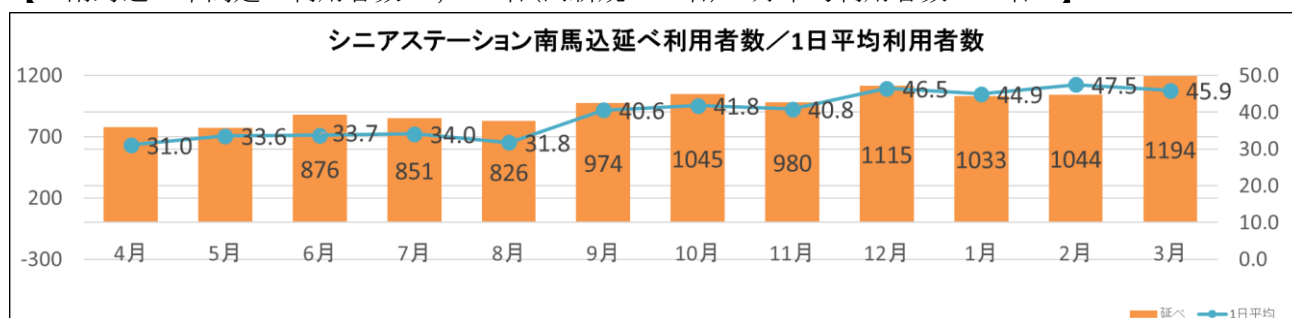
【 東嶺町 年間延べ利用者数 13,529 名(内新規 105 名) 月平均利用者数 1,127 名 】



【 馬込 年間延べ利用者数 12,980 名(内新規 100 名) 月平均利用者数 1,082 名 】



【 南馬込 年間延べ利用者数 11,486 名(内新規 127 名) 月平均利用者数 957 名 】



令和4年度 シニアステーション東嶺町 活動参加者数				
	教室タイトル	参加回数	開催回数	平均参加者数
区 関 係 事 業	夜間週末貸出事業	482人	66回	7人
	頭と体の椅子ストレッチ	797人	86回	9人
	わくわくエクササイズ	1040人	79回	13人
	エルダーで遊ぼう	170人	20回	9人
	リフレッシュ体操（㈱アグリマス体操・内生配信3回）	1877人	176回	11人
	マッサージ	353人	36回	10人
シ ニ ア 講 師 職	今日も笑顔で	604人	42回	14人
	こつこつ筋トレ	353人	24回	15人
	骨盤底筋運動	80人	12回	7人
外 部 講 師 派 遣	アクティブシニア体操	587人	47回	12人
	太極拳教室	570人	47回	12人
	ダンディ東嶺町	151人	22回	7人
	Joy of the YOGA～シニアヨガ～	92人	12回	8人
	出張レッスン（㈱アグリマス）	53人	4回	13人
	健幸体操	331人	24回	14人
	ポールで歩こう	182人	23回	8人
	健康寿命体操（シナプソロジー・転倒予防体操）	328人	41回	8人
	リズムでフィットネス	528人	46回	11人
単 発 イ ベ ン ト	音楽関係	139人	9回	15人
	地域講座（※『防災』に関する講座2回は自衛消防訓練として実施）	390人	27回	14人
	特別講座	236人	18回	13人
	新春祝太鼓	31人	2回	16人
	笑タイム	45人	4回	11人
	作品展	299人	9回	33人
サ ロ ン	フラワーアレンジメント教室	91人	11回	8人
	手仕事の時間	178人	19回	9人
	切手整理ボランティア	158人	21回	8人
	趣味の時間	161人	18回	9人
	囲碁	126人	47回	3人
そ の 他	自衛消防訓練（※2回 35人 地域講座『防災』でカウント）			
	その他（予約・休憩）	2441人	284回	9人
計①		12873人	1276回	
	ボランティア・多世代②（68人+588人）	656人	256回	3人
総合計（①+②）		13529人	1532回	

令和4年度 シニアステーション馬込 活動参加者数				
	教室タイトル	参加回数	開催回数	平均参加者数
区 関 係 事 業	【一般介護予防事業】頭とからだの椅子スト	483人	45回	11人
	【映像による体操】健康王国タイム	706人	99回	7人
	【映像による体操】足腰らくらくチェア体操	1678人	212回	8人
	【大森地域福祉課】お口と運動の個別相談会	25人	2回	13人
	【大森地域福祉課】みんなで食べポ	28人	2回	14人
	【都市基盤管理課】高齢者との交通安全集会	18人	1回	18人
	【夜間週末貸出事業】夜間部屋貸し	439人	40回	11人
シ ニ ア ・ 包 括 職 員 講 師	【体操】骨盤底筋運動	74人	12回	6人
	【体操】荒井さんのけんこう体操	1100人	73回	15人
	【体操】J-POPを踊ろう！	8人	2回	4人
	【ボッチャ】ボッチャ	296人	29回	10人
	【和踊り】WAになって踊ろう！	647人	56回	12人
	【オレンジカフェ】オレンジカフェ&チェア体操	116人	11回	11人
	【文化】美しい日本の文化	256人	26回	10人
	【文化】コロリアージュ	324人	28回	12人
	【文化】ハンドメイド(クリスマスカード,マスクホルダー)	21人	2回	11人
	【DVD鑑賞会】キネカ馬込	15人	1回	15人
	【地域講座/終活】私らしい老い支度	43人	4回	11人
	【地域講座/脱水】高齢者における脱水の危険	8人	1回	8人
	【イベント】新春祝い太鼓とWAになって踊ろう！	19人	1回	19人
外 部 講 師 派 遣	【体操】アクティブシニア体操	760人	49回	16人
	【体操】リズムでフィットネス	719人	47回	15人
	【体操】健康寿命体操	535人	43回	12人
	【体操】久野先生の健康元気体操	703人	46回	15人
	【体操】治癒力を高めよう！	100人	12回	8人
	【体操】実演 足腰らくらくチェア体操	49人	4回	12人
	【体操】足腰らくらくZOOMレッスン	33人	3回	11人
	【体操】体幹バランスボール	26人	3回	9人
	【体操】イチから教わる太極拳	474人	47回	10人
	【体操】整う体と心の椅子ヨガ	142人	10回	14人
	【文化】墨絵文字	126人	12回	11人
	【文化】花遊び	68人	10回	7人
	【スマホ】スマホ講座	85人	8回	11人
	【スマホ】デジタル庁スマホ相談会	92人	10回	9人
	【地域講座】災害時のトイレ対策	15人	1回	15人
	【地域講座】AED操作訓練	13人	1回	13人
	【地域講座】防災知識	10人	1回	10人
	【地域講座】女性のための健康講座	114人	9回	13人
	【地域講座】資生堂ビューティーセミナー	52人	3回	17人
	【地域講座】皆で見守り防ごう消費生活トラブル	10人	1回	10人
	【イベント】骨強度測定会	47人	1回	47人
小計		10477人	968回	11人
サ ロ ン 他	囲碁	43人	21回	2人
	休憩(TV鑑賞含む),その他	1052人	240回	4人
総合計		11572人	1229回	

令和4年度 シニアステーション南馬込 活動参加者数				
	教室タイトル	参加回数	開催回数	平均参加者数
区 関 係 事 業	頭とからだの椅子ストレッチ(一般介護予防事業・東京マルシェ)	507人	42回	12人
	足腰らくらくチェア体操(東京マルシェ)	570人	91回	6人
	オンラインレッスン足腰らくらくチェア体操(東京マルシェ)	26人	3回	9人
	健康王国タイム(ジョイサウンド)	1121人	83回	14人
	健康ゆったりタイム(ジョイサウンド)	573人	51回	11人
	夜間週末部屋貸出事業	0人	0回	0人
	口から始める健康講座(地域健康課)	19人	2回	10人
シ ニ ア 職 員 講 師	楽しくエクササイズ	862人	45回	19人
	脱フレイルプロジェクト	167人	24回	7人
	骨盤底筋体操	236人	22回	11人
	やさしいヨガプログラム	74人	8回	9人
	健活!	127人	10回	13人
	オレンジカフェ & わくわく健康王国タイム	14人	12回	1人
	ポッチャ	129人	11回	12人
外 部 講 師 派 遣	アクティブシニア体操	464人	44回	11人
	リズムでフィットネス～カラフィット～	873人	48回	18人
	骨元気体操～やさしくステップ～	417人	22回	19人
	体づくりトレーニング	476人	24回	20人
	太極拳木曜クラス	522人	46回	11人
	太極拳土曜クラス	570人	45回	13人
	太極拳体験(金曜)	103人	16回	6人
	健康寿命体操	169人	15回	11人
	YOGA	221人	19回	12人
	ポール d e ウォーク南馬込文士村楽校	85人	15回	6人
	手話ダンスを楽しもう	69人	12回	6人
	姿勢ウォーキング	134人	12回	11人
	出張レッスン足腰らくらくチェア体操(東京マルシェ)	48人	3回	16人
	カムカム体操オンライン	2人	1回	2人
	地域講座(協力:明治安田生命様、ベネッセスタイルケア様)	93人	8回	12人
	聞こえの勉強会(フランスベッド様、パナソニック補聴器様)	18人	2回	9人
	スマホ個別相談室(地域ボランティア)	62人	21回	3人
	スマホ教室(ソフトバンク様)	60人	6回	10人
	東京都主催スマートフォン体験会	17人	2回	9人
	東京都主催スマートフォン相談会	102人	15回	7人
発 イ ベ ン ト	カーレット	11人	1回	11人
	演奏会(サクソ・二胡)	121人	5回	24人
	新春祝い太鼓	46人	2回	23人
	敬老お祝いイベント	58人	3回	19人
	骨強化測定	25人	1回	25人
サ ロ ン 他	囲碁・将棋	308人	186回	2人
	馬込男の居場所	159人	22回	7人
	おりがみくらぶ	256人	24回	11人
	大人のぬり絵くらぶ	144人	24回	6人
	ボランティアくらぶ	188人	22回	9人
	ふらわーくらぶ	15人	2回	8人
	パステルくらぶ	8人	1回	8人
その他	自衛消防訓練 & 防災講座	30人	2回	15人
	その他(申込・休憩)	338人	293回	1人
計①		10637人	1368回	
	ボランティア・多世代	849人	290回	3人
総合計 ① + ②		11486人	1658回	

【東嶺町 プログラム風景】

〔手仕事の時間〕



〔敬老会 作品展〕

〔敬老会 演奏会〕



〔多世代向け地域講座〕

〔いえラボ 地域講座〕

〔地域健康課 地域講座〕



【馬込 プログラム風景】

〔ボッチャ〕

〔バランスボール〕

〔資生堂ビューティーセミナー〕



〔敬老会 作品展〕

〔敬老会 的当てゲーム〕

〔墨絵文字〕



〔口からはじまる健口講座〕



〔AED 操作訓練〕



〔交通安全集会〕



【南馬込 プログラム風景】

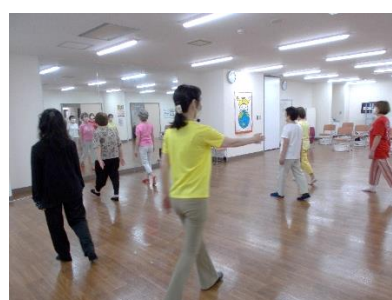
〔囲碁〕



〔YOGA〕



〔姿勢ウォーキング〕



〔防災講座&防災訓練〕



〔ボッチャ〕



〔二胡演奏会〕



〔カーレット〕



【シニアステーション 利用者アンケート】

シニアステーション東嶺町・馬込・南馬込にて、利用者 100 名に対してアンケートを行いました。「全般的な満足度」は、とても満足と満足と合わせると 300 名中 284 名で 95%となり、地域に楽しく通える場として定着していると思われます。また、「介護予防・フレイル予防に役立っている」と 96%の方が回答していることから、着実に事業の目的が達成出来ていると考えます。

シニアステーション東嶺町 令和4年度 利用者アンケート

実施期間：令和4年11月

対象者100名

1 あなたのことをご記入ください。

		東嶺町	馬込	南馬込
性別	男性	59	19	16
	女性	241	81	84
	合計	300	100	100

		東嶺町	馬込	南馬込
年代	60未満	0	0	0
	60歳代	15	6	7
	70歳代	136	50	53
	80歳代	135	40	36
	90歳代以上	14	4	4
	合計	300	100	100

		東嶺町	馬込	南馬込
利用頻度	はじめて	4	2	2
	月1~2回程度	42	13	13
	週1回程度	132	51	51
	週2~3回程度	91	24	24
	週4回以上	31	10	10
	未回答	0	0	0
	合計	300	100	100

2 シニアステーションを利用されてどう感じましたか。

		東嶺町	馬込	南馬込
シニアステーションの職員の対応はいかがですか	とても満足	227	82	68
	満足	69	17	30
	普通	4	1	2
	不満	0	0	0
	不明	0	0	0
	未回答	0	0	0
合計	300	100	100	

性別

男性

女性

20%

80%

年代

60未満

60歳代

70歳代

80歳代

90歳代以上

0%

5%

45%

45%

5%

利用頻度

はじめて

月1~2回程度

週1回程度

週2~3回程度

週4回以上

未回答

11%

1%

0%

14%

44%

30%

シニアステーション職員の対応

とても満足

満足

普通

不満

不明

未回答

0%

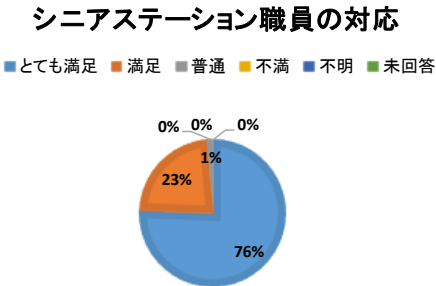
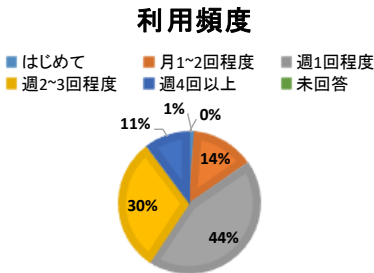
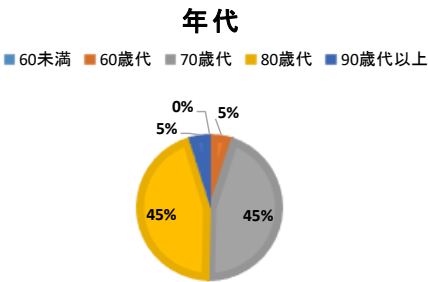
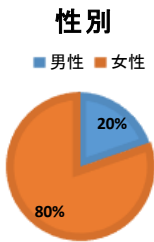
0%

0%

1%

23%

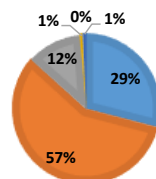
76%



		東嶺町	馬込	南馬込
プログラム、講座の内容や開催回数についての満足度はどのくらいですか	とても満足	87	33	27
	満足	173	54	62
	普通	36	12	10
	不満	2	1	0
	不明	2	0	1
	未回答	0	0	0
	合計	300	100	100

プログラム・講座内容・回数について

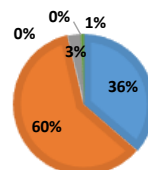
■とても満足 ■満足 ■普通 ■不満 ■不明 ■未回答



		東嶺町	馬込	南馬込
体操や運動を取り入れたプログラムは介護予防・フレイル予防に役立っていますか	とても役立っている	109	38	35
	役立っている	180	61	62
	どちらともいえない	9	0	3
	役立っていない	0	0	0
	全く役立っていない	0	0	0
	未回答	2	1	0
	合計	300	100	100

介護予防・フレイル予防として

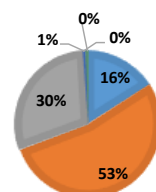
■とても役立っている ■役立っている ■どちらともいえない ■役立っていない ■全く役立っていない ■未回答



		東嶺町	馬込	南馬込
シニアステーションを利用して、外出や人と話しをする機会は増えましたか	とても増えた	48	20	11
	増えた	160	48	55
	変わらない	89	30	34
	減った	0	0	0
	不明	2	2	0
	未回答	1	0	0
	合計	300	100	100

外出・人との交流について

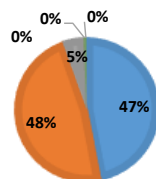
■とても増えた ■増えた ■変わらない ■減った ■不明 ■未回答



		東嶺町	馬込	南馬込
シニアステーションについて、全般的な満足度はどのくらいですか	とても満足	141	53	36
	満足	143	46	58
	普通	15	1	6
	不満	0	0	0
	不明	0	0	0
	未回答	1	0	0
	合計	300	100	100

全体的な満足度

■とても満足 ■満足 ■普通 ■不満 ■不明 ■未回答



V 人財育成

令和4年度も、内部研修「6包括合同研修」を積極的に行い、センター横断的に集う機会を設け、包括・シニアステーション職員の交流とスキルアップに努めました。「東京都登録講師派遣事業」を活用し、10名程度の少人数でワークを行うなど、相談援助の理解と技術習得を目的とした研修を行いました。異なる視点から学ぶことで、日頃の業務の振り返りと自身の業務に向き合う姿勢を再確認する機会となり、大変好評でした。

また、外部研修に積極的に参加し、幅広い知識の習得に努め、その内容をセンター内にて伝達研修として行い、職員周知を図りました。

【内部研修】

研 修	目的・内容
BS（ベーシックスキル）研修	新入職員に対して行う法人主催の研修。全体研修として、組織の事業・各種規定や大田区の特養優先入所制度等について学ぶ。
新人研修	入職直後より各センターにて、大田区の高齢福祉施策、介護保険制度、社会資源、センター事業、マナーや電話の取り方などを学ぶ。
センター内研修	月1回程度各センターにて学びたいことをテーマとし、職員が講師となり実施。また、外部研修で学んだことを伝達する場とし、業務の再確認やスキルアップを図る。
6 包括合同研修	法人が運営する地域包括支援センターの相互の連携及び接遇マナーや相談援助技術の標準化を目的とした研修を適時実施。 ①職種間研修（保健師・看護師／主任介護支援専門員／社会福祉士） ②「面談・相談の心得と技法を学ぶ ～「聴く力」は大きい～」 ③「管理職・リーダーのための傾聴姿勢」 ④「クレーム未然防止とクレーム対応の基礎を学ぶ」 ⑤「BPSD の理解と原因を紐解く方程式」 ⑥「支援にもカンファレンスにも使える「解決志向」と「ブレインストーミング」の実践活用法」 ⑦「自己覚知の意義と方法」

【外部研修参加状況】

実施機関	研修項目
大田区	地域包括支援センター新任研修
	高齢者虐待対応研修(基礎)
	養護者による高齢者虐待研修(権利行使について)
	養護者による高齢者虐待研修(事例検討)
	養護者による高齢者虐待対応研修(身体拘束について)
	認知症対応力向上研修
	大田区総合事業事業者研修会
	地域ケア情報見える化サイト「ミルモネット」操作研修
	令和4年度地域資源マップの活用（オンライン）セミナー
	コミュニケーションスキル向上研修相手の立場に立った説明・提案スキル編
	複合課題対応研修「事例検討を通じてつなげる多機関・多職種連携」
	JOBOTA、SAPOTA の取り組み及び地域包括支援センターとの連携
	地域移行・地域定着研修「今、なぜ地域生活が求められているのか」

	大田区介護支援専門員全体研修「ケアマネジメントにおける権利擁護について学ぶ」
	大田区介護支援専門員全体研修「ケアマネジメントのポイント～改正通知の理解～」
	大田区介護支援専門員全体研修「人と障害を ICF の視点で理解する」
	大田区介護支援専門員全体研修「在宅介護の限界点を高める～在宅を諦めないプランを作る～」
	大田区介護支援専門員全体研修「みんなで学ぼうケアプラン点検」
	大田区介護保険事業者等研修事業「自分の魅力が見える化！自己表現アサーションを学ぶ」
	大田区介護保険事業者等研修事業「クレームが発生した時どのように対応するか」
	大田区介護保険事業者等研修事業「管理職として知っておきたい人的マネジメントの基礎知識」
	大田区介護保険事業者等研修事業「リーダーが身につけたい効果的な問題解決手法」
	調布地域福祉課介護支援専門員連絡会「人生の最終段階を支えるケアマネに贈るエール」
	調布地域福祉課介護支援専門員連絡会「選択肢としての民間施設」
	蒲田地域福祉課介護支援専門員連絡会「大田区災害対策について」
	認定調査員現認研修
	高次脳機能障害支援促進事業 高次脳機能障がいセミナー
	住宅確保配慮者対応研修
東京都	地域包括支援センター初任者研修
	認知症地域支援推進員研修（新任者研修）
	認知症地域支援推進員研修（現任者研修）
	認知症初期集中支援チーム研修
	認知症地域対応力向上研修
	東京都キャラバン・メイト養成研修
	チームオレンジ・コーディネーター研修
	高齢者権利擁護研修「養護者による高齢者虐待対応研修（基礎研修）」
	高齢者権利擁護研修「養護者による高齢者虐待対応研修（応用編）」
	高齢者権利擁護研修「権利擁護テーマ別実践研修」
	生活支援コーディネーター初任者研修
	東京ホームタウンプロジェクト区市町村等向け説明会
	生活支援コーディネーター向け全体研修東京ホームタウンプロジェクト”新”活用法
	東京都精神障害者地域移行促進事業 地域移行関係職員に対する研修
	精神保健福祉研修「高齢者の精神疾患の理解と支援」
	精神保健福祉研修「ストレングスモデルを用いた伴奏型」
	精神保健福祉研修「家族支援研修 1 家族の退所能力を高める支援の在り方を学ぶ」
	精神保健福祉研修「発達障害者支援研修」
	ひきこもり支援に係る関係機関向け専門研修「ひきこもり概論」
	高次脳機能障害者相談支援研修会 基礎編
	入退院時連携強化研修
	東京都介護支援専門員実務研修
	介護支援専門員専門研修Ⅱ
	東京都介護支援専門員更新研修
	東京都主任介護支援専門員更新研修
	東京都認定調査員現認研修

他	大田区介護支援専門員連絡会「ケアマネジャーが知っておきたい法律知識」
	大田区入院医療協議会全大会および医療講演会
	地域連携を支える人材育成研修
	区南部地域リハビリテーション支援センター研修会
	福祉従事者研修「分かりやすい意思決定支援（初級編）」
	地域福祉コーディネーター等実践報告会
	すいしんいんセッション
	梅ちゃんカフェ（多職種連携推進事業）
	大森医師会地域包括ケアの会 病院との連携「入院させたくても満床の時」
	大森医師会地域包括ケアの会「在宅緩和ケアの知識をブラッシュアップしよう！」
	ホームアレイクリニック「精神疾患をお持ちのご家族ご本人との関わり方」
	大森榎本クリニックオンライン講演会「周りの人がうつ病になったら」
	大森榎本クリニックオンライン講演会「やめられない」を解き明かす
	大森榎本クリニックオンライン講演会「信頼関係を築くための傾聴のコツ」
	高齢者と依存症
	「訪問看護の制度について」 オンライン勉強会
	「訪問看護、ここで悩みませんか？」
	アフターコロナ大田区の地域を考える